
成年コミック
Lycoris of Kemomimi
獣耳のリコリス
2
デジタル特装版
描き下ろし4P
『特別編』
特別収録
Presented by Kyougoku Touya
京極燈弥

Lycoris of Kemomimi

Contents

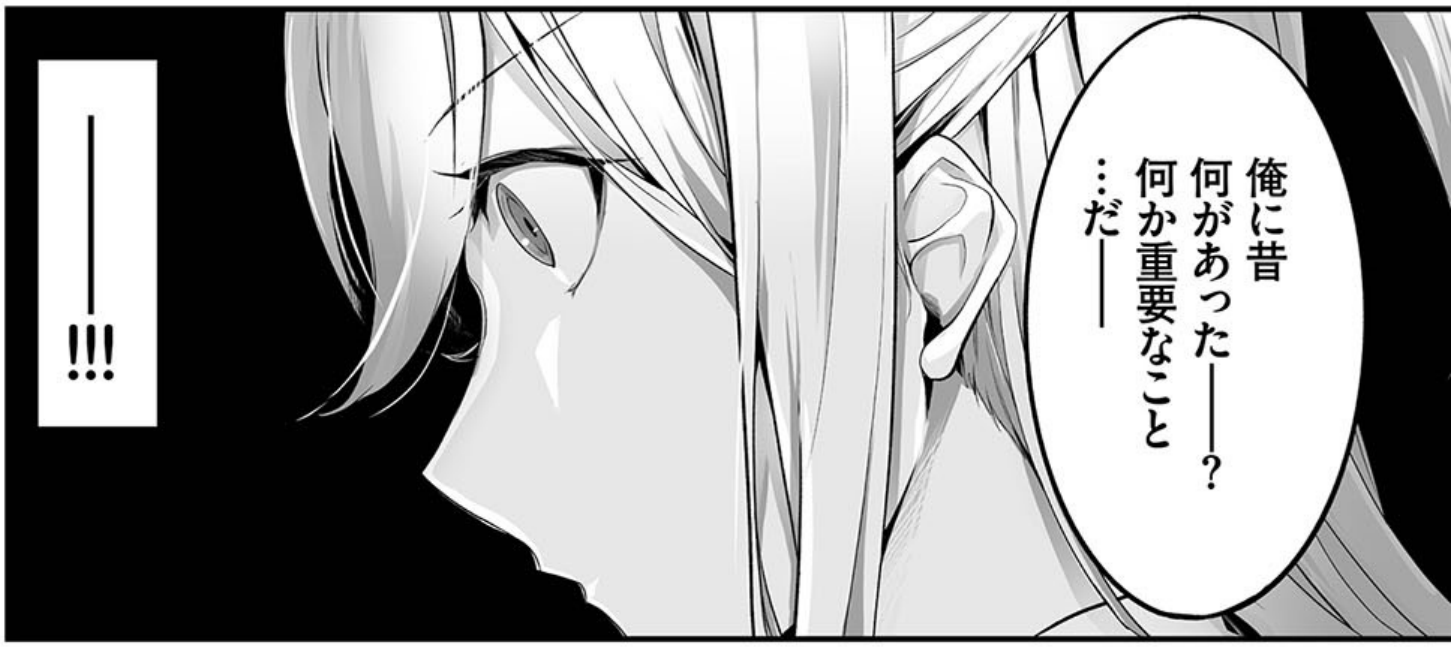
003 10話（『ダスコミvol.12』収録）
023 11話（『ダスコミvol.13』収録）
043 12話（『ダスコミvol.14』収録）
063 13話（『ダスコミvol.15』収録）
083 14話（『ダスコミvol.17』収録）
103 15話（『ダスコミvol.19』収録）
123 16話（『ダスコミvol.20』収録）
143 17話（『ダスコミvol.21』収録）
169 18話（22年10月配信）
193 特別編（描き下ろし）

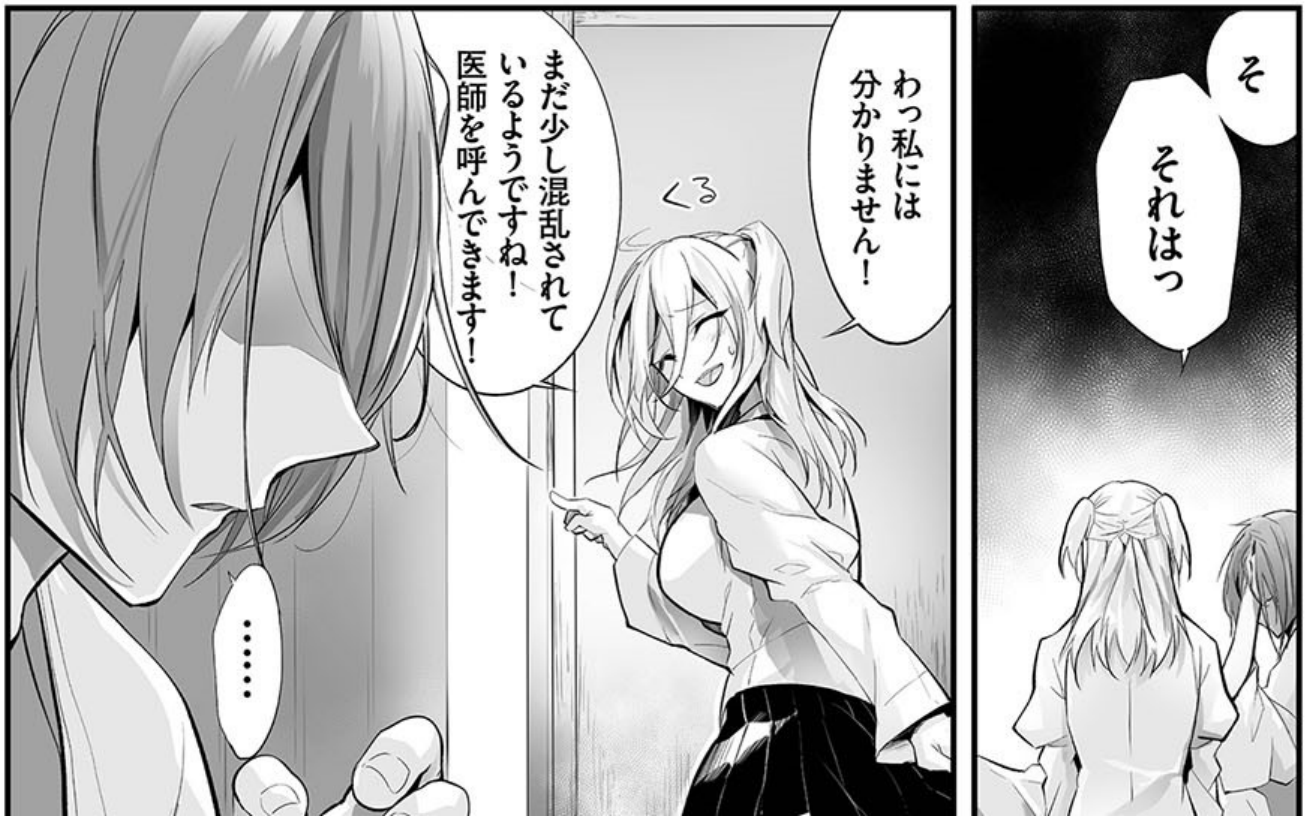


Cover design by sagaris studio


第10話
お兄様が
職務中に倒れた…
現場は
同じ隊の人達が
収めたらしい…
……ただ
気になるのは
お兄様が何かを
つぶやいた直後
昏倒した――
……と
あの軽薄な
うっすい男が
言っていたこと
ん～っ…
お兄様は
もしかしたら――
お兄様っ！
！


リーシャ…？
ここは…？
まだ寝ていてください
軍医病棟です
お兄様は任務中に
倒れたとのことで
ここに…！
そうか…
……
…なぁ
リーシャ

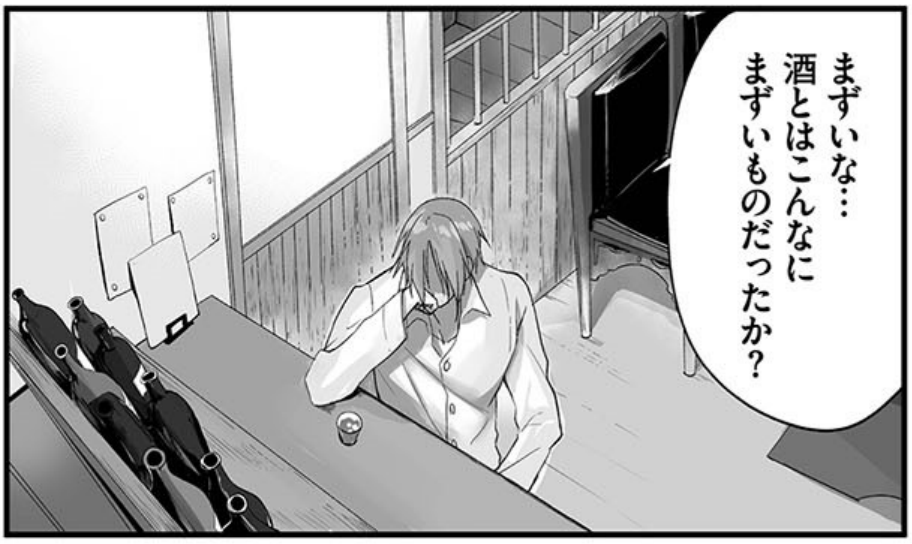

俺に昔
何があった――？
何か重要なこと
…だ――
――!!!

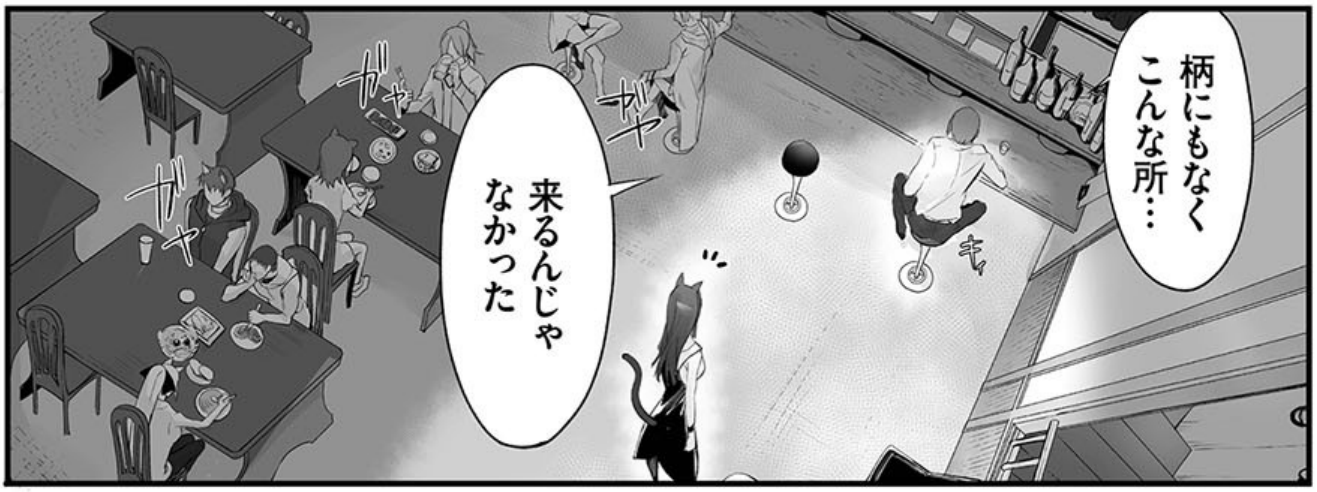

そ
それはっ
わっ私には
分かりません！
くる
まだ少し混乱されて
いるようですね！
医師を呼んできます！
……


お兄様は
思い出しかけて
いる――!?
先生!
バルド・クライアンが
目覚めました!
何を
どこまで?
おぉ 本当かね
では見に行くと
しようか
あのことを
先生早く!
こらこら
廊下を走るな
大丈夫ですよ!
ここ全然人
いないですし!
ガ
ヤ
!?
お兄様っ!?
はぁ
はぁ
はぁ
あらまぁ
抜け出した
みたいだねぇ
ニヤッ
あの日のことを――




……
コトン


まずいな…
酒とはこんなに
まずいものだったか？


柄にもなく
こんな所…
来るんじゃ
なかった
ガヤ
ガヤ
ガヤ
キィ

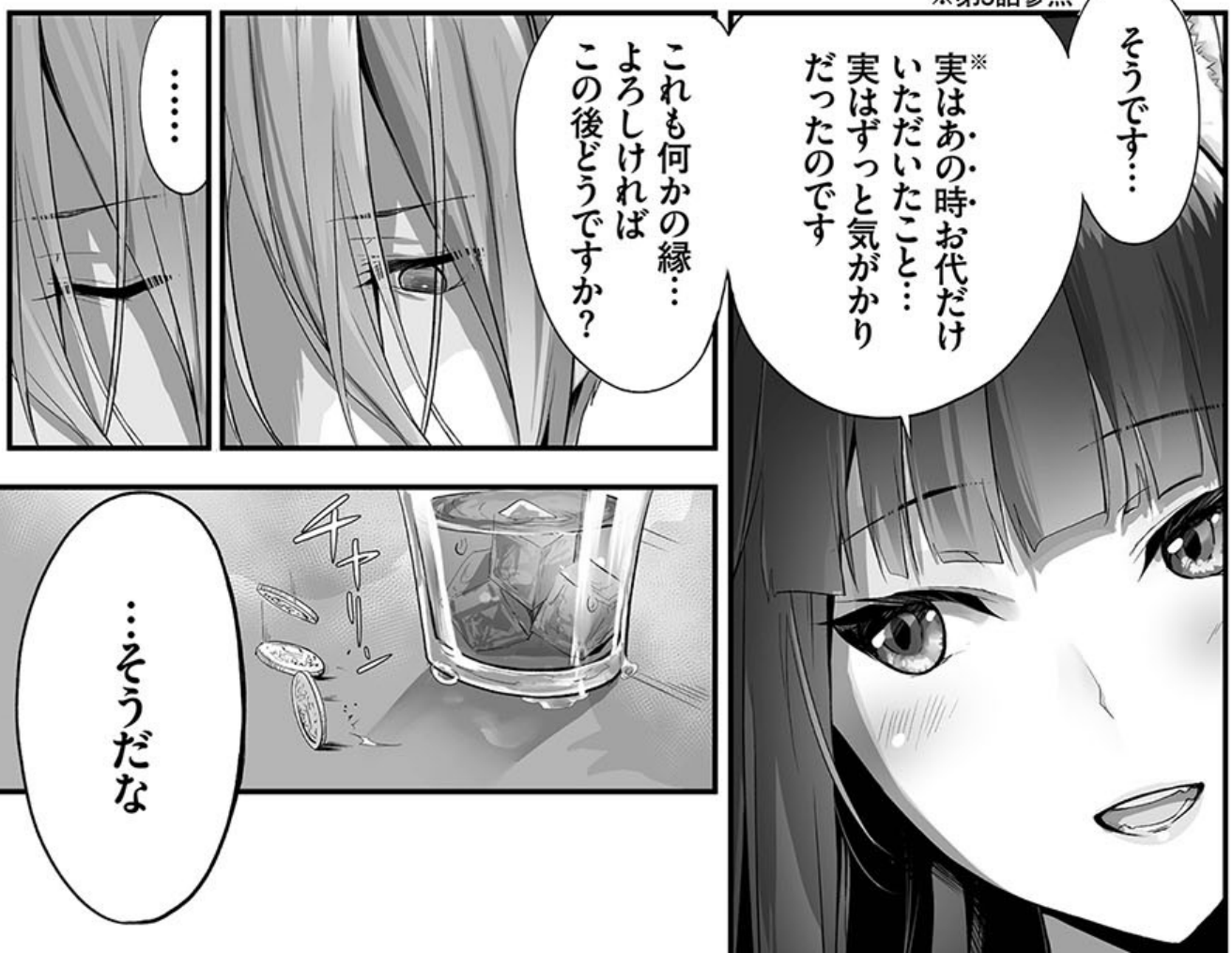

すみません
お隣…
よろしいで
しょうか？


……
あの方は！


別に
かまわんが
それでは
失礼します
トン
……
あの〝淫紋〟…
最近どこかで
見たな…？


どこかで
会ったか？
あはは…
やはり覚えては
おられません
でしたか？
〝奴隷風俗店〟で
働いております
…あぁ
あの店の…
確かクラリス
…だったか？

※第5話参照


そうです…
※実はあの時お代だけ
いただいたこと…
実はずっと気がかり
だったのです
これも何かの縁…
よろしければ
この後どうですか？
……
チャリン
…そうだな


ここの酒場…
上は売春宿でして
たまにお仕事で
来るんですよ
それで〝奴隷〟が
そこそこ
いたわけか…
にしても
ダメ元でしたので
OKいただけるとは
とてもうれしいです♡


……たまには
俺にもそういう
気分の時もある
……これが
〝奴隷(彼女)風俗〟の
仕事なのか…
おっきぃ…
チロ
チロ
チロ
グプッ


なんか
あまり
気持ちよくは
ないな…
ジュポ
ジュポ
ジュポ
ジュポ
……
ぷふぁ
カパぁ
あの…
気持ちよく
ありませんか…？
あなたの
〝奴隷〟の方が
上手…ということ
でしょうか？


あなた様からは
匂いがするんです
他の〝奴隷〟の
以前お店でも
それが匂いで
分かってしまって

…だから少し
悔しいなって
思ってまして
プ・・プロとして絶対に
満足してもらいたいと
声をかけたのですが…


…スズネ
俺は何をやって
いるんだ?
部屋にはスズネが
待っているっ
なんでそのことから
今まで目を背けていた!


早く帰って
やらないとっ！
俺には待ってる
〝奴隷〟が家にいる
…すまない
やはり今日は
ナシで…！
そんな急に!?
ちょっと待って
ください！
ここまで来て
申し訳ないが
あ…あ…
そっ
困りますっ！
私は風俗嬢として
生み出された
ホムンクルス！
お客様に性の喜びを
提供するだけが
存在する意味
なんですっ！


また何もせず
帰られてしまうと
私もう壊れて
しまいます！
あの日から
胸にぽっかり穴が
開いたようで…っ
〝淫紋〟もうまく
発動できない日も
でてきて…っ
ポタ
ポタ


そのたび
思い出すのは
あの日のこと…
…だから今日
あなたと寝れば
いつもの私に戻れると
思ったのに…っ
！


すまなかった
あ…
どうやら俺は変なやつみたいでな…
世間とは違う〝奴隷〟の見方をしているらしい…
ん
ぐっ
そんな俺のわがままで…
ポ
君を苦しめたというのならば…
ヒョイ
責任は取ろう
へっ？
カァッ


な…っ!!
？
なんかすごく恥ずかしくなってきましたっ！
…仕事で慣れてるんじゃないのか？
とても洗練されたきれいな身体だ誇っていい…
いいや 確かに自信はありますが…そんなストレートに言われるのは慣れてないと言いますか！
だからこそ恥ずかしいと言いますか！

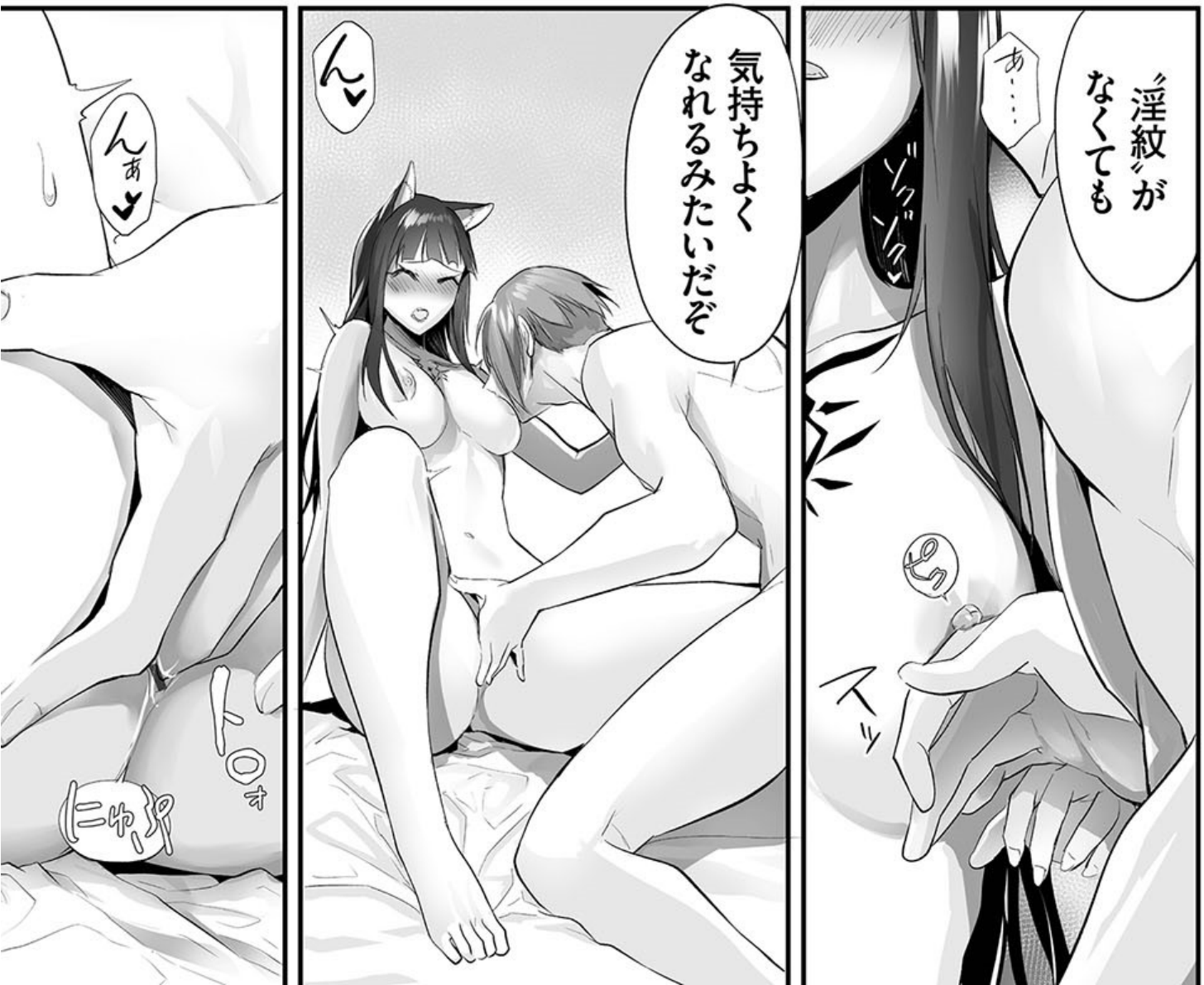

そうは言うが
グイ
NO.1の自信を
取り戻したくて
誘ってきたのは
君じゃなかったか？
うぅ…でもこんな
雰囲気は初めてで…
あっ
せっせめて
〝淫紋〟を…！
……
……

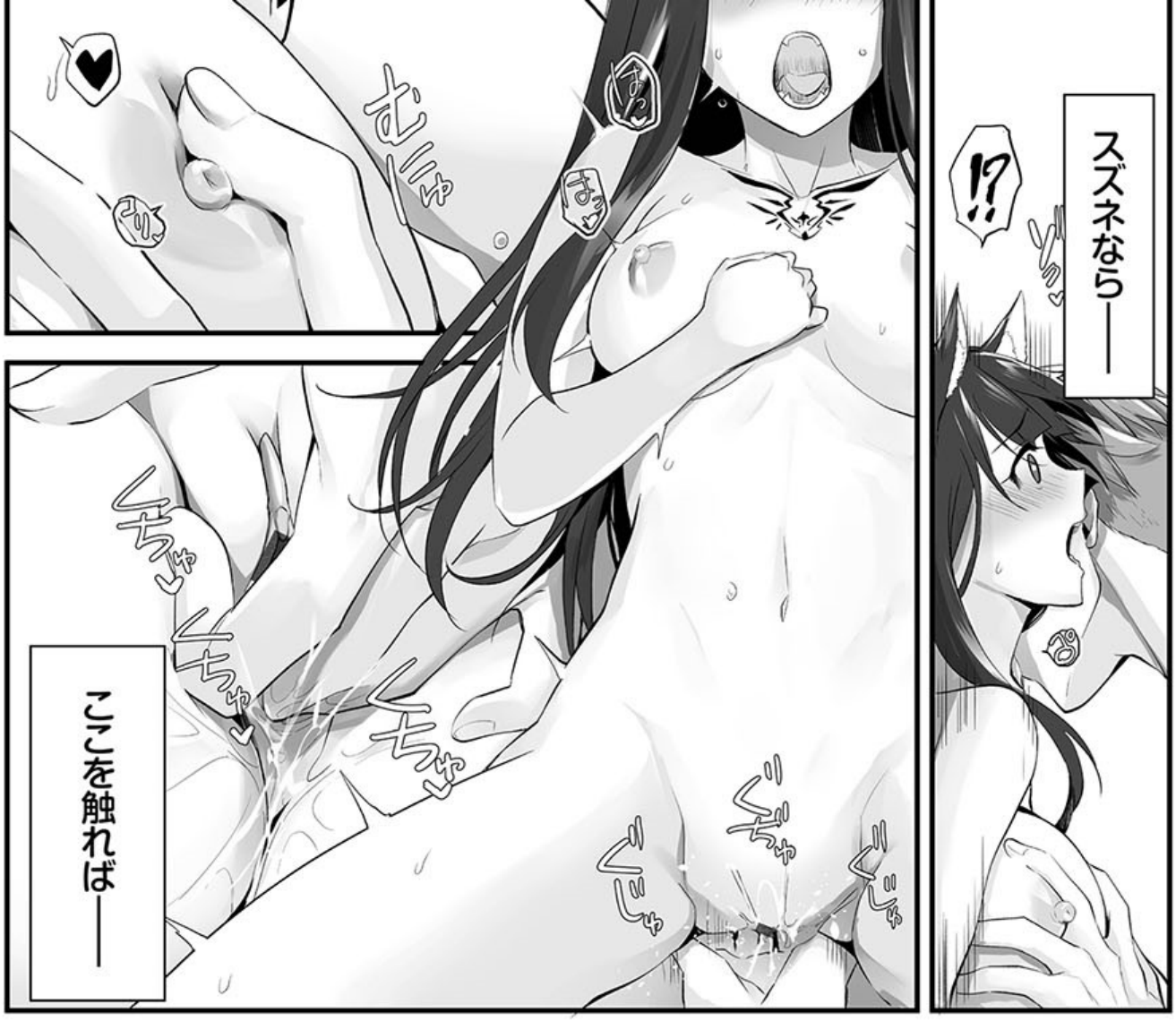

〝淫紋〟が
発動しない!?

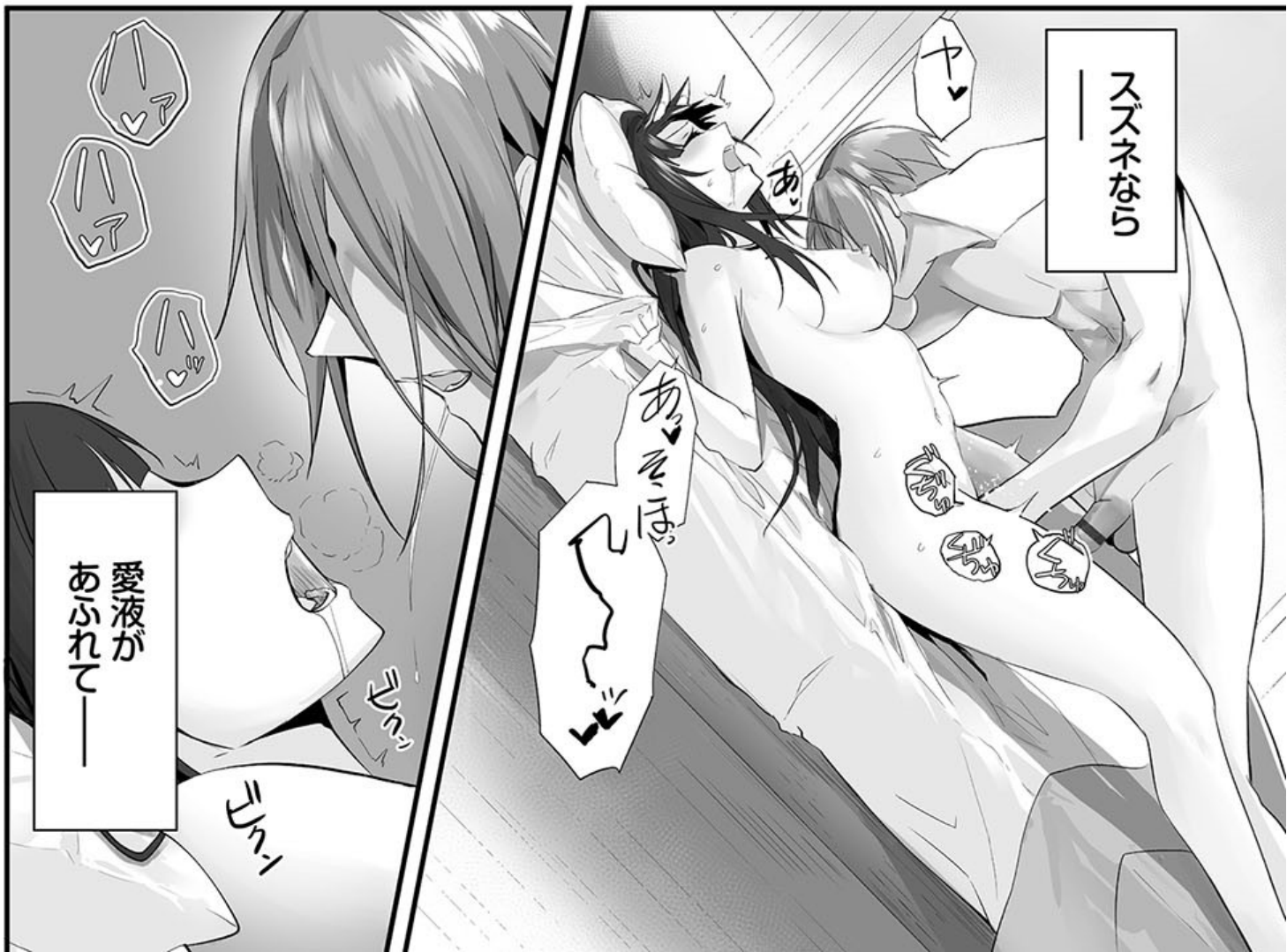

なんで発動
しないのっ!
なんで!
なんでっ!

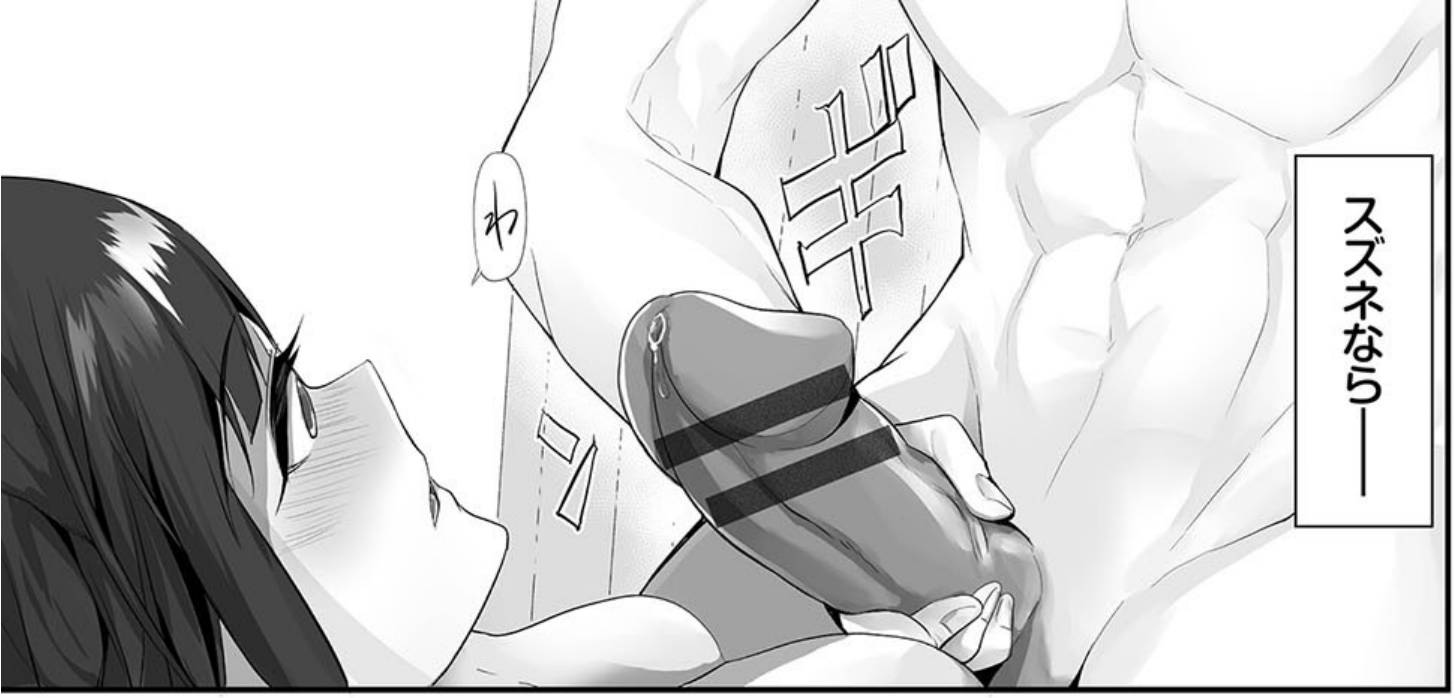

これじゃ私が
生まれた意味が!
存在する価値
なんて――
……


そんなことはない
どんな者であろうと
存在価値が
ないなんてことは
ないんだ…！
それに最近
知ったんだが


〝淫紋〟が
なくても
気持ちよく
なれるみたいだぞ
あ…
ん
んぁ
トロォ
にゃ


スズネなら――
!?
ぷっ
ぷっ
むにゅ
ここを触れば――
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ぐじゅ
ぐじゅ

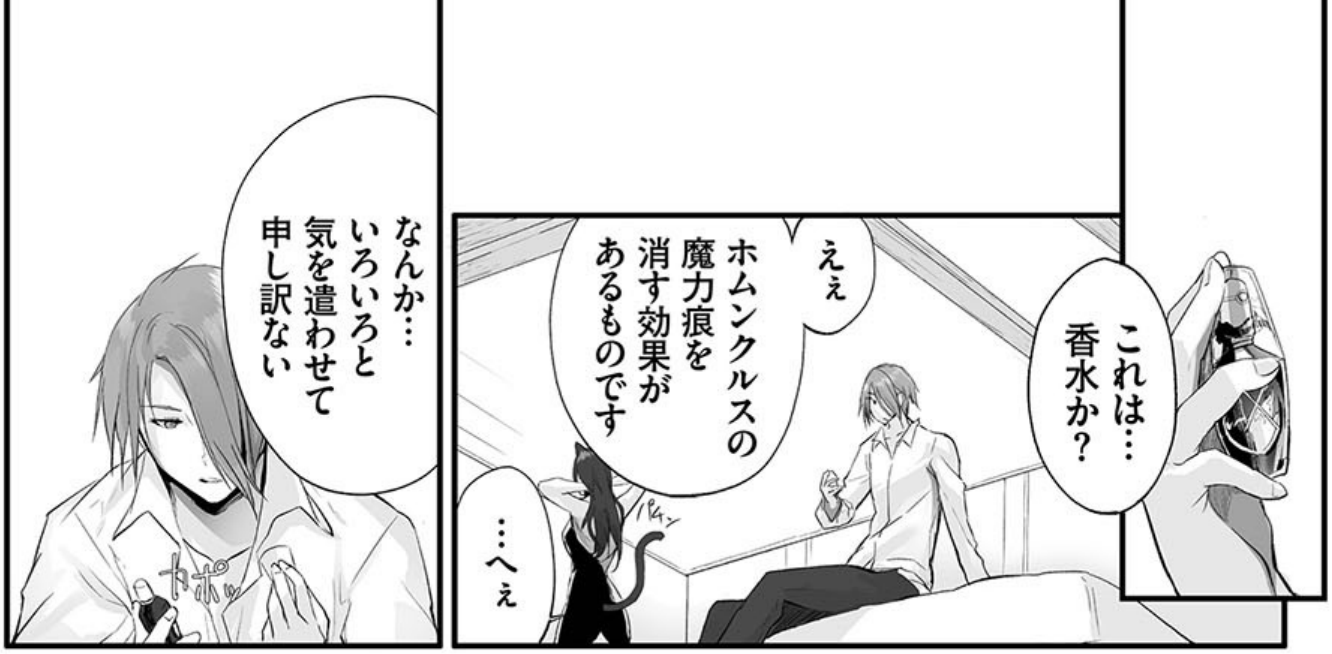

スズネなら――
ヤ
あっ
あっそこぉ
ぐじゅ
くちゅ
くちゅ
ハァ
ハァ
ハッ
愛液があふれて――
ビクン
ビクン

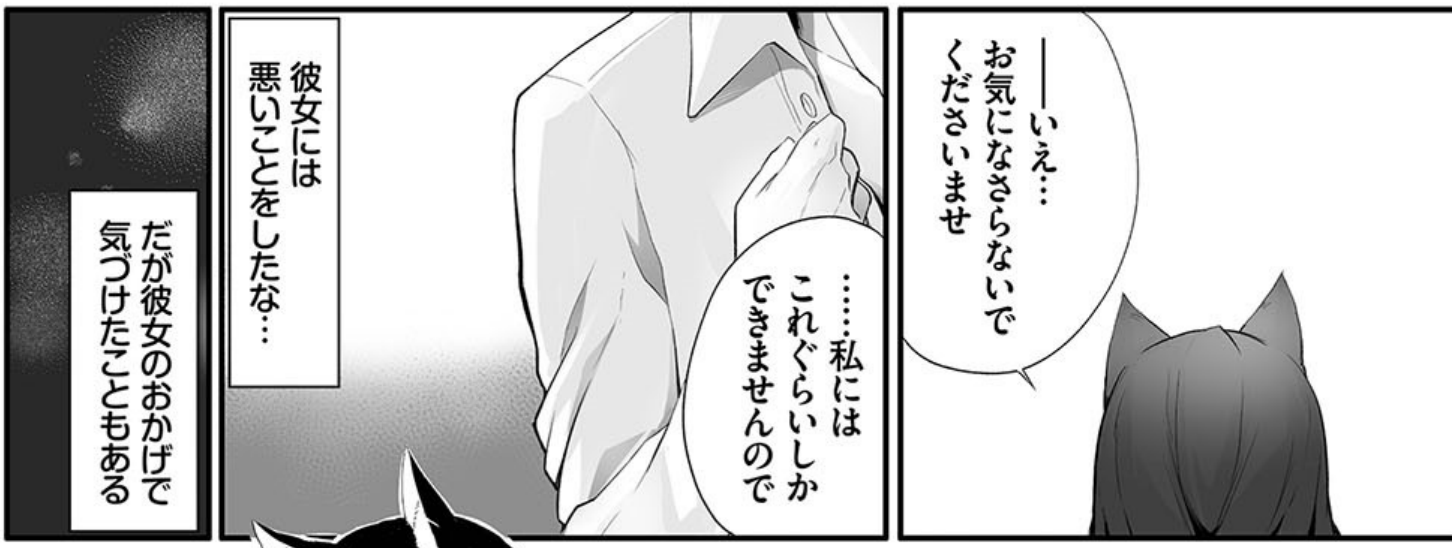

スズネなら――


コレを見て――
さっきとは全然違います…ね♡
そろそろ挿入れるぞ
あ…♡
もっと濡らして
スズネなら――！


〝淫紋〟使えないのに気持ちいい…！
またイッちゃった♡なんでこんなにっ!?
すごいっ♡ホムンクルスの気持ちいいとこ♡
知り尽くされてる♡


くっすごい
絞めつけっ！
ズッ
ズン
ぎゅーっ
こぁ
ぞの!!
ビクッ
ビクッ
ガク
ビクッ
ビクッ
ビクッ

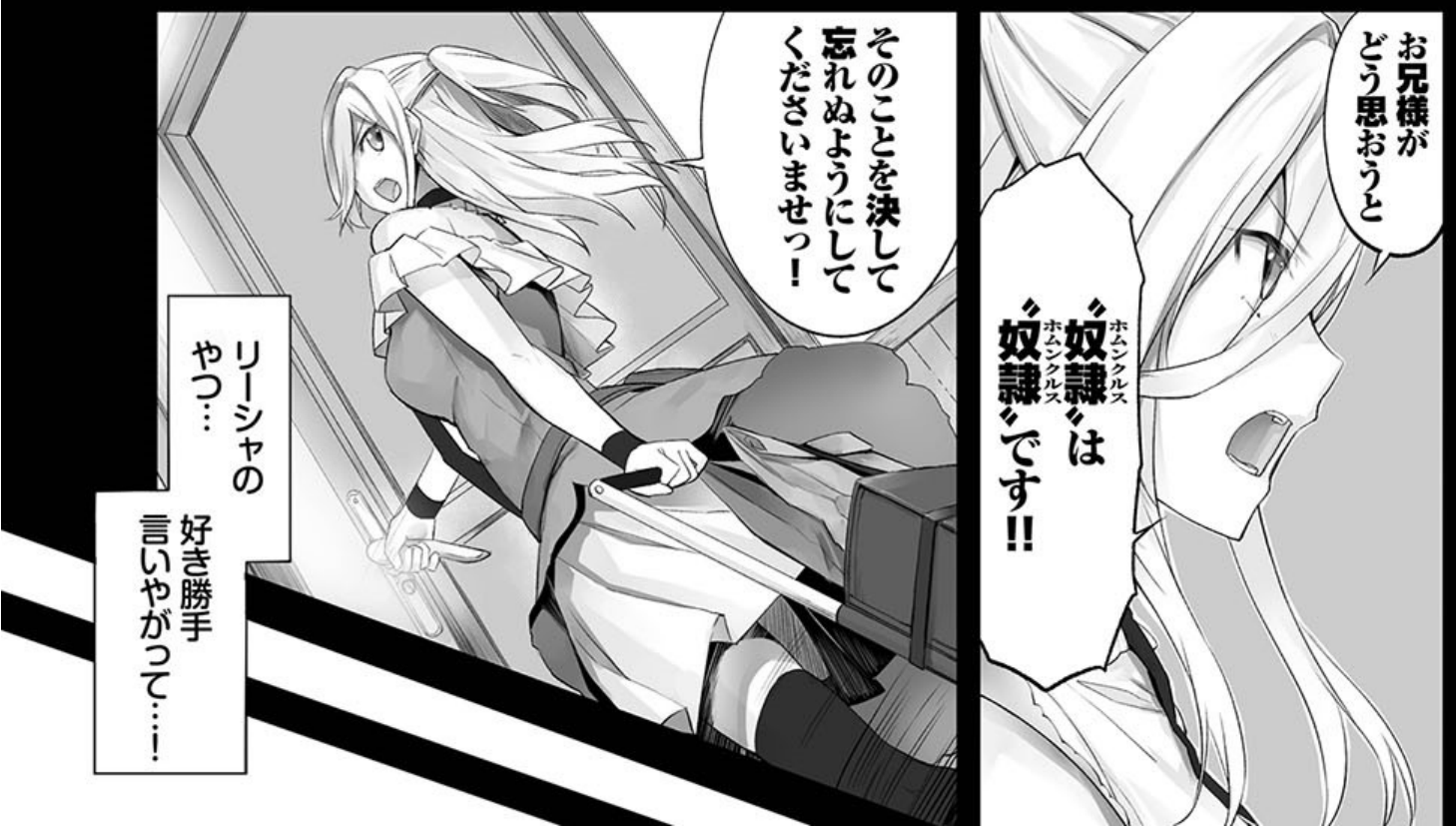

これは…
香水か？
えぇ
ホムンクルスの
魔力痕を
消す効果が
あるものです
…へぇ
なんか…
いろいろと
気を遣わせて
申し訳ない


——いえ…
お気になさらないで
くださいませ
……私には
これぐらいしか
できませんので
彼女には
悪いことをしたな…
だが彼女のおかげで
気づけたこともある

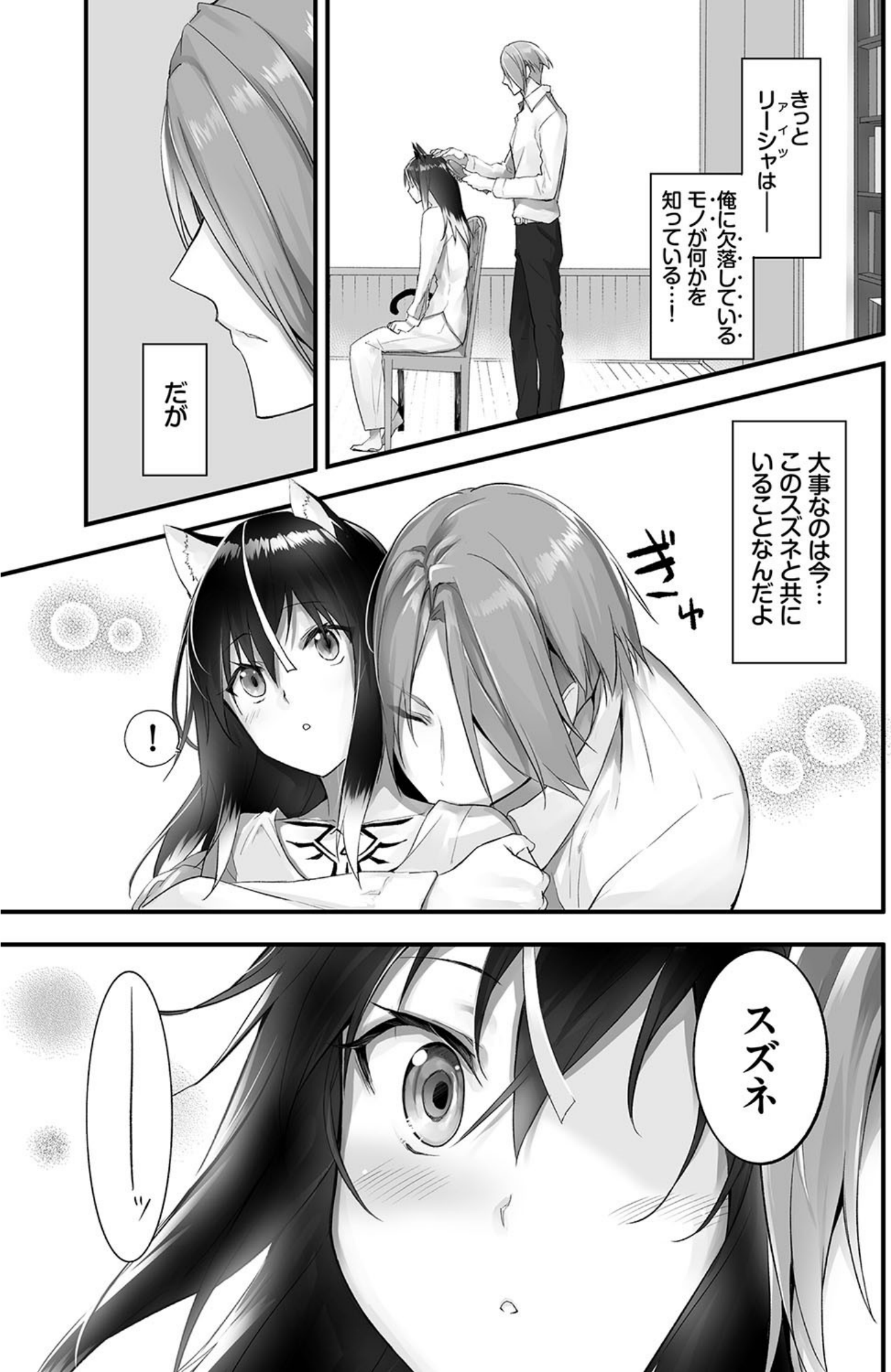

問題だらけの
俺だが…
少なくとも
俺にとって
スズネの近くに
いることが…
今は一番
大事なこと
ということだ
◆to be continued...◆


妹（リーシャ）は突然
帰ってしまった
……
第11話


お兄様！
私がお屋敷に
帰るにあたり
お話があります！
なんだよ
やぶから棒に
病院を
抜け出したことは
そのことでは
ありませんっ！
スズネちゃんの
ことです！


お兄様が
どう思おうと
〝奴隷（ホムンクルス）〟は
〝奴隷（ホムンクルス）〟です!!
そのことを決して
忘れぬようにして
くださいませっ！
リーシャの
やつ…
好き勝手
言いやがって…！


そんなこと
言われなくても分かってるよ
……髪が乱れてるな
少しとかしてやろう…
ガタ
でも
〝人間〟ではなくとも――
大事だと思ってしまったんだよ


きっと
リーシャ(アイツ)は――
俺に欠落している
モノが何かを
知っている…！
だが
大事なのは今…
このスズネと共に
いることなんだよ
ぎゅ
！
スズネ
ッ


？
あぁすまない
苦しかったか
俺もこんな感情は
久しぶりで…
どう表していいか
分からないんだ…
……
スズネ？
――ッ！
ポロ…
どうした!?
スズネッ!!
ポロ
ポロ

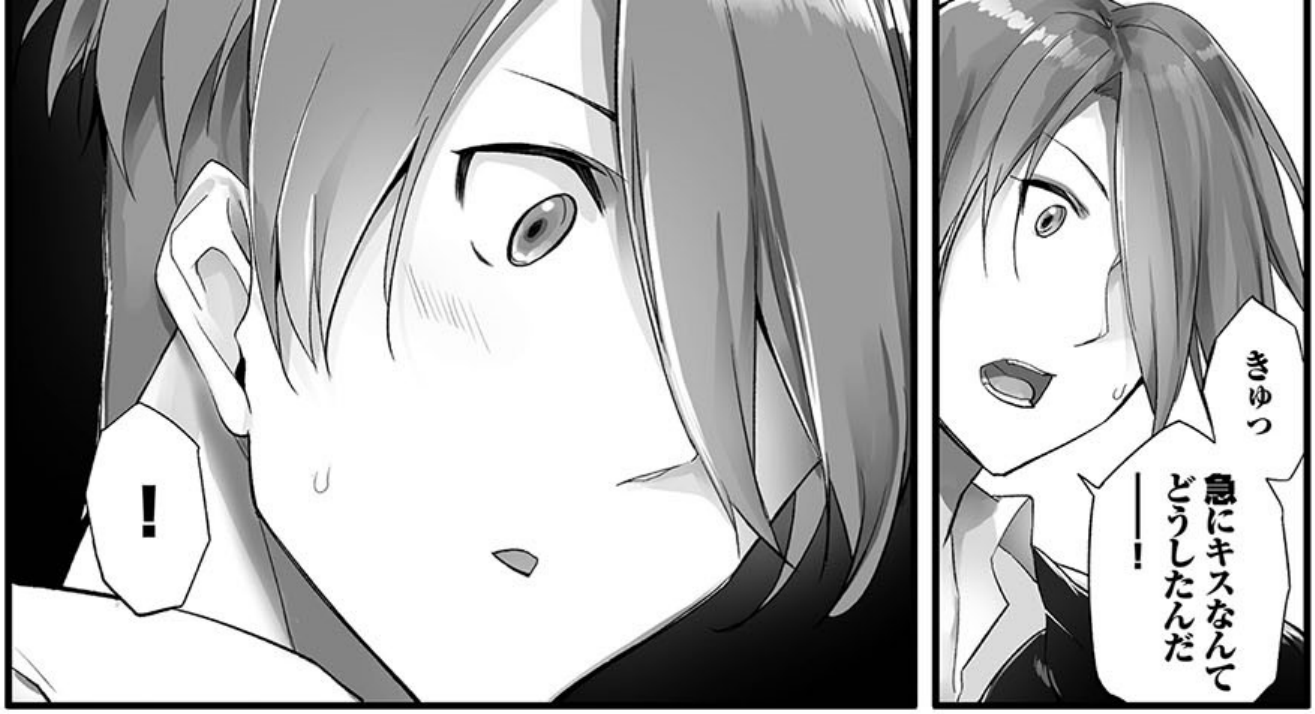

どっか痛かったか!?
フルフル
嫌だったのか!?
フルフル
なんか気に障ったか!?
フルフル
！
ガバッ
あ…
ギュ
…嫌ではなかったんだな…？
……
なかなか難しいものだな…
……


正直…
〝ホムンクルス〟に
こんなに
肩入れするとは
思わなかった…


〝ホムンクルス〟
なんて
この国に
とっちゃただの
〝商品〟でしかない
俺もそう思ってたし
そういうふうに
接してきた…




ガタッ
?
スッ
プハ
――ッ


きゅっ
急にキスなんて
どうしたんだ
――！
！


『これは〝キス〟と
言ってな』
『大切だと思う相手に
する行為の一つだ』


あの時の…
お前は俺のことを
〝大事な存在〟だと
伝えたいってこと
なのか？
ニコッ


いくか
寝室…
レズ
ギシッ


……俺も
いつの間にか
ぷあ

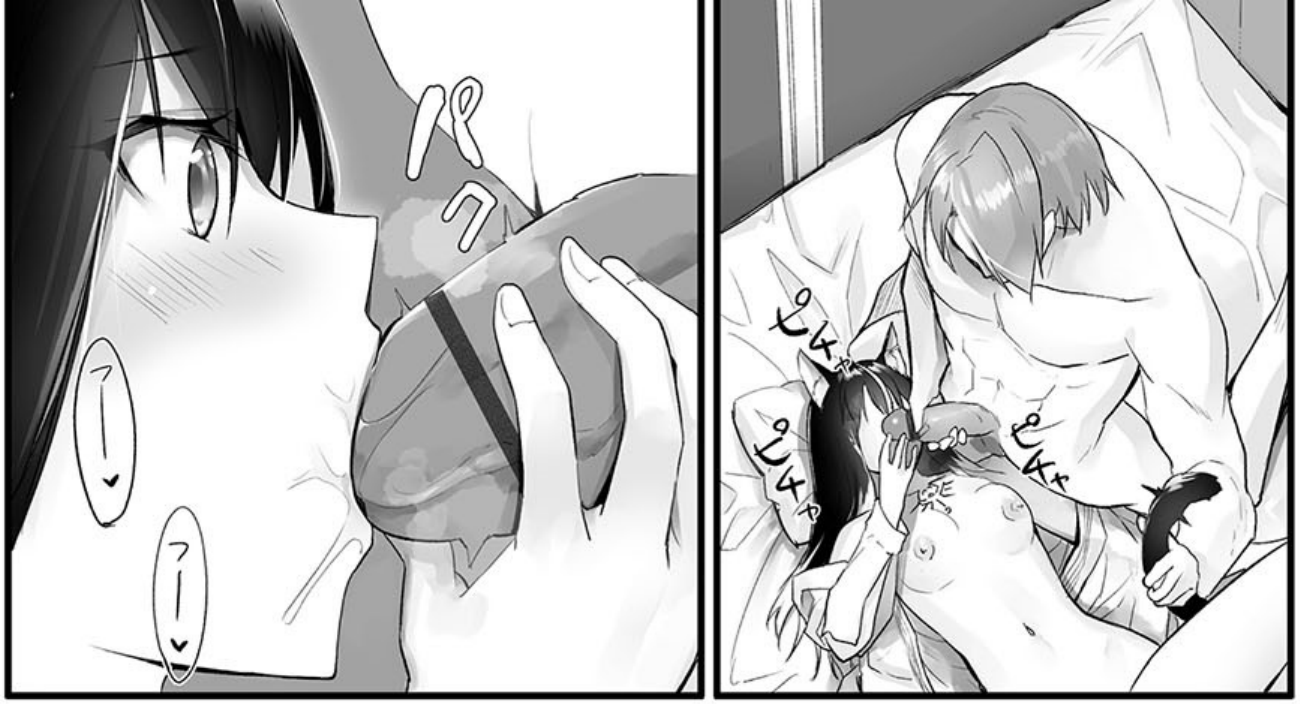
スズネ
お前のことが
〝大事な存在〟に
なってたみたいだ


ん…？
……
……

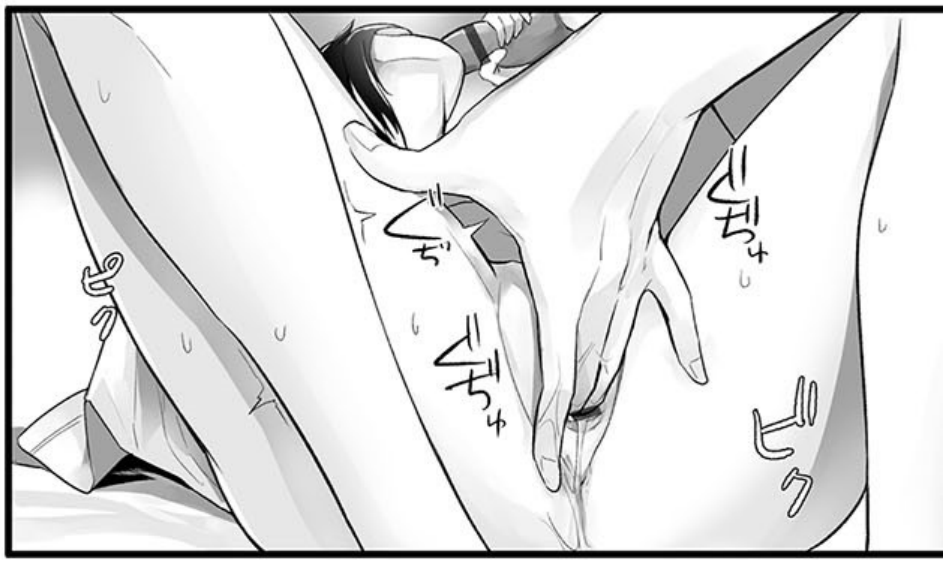

反応がいつもと違う…？
……まぁ気のせいか…
スル
今はただ……
スズネを味わいたい！
ハムッ


スススッ
ゾクッ
ゾクッ
サワ
ハ
ア
ビクッ


スズネ！
はっ
はっ
？
ズン！
はぁ♥
はっ♥
はっ♥


パク
アー
アー
ピャ
ピャ
ピャ


ちゅぽん


ビク
ビチュ
ビチュ
ビク

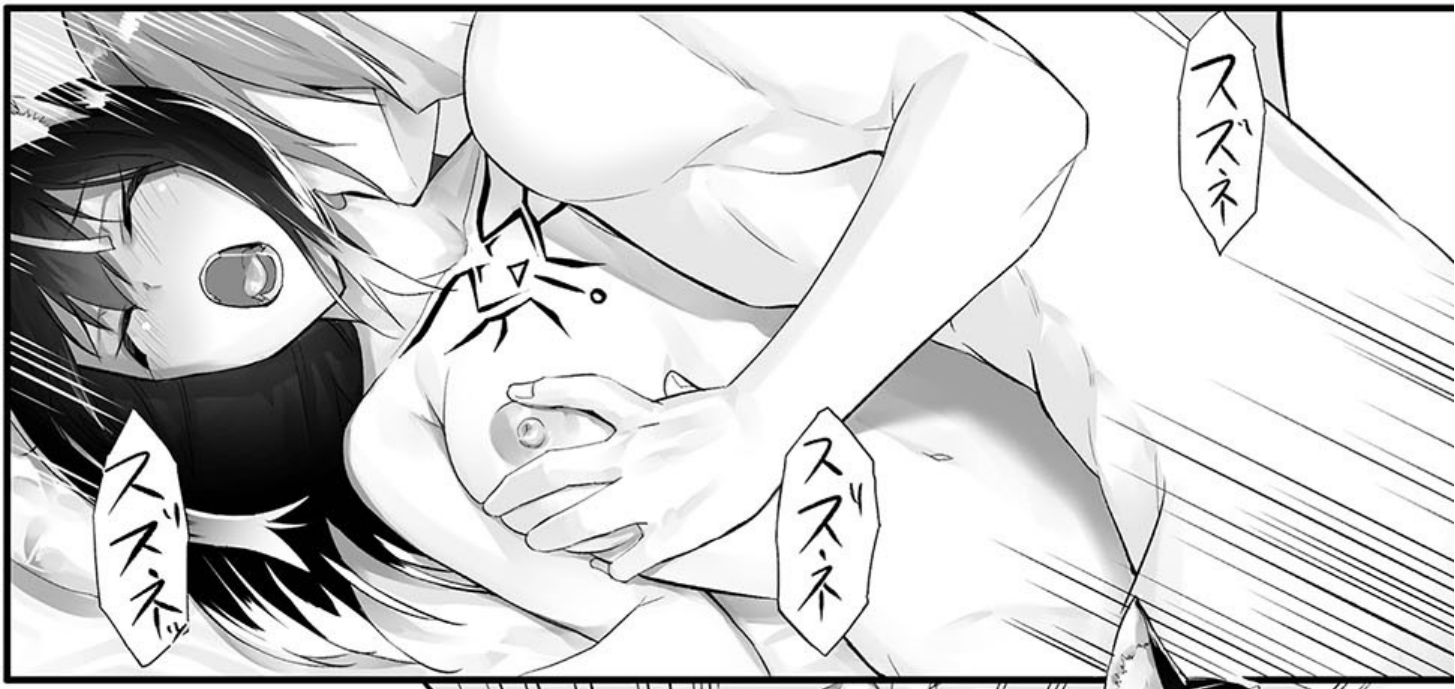

挿入れるぞ…！
コク
コク
はっ
はっ

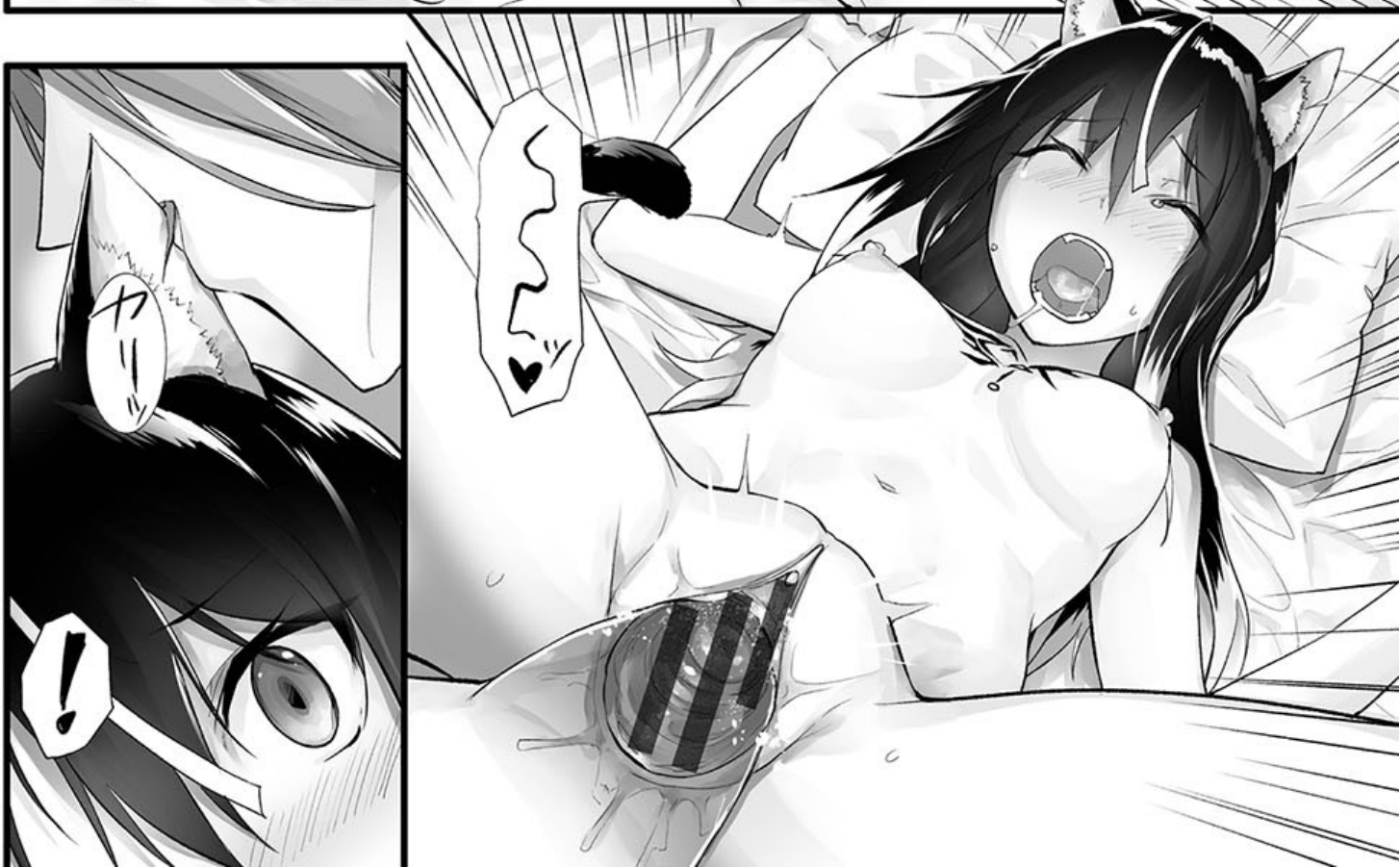



ッ♥
パッ
パッ
パッ
ッ♥
♡
♡
はっ♡
♡
はっ♡
ギュっ♥
ギュっ♥
ズヌッ
ズヌッ
ズヌッ

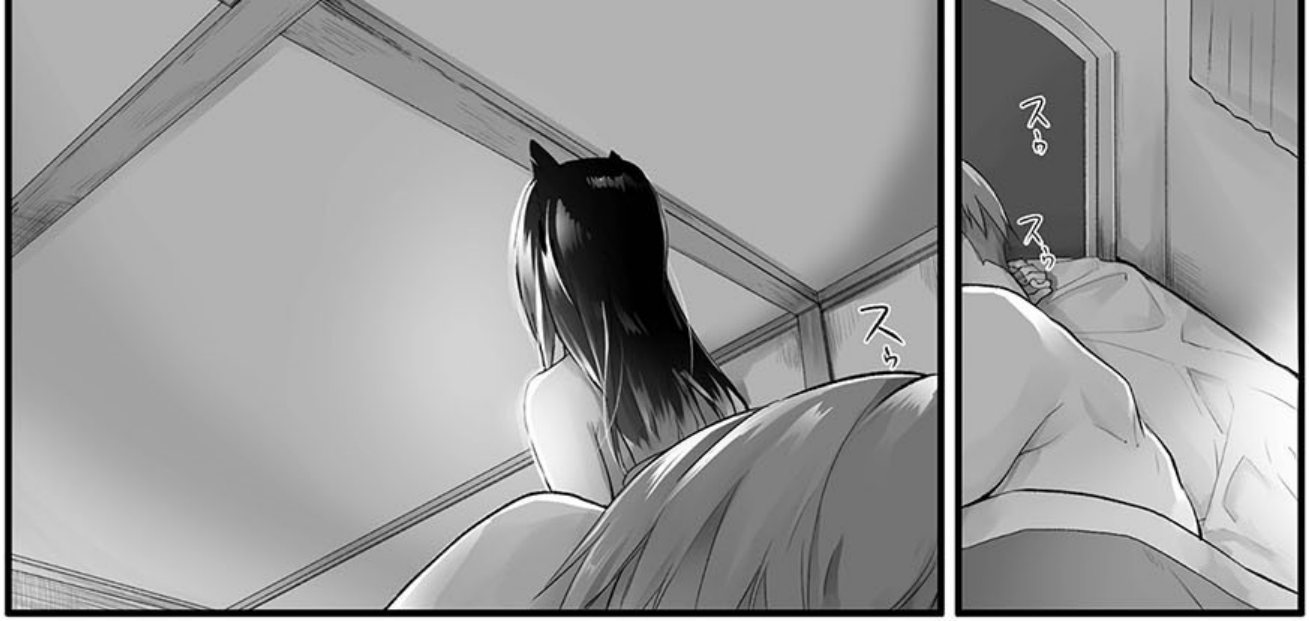

あぁやはり俺は
普通ではないな…
この未成熟な
身体も――
はっ♥
はっ♥
よく反応する
尻尾も――
快楽にあえぐ
この顔も
敏感な耳も
かわいいと
思えてしまう！

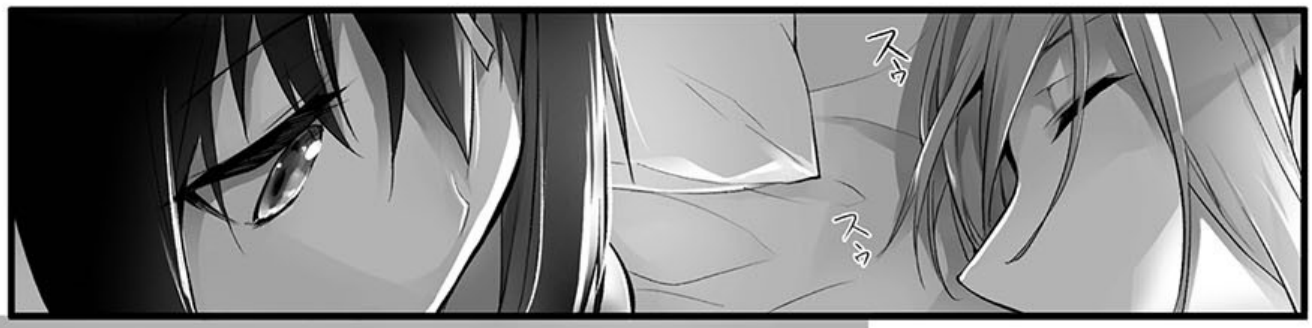

スズネッ！
はっ
はっ


スズネ
スズネ
スズネッ


カリ
！


くっ
ビクッ
ビクッ
な、
な、
な、
……
ドクッ
ドクッ
ドクッ


スゥ
スゥ
スゥ

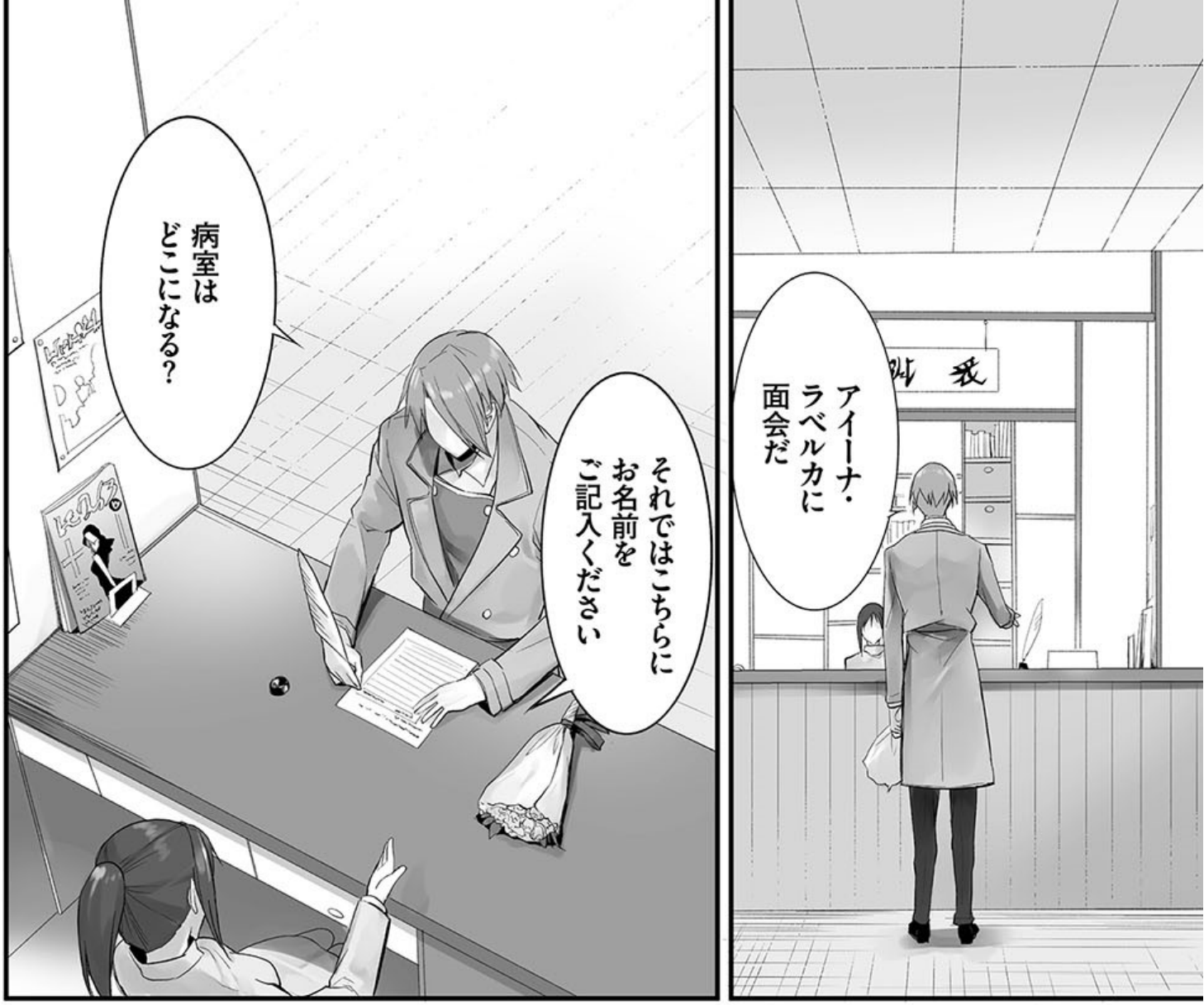

スゥ
スゥ

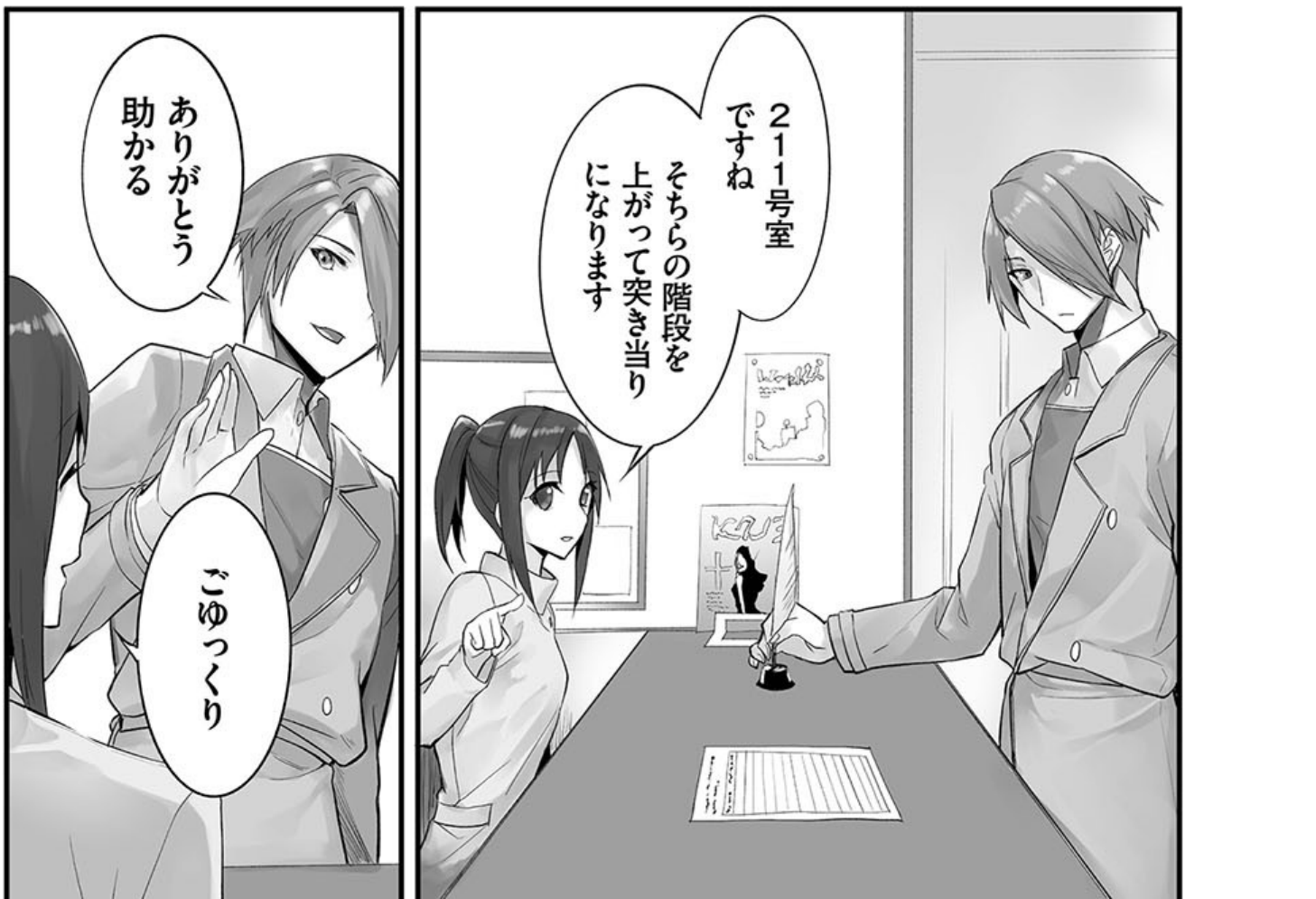

……
◆to be continued...◆


……


キッ


第12話
ここ数日…
仕事以外スズネに
かまけていて
忘れていたが…
※9話参照
アイーナ※女史の
見舞いに一度も
行ってなかった…！
まだ退院して
ないようだし
一度は顔を見せて
おかないとな…
——憲兵医療棟
ここか


アイーナ・ラベルカに面会だ
それではこちらにお名前をご記入ください
病室はどこになる？


211号室ですね
そちらの階段を上がって突き当りになります
ありがとう助かる
ごゆっくり

……彼女は
大事なかったん
だろうか？

あの日のことは
よくは覚えていないが
彼女もかなりの
ダメージを
受けたように見えた

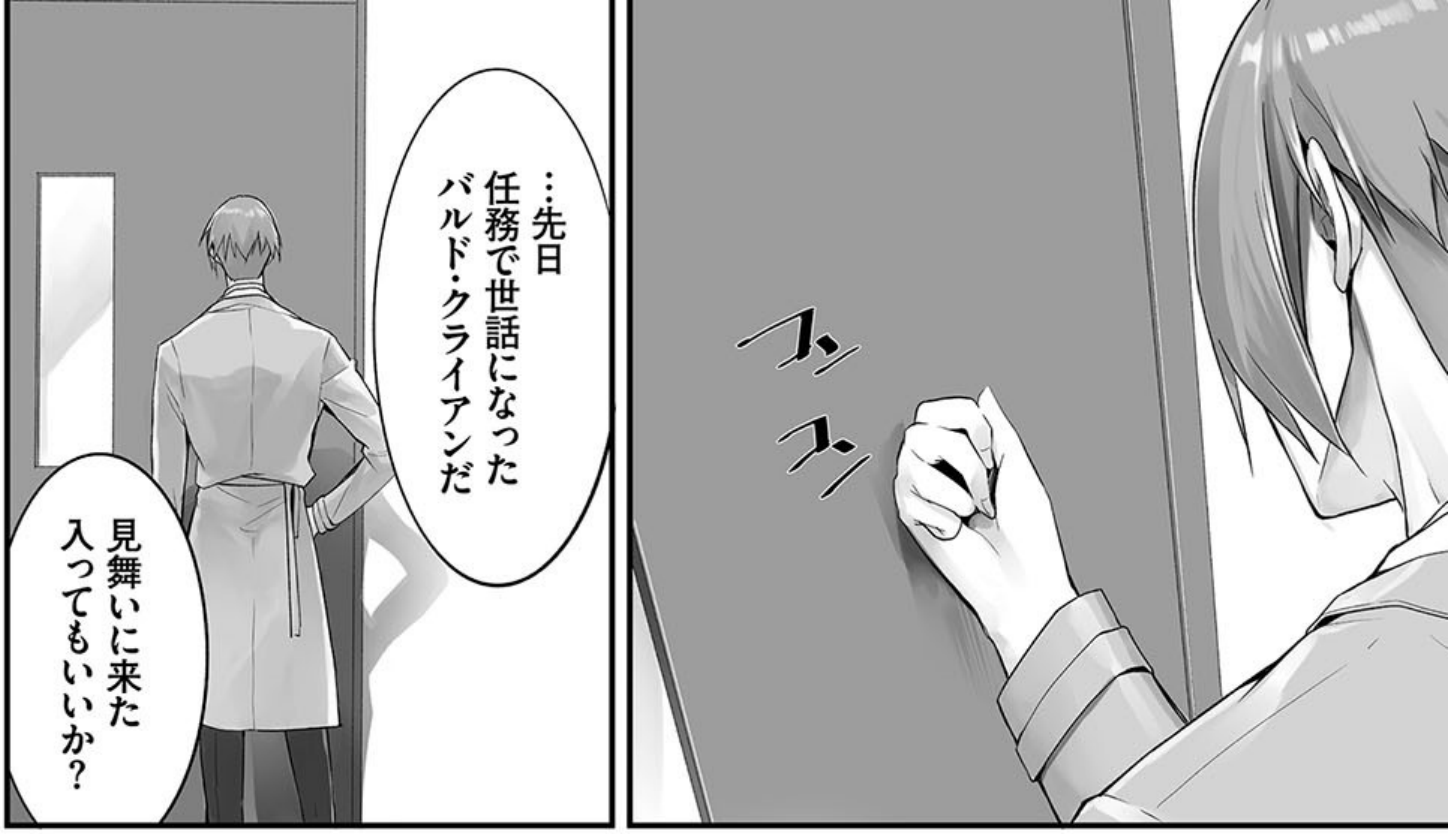
……俺がもっと
上手くやっていれば
彼女は無事だった
かもしれないな…

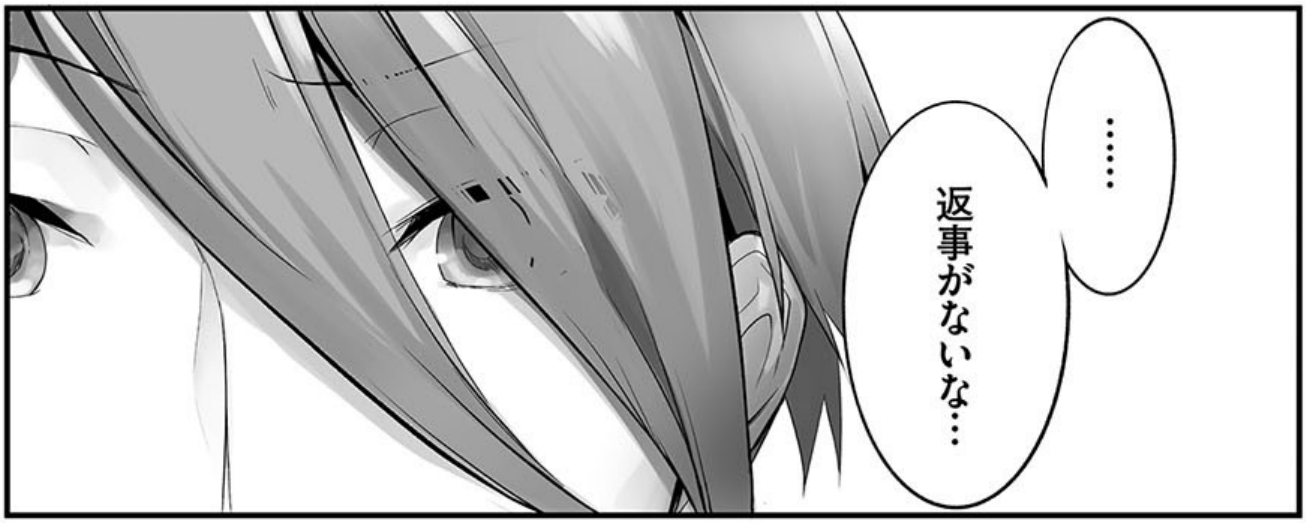
……

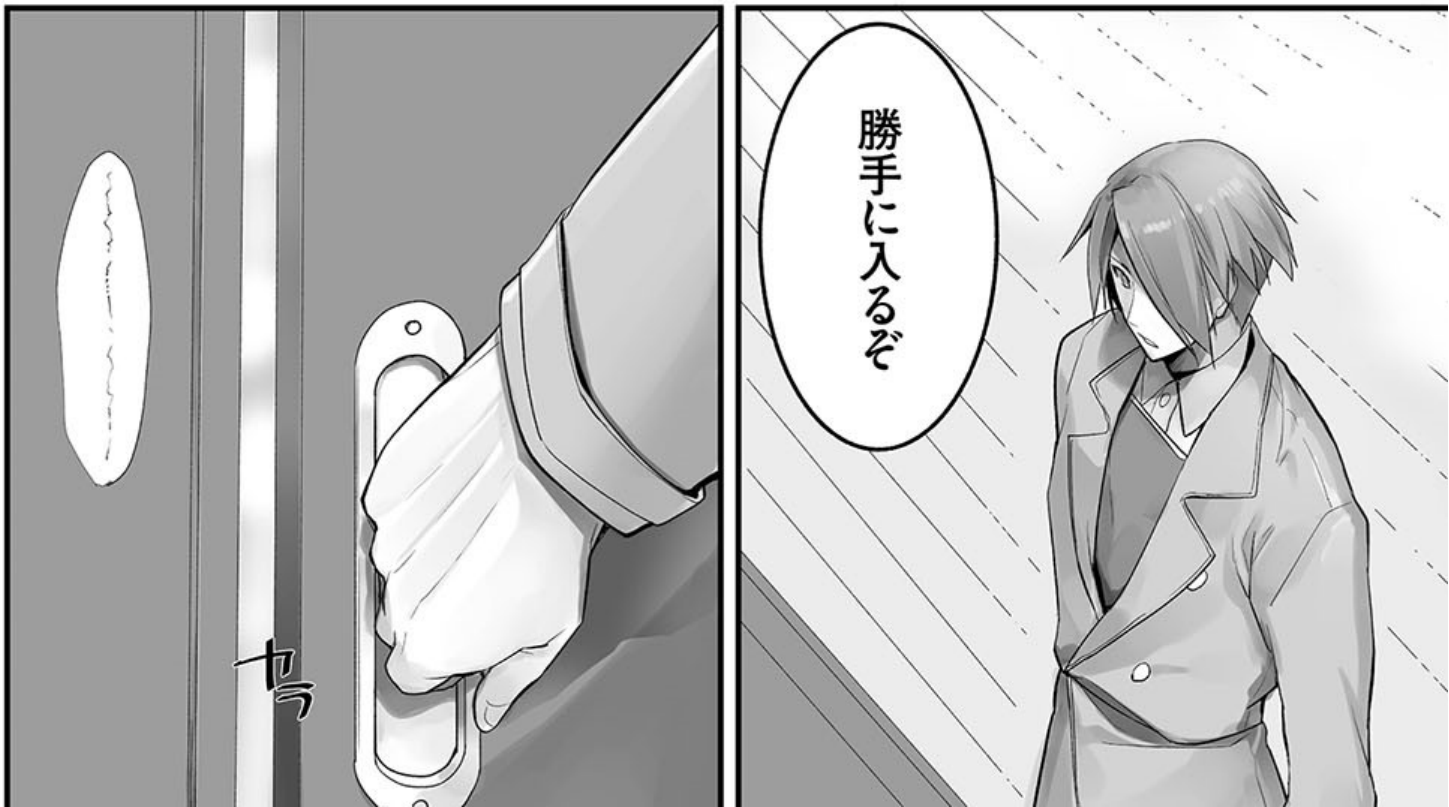
やはり
手土産ぐらい
用意してくる
べきだったか

ここか

211

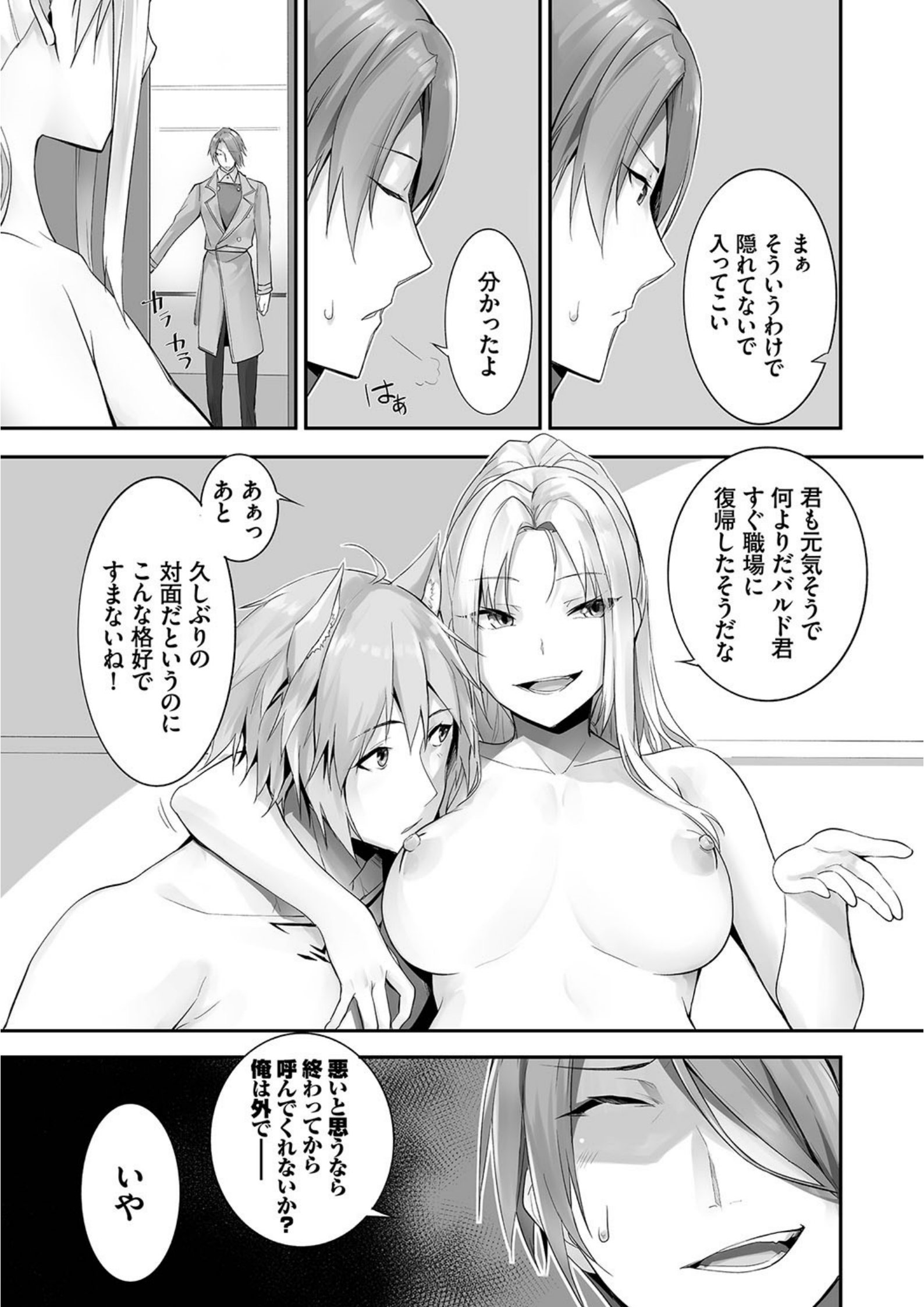

…先日
任務で世話になった
バルド・クライアンだ
見舞いに来た
入ってもいいか？


……
返事がないな…

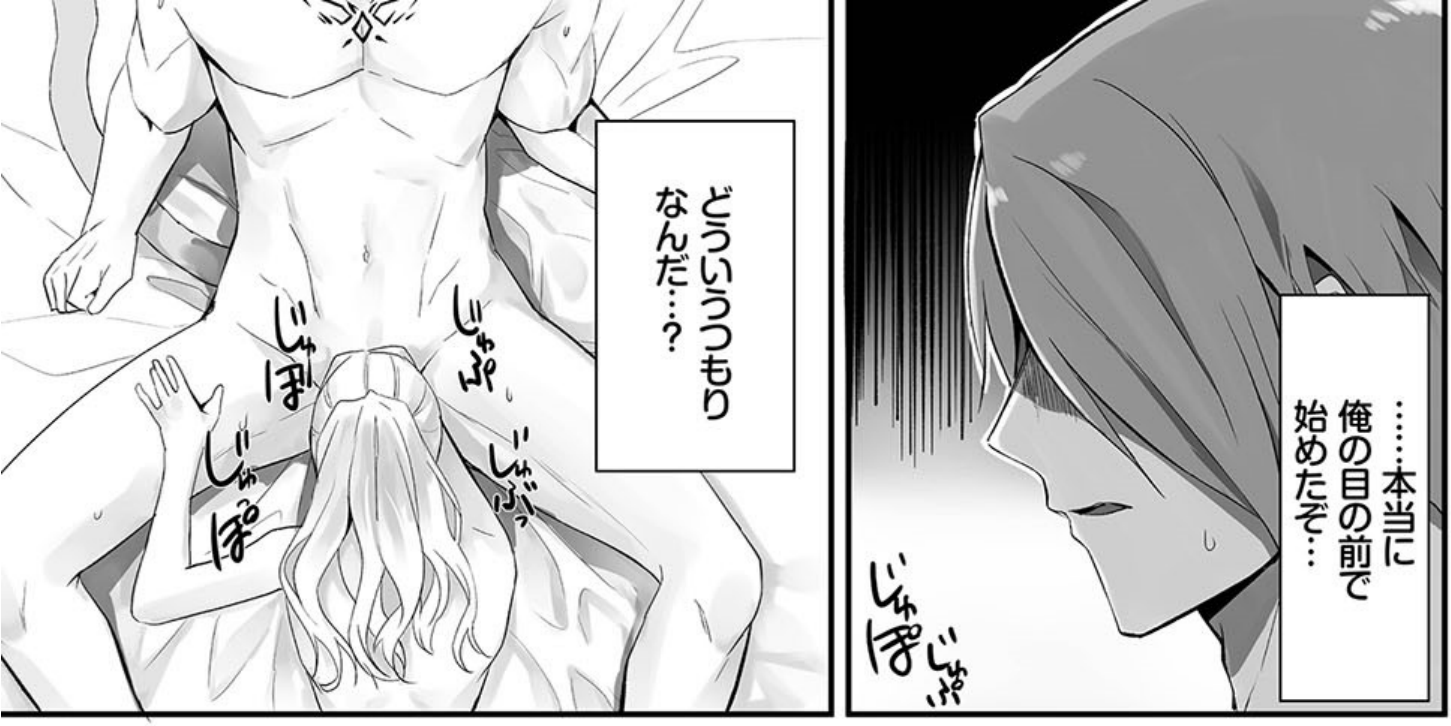

勝手に入るぞ
ガラ


？
話し声？
先客か？
そう…そこだいいぞ♡
もっとなめてよくしてくれ♡
！


ん？
任務でいきなり倒れるだけでは物足りず…
今度はのぞき魔とは関心はできんなバルド・クライアン
はぁ…
見舞いに来てみれば…お元気そうで何よりだよアイーナ女史…っ
嘘ぶくなよ！
君は私に聞くことがあっただけだろう？


まぁ
そういうわけで
隠れてないで
入ってこい
分かったよ
はぁ
カラカラ
君も元気そうで
何よりだバルド君
すぐ職場に
復帰したそうだな
あぁっ
あと
久しぶりの
対面だというのに
こんな格好で
すまないね！
悪いと思うなら
終わってから
呼んでくれないか？
俺は外で――
いや

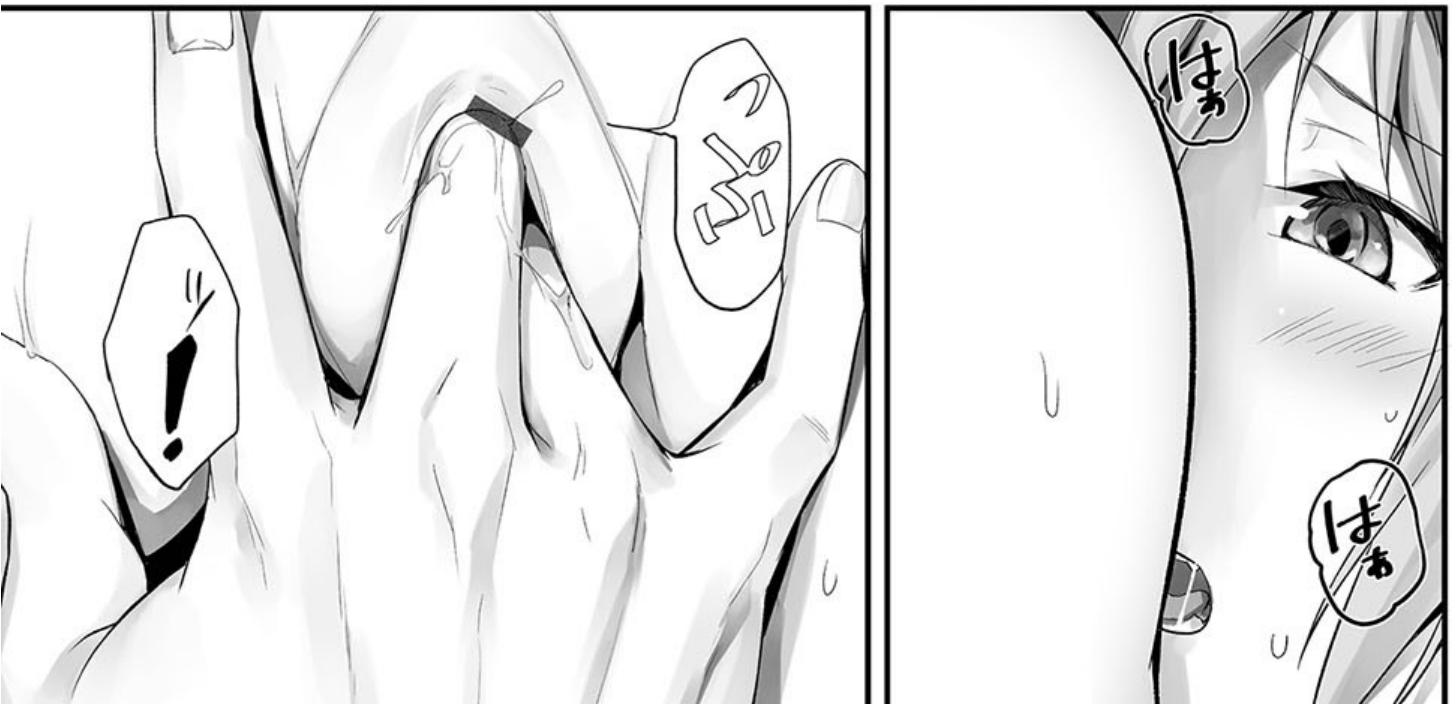

君には
そこで〝私達の行為〟を見ててもらうとするか！
アイーナ様…？
力を抜けっいつもどおりでいい！
んなっ!?
パ


……本当に
俺の目の前で
始めたぞ…
じゅぽ
じゅぷ
どういうつもり
なんだ…？
じゅぷ
じゅぽ
じゅぽ
じゅぷっ


はっ
はっ
はっ
はぁ
はっ
はぁ


…さぁ
さっきの続きを
してくれ♡
ちゅ
ちゅ
はぁ
はぁ
ん♡
そこ…♡
気持ちいいぞ♡
ぺろ


くぁ♥
んぁ
ぢゅぽ
ぢゅぽ
ぢゅぽっ
ビク
ビク
ビク
フーッ
フーッ
ぢゅ


はぁ
はぁ
ぢゅぷ
ッ！


ビクッ
ビクッ
ビクッ♥
いきなり指
入れるなぁ♡♥
はーっ
はー♥


ん♥
ちゃ♡
ちゃ♡


はっ
はっ

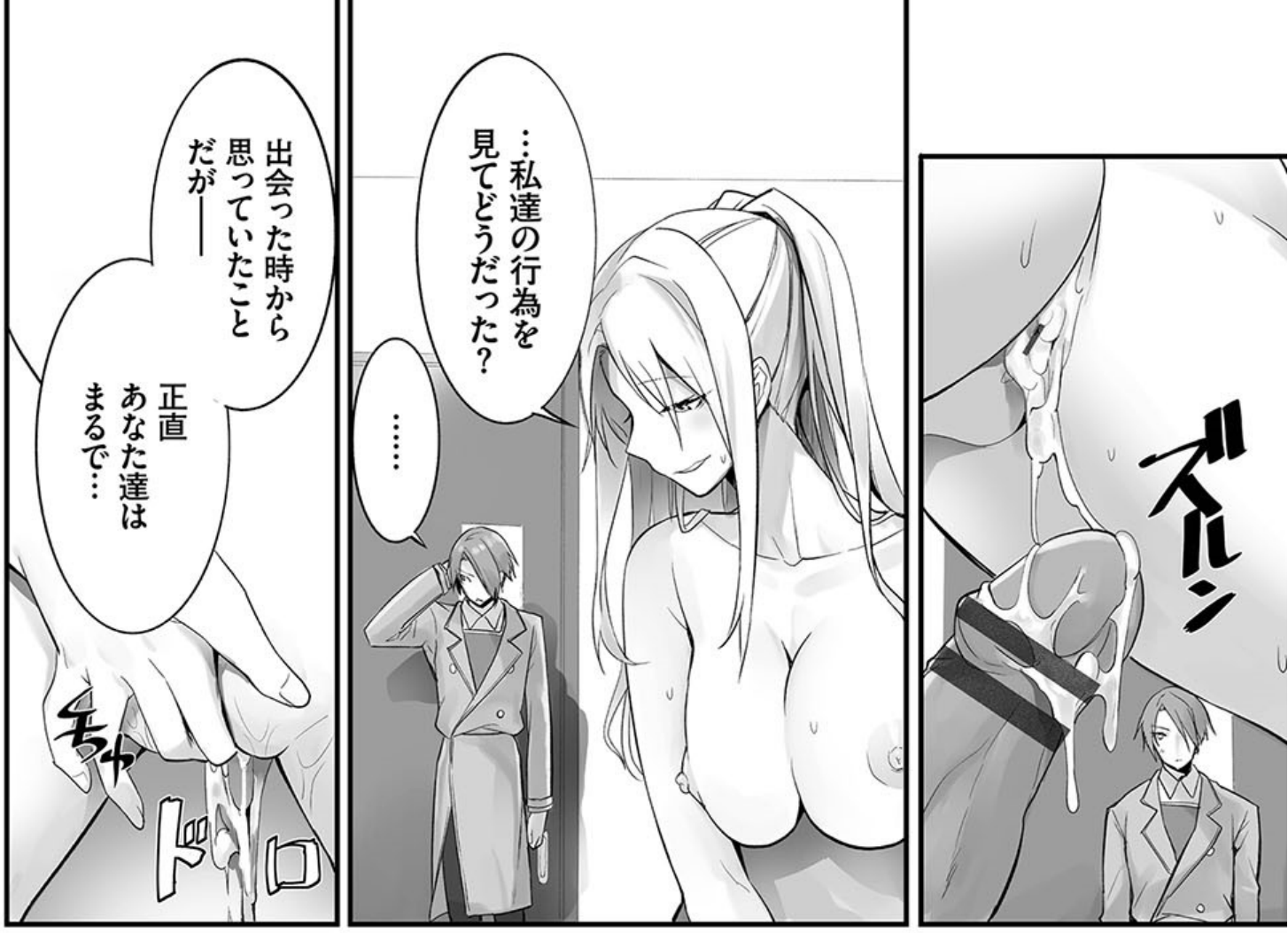

ア♡
いつもどおり
ア♡
ア♡
搾り取ってやるからな♡
ズッ♡
ズッ♡
ビクッ
くっあ♡

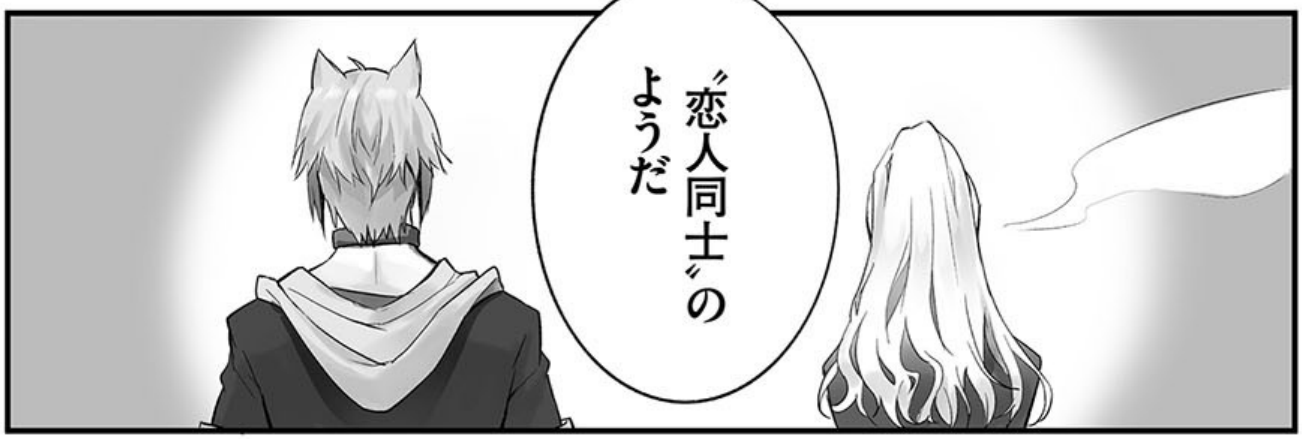

……見入ってしまう
この二人の行為はまるで
はぁ
はっ
はっ
んっ
ぐちゅ
くちゅ
くちゅ
ぐちゅ

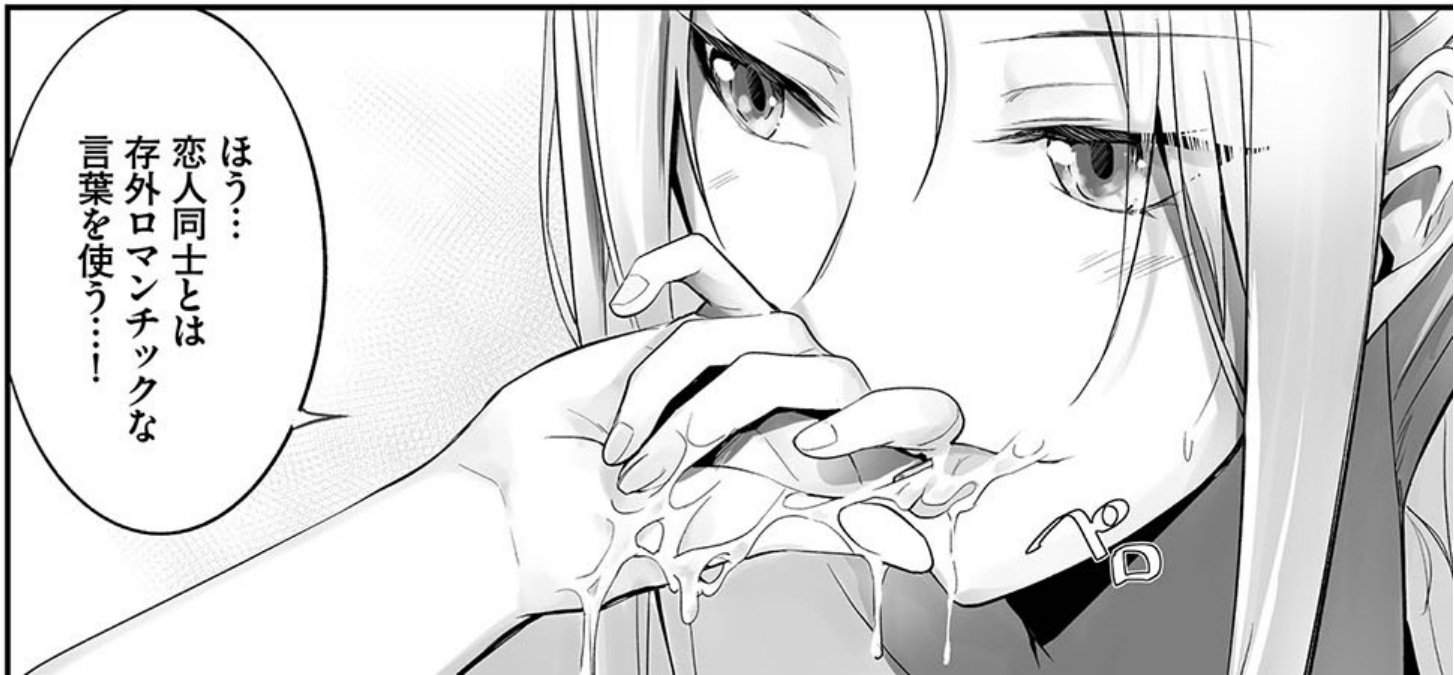

想い合う…〝男女のソレ〟だ
ちゅ
ちゅ


――あの時奴隷(カレ)をかばった主人(カノジョ)の行動は純粋な……
ずぷ
ずぷ
ぐちゅ
はっ
こ
んっ


アッ
アイーナ様っ
はっ
はっ
もうっ
射精ますっ！
ズッ
ズッ
ゴッ
ゴッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
私もっ♡
もう♡
イクッ
ツ～♥
はっ
はぁっ
ビュッ
ビュッ
ビュッ


ズルン
…私達の行為を見てどうだった？
……
出会った時から思っていたことだが――
正直あなた達はまるで…
ドロ


〝恋人同士〟のようだ


ほう…
恋人同士とは
存外ロマンチックな
言葉を使う…！


アイーナ女史
一つ聞かせてくれ
今日も濃いな
恐縮です
ペロ
あなたは
その〝奴隷〟を…
その…
愛して…
いるのか…？
何かと
思えば…
あぁ
もちろん
ゴゥ
愛しているさ
とてもね

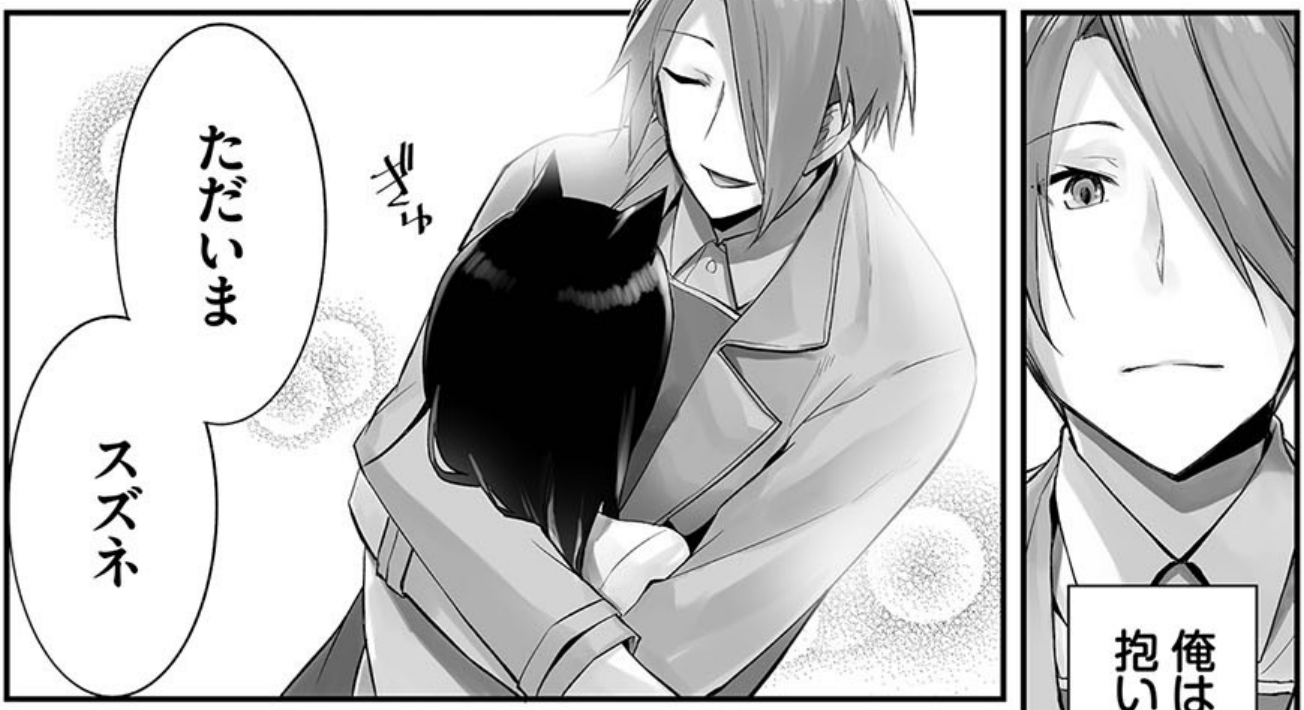

世界は認めては
くれないが
このカタチは
〝在っていいもの〟
だと思っている

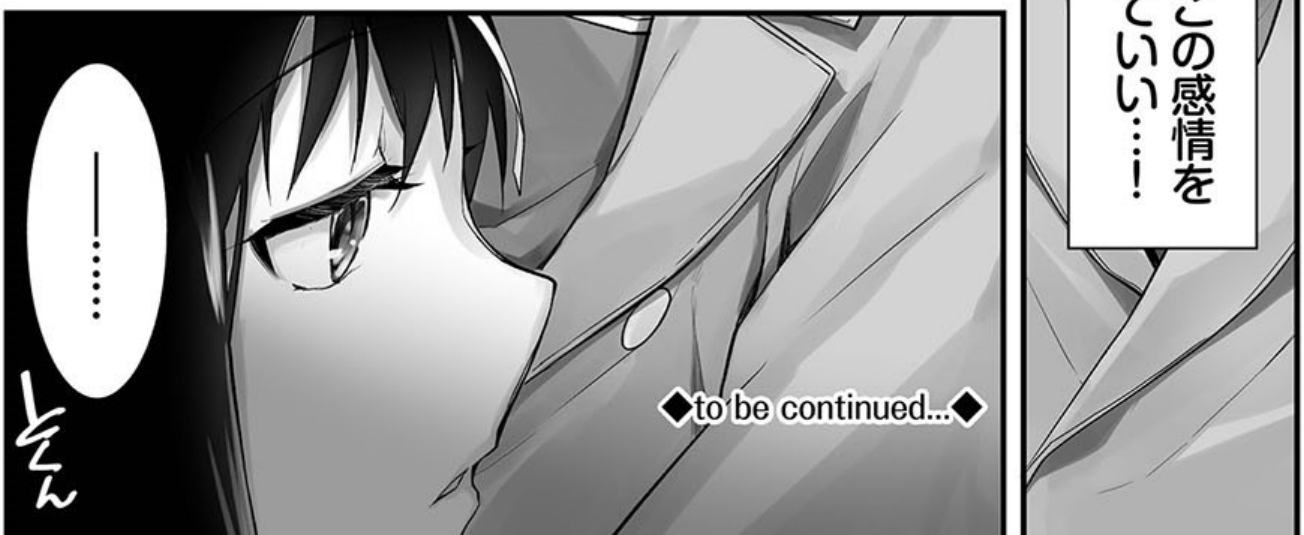

少なくとも
私はそう
声を上げ続ける


君は
どうかな？
バルド・クライアン


俺は
スズネのことを…
愛しているのか…？
―今更何を
この感情は
〝愛〟に
他ならないだろ
その顔を見ると
聞きたかったことは
聞けたみたいだな！


バタン
彼女に会ってよかった……
タタッ
〝奴隷(ホムンクルス)〟に対しての愛情…

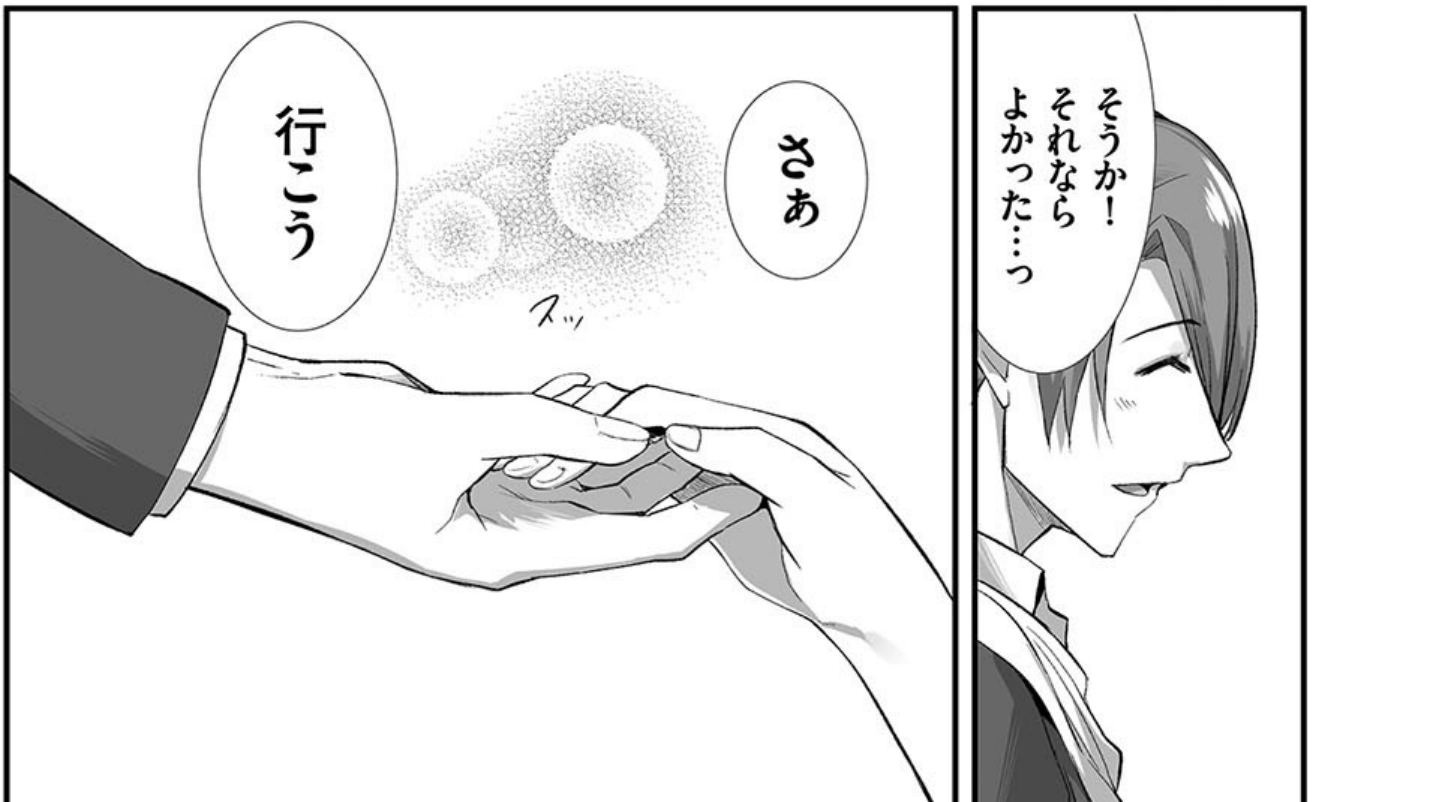

ぎゅ
ただいま
スズネ


俺はこの感情を抱いていいい…！
——……
とん
◆to be continued...◆


第13話
露店街
ドン
ガヤ
ガヤ
さぁ今日はここだ！
？
ん？それは今日はどんな御用でここに？という顔だな

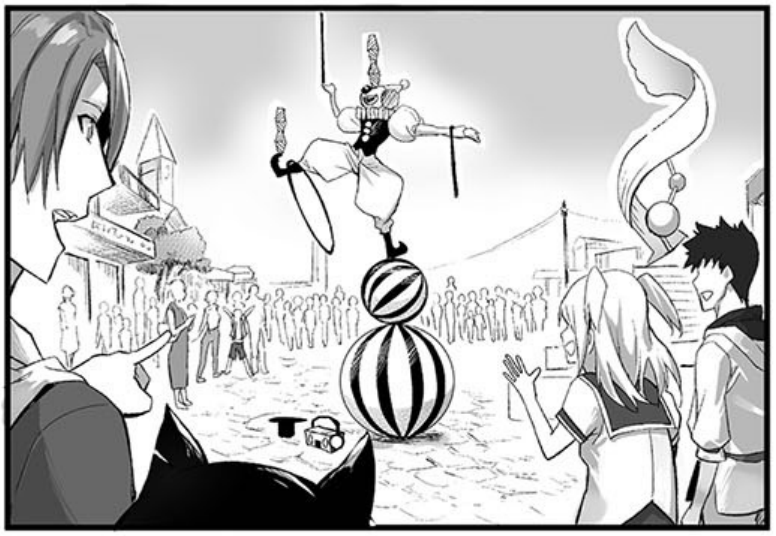

嫌だったか？
！
まぁ…
その…っ
俺がスズネと
出かけたかった
だけだ…！


フル
フル


そうか！
それなら
よかった…っ
さあ
行こう
スッ









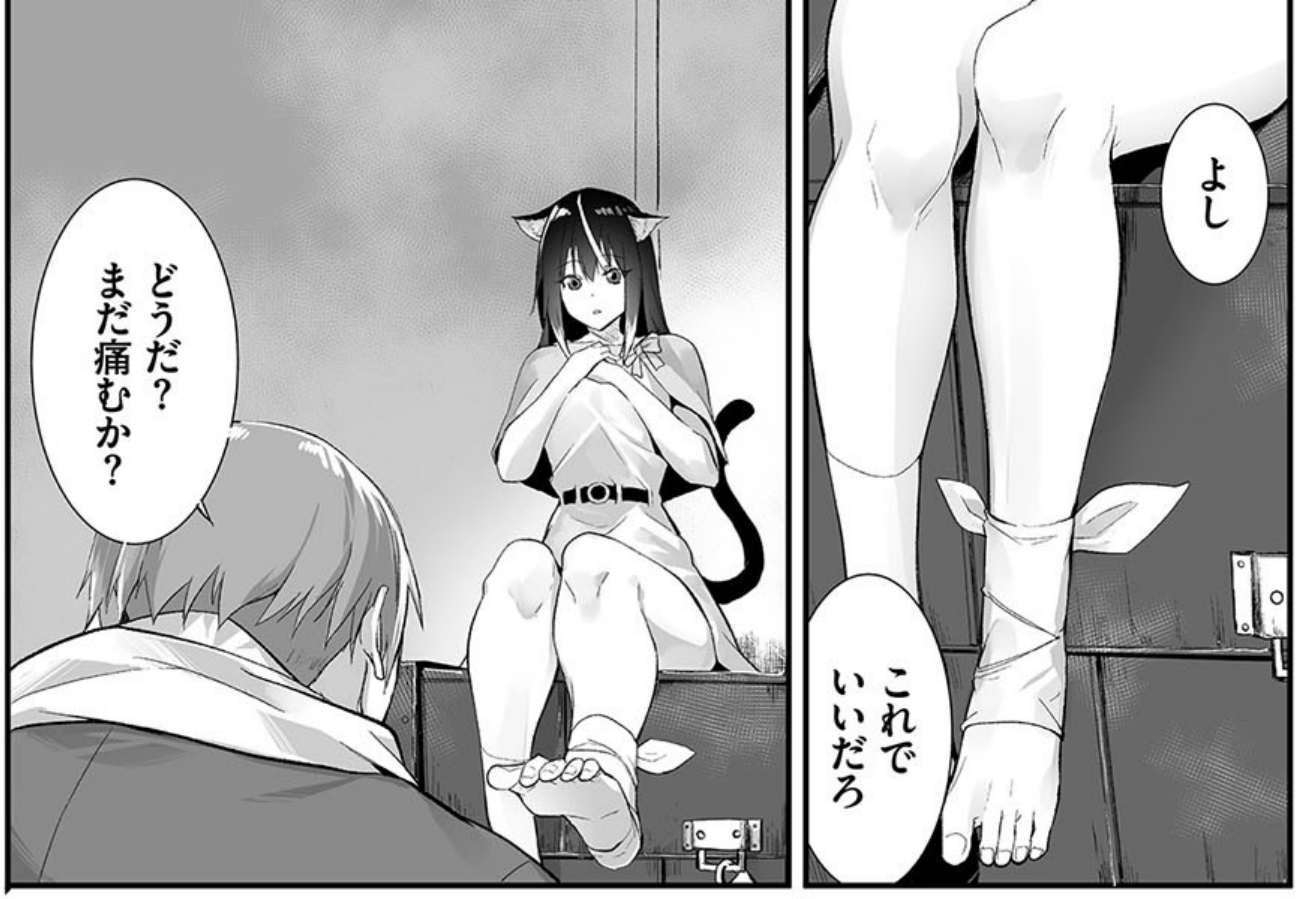







意識し始めると
すべてが見違える
伏し目がちな
碧色の
きれいな瞳に…
黒と青の髪も
目を奪われる
白い肌
幼い体躯も
またそれがいい
っていやいや
いやいやっ！
こんなことばかり
考えてどうする！
まるで
そろそろ
次行こうか？
〝恋する乙女〟だな


ズキッ
!
タッ
!?
!?
がくん
ぺろ
どうした!?
大丈夫か?
ー
じわぁ
靴擦れか

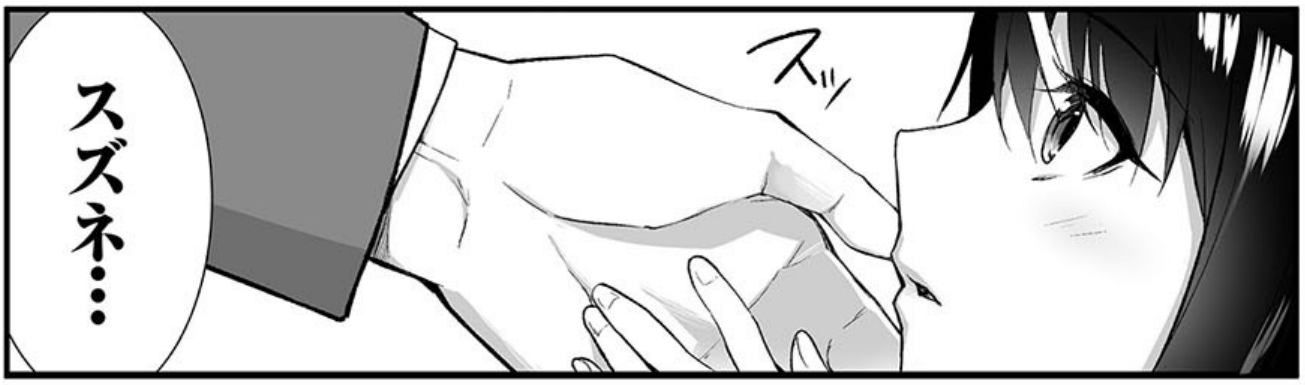

よし
これでいいだろ
どうだ？まだ痛むか？

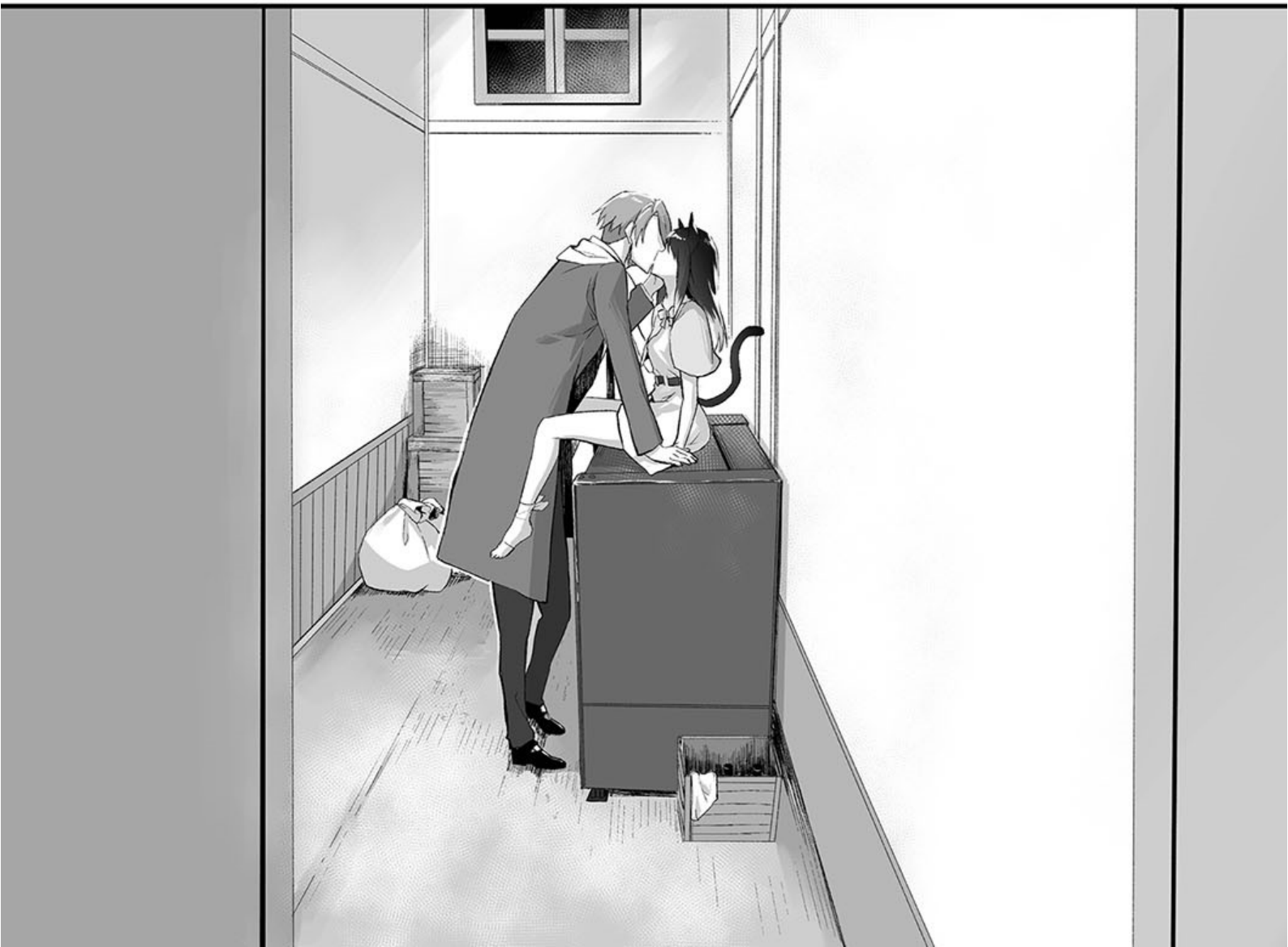

フル
フル
そうか
それならよかった


ソッ

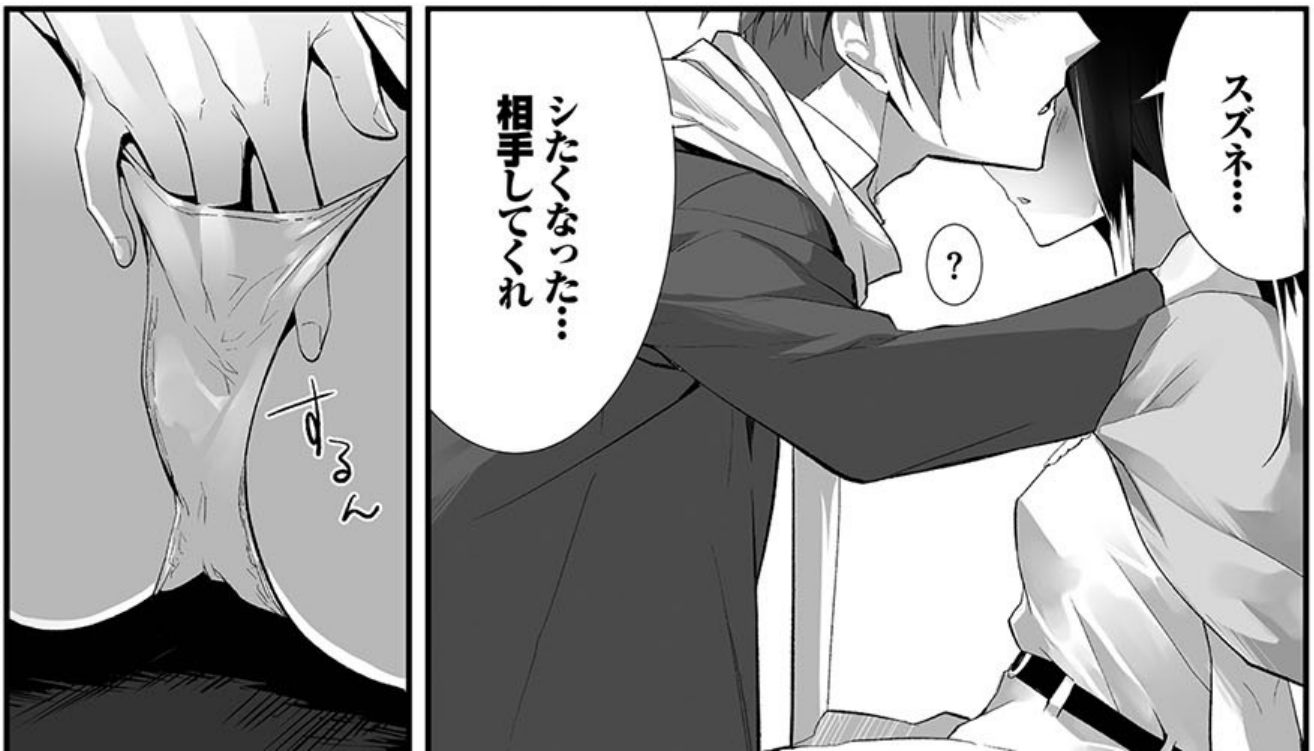

人の流れもないし
ここで少し休んでいくか

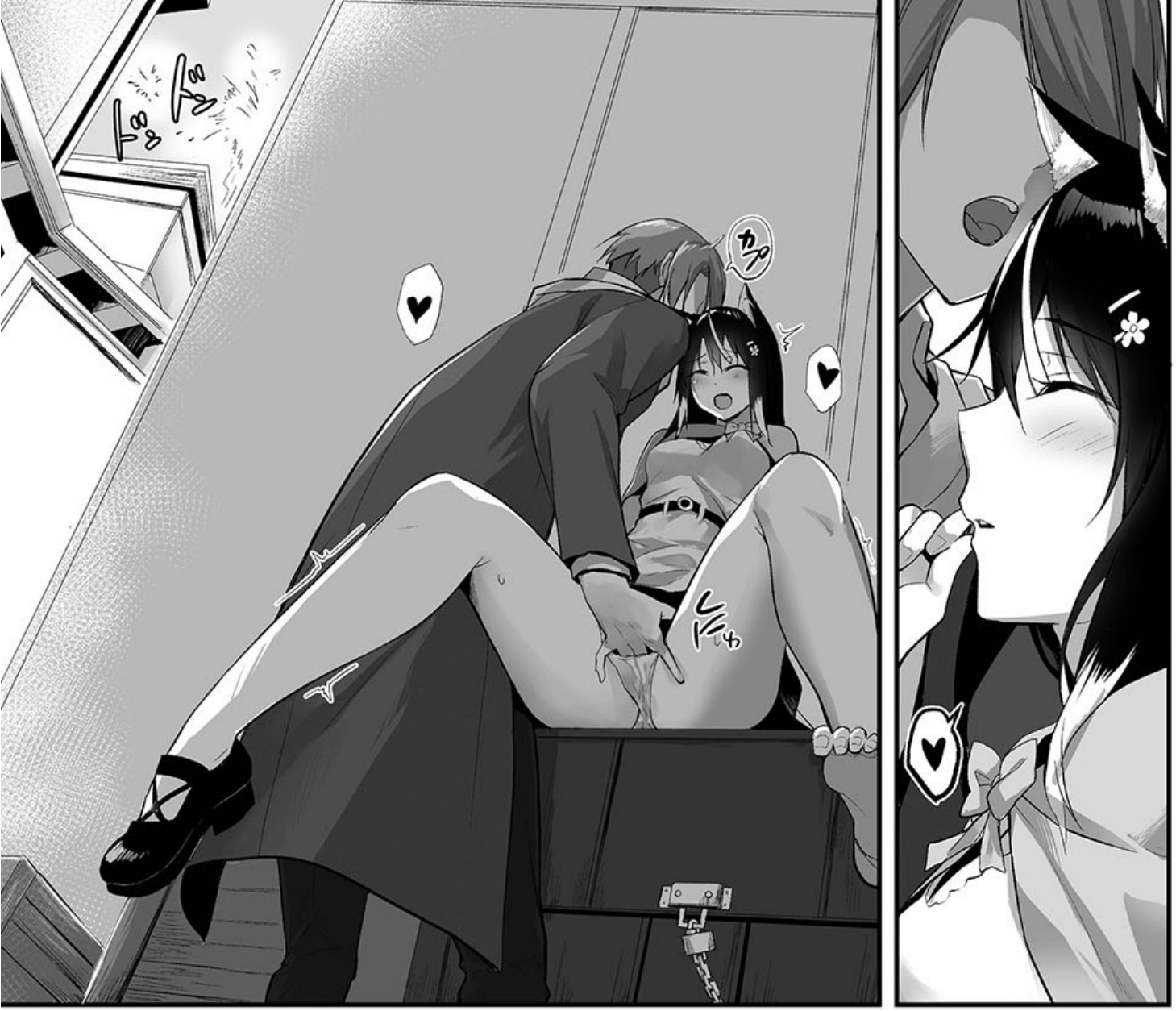

……

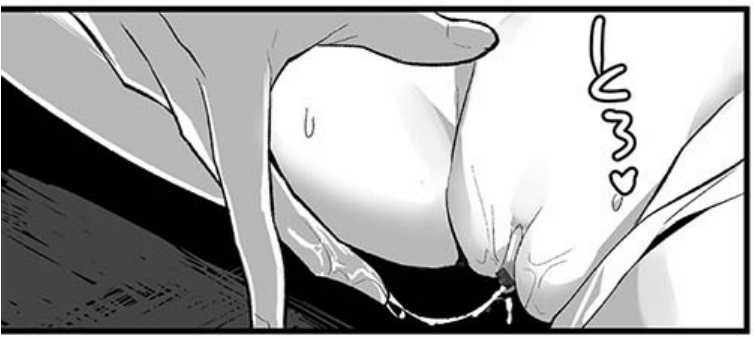

スズネ…

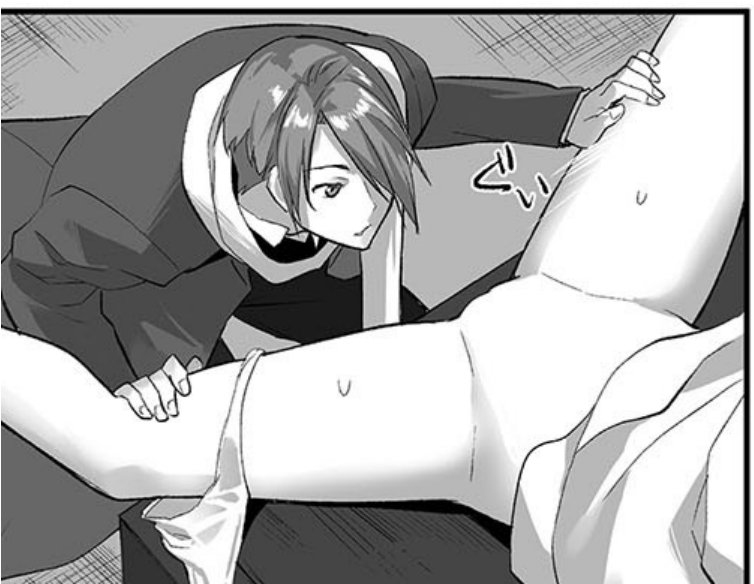



！
ば


スズネ…
？
シたくなった…
相手してくれ
するん


ドドド
カプ
ニチュ

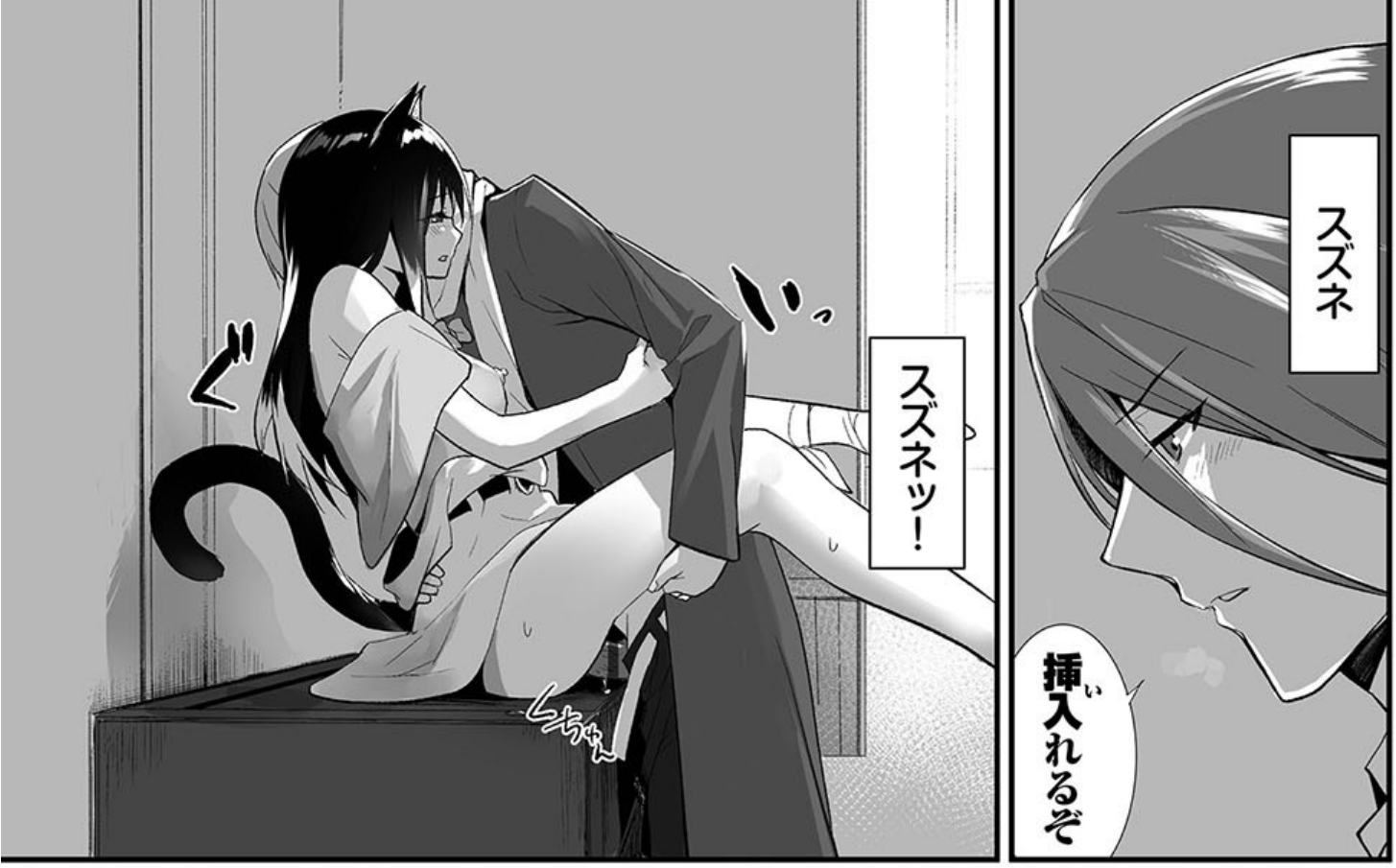

とろ♡


ぐい


ニチュ♡
ニチュ♡
耳はやはり弱いな
急に愛液が
あふれてきたぞ…！


ペロ
ペロ
ペロ
ペロ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
いじる
いじる


はっ
はっ
はっ
とろ


スズネ
挿入れるぞ
スズネッ！
ムちゅ


こんな場所で
こんなこと

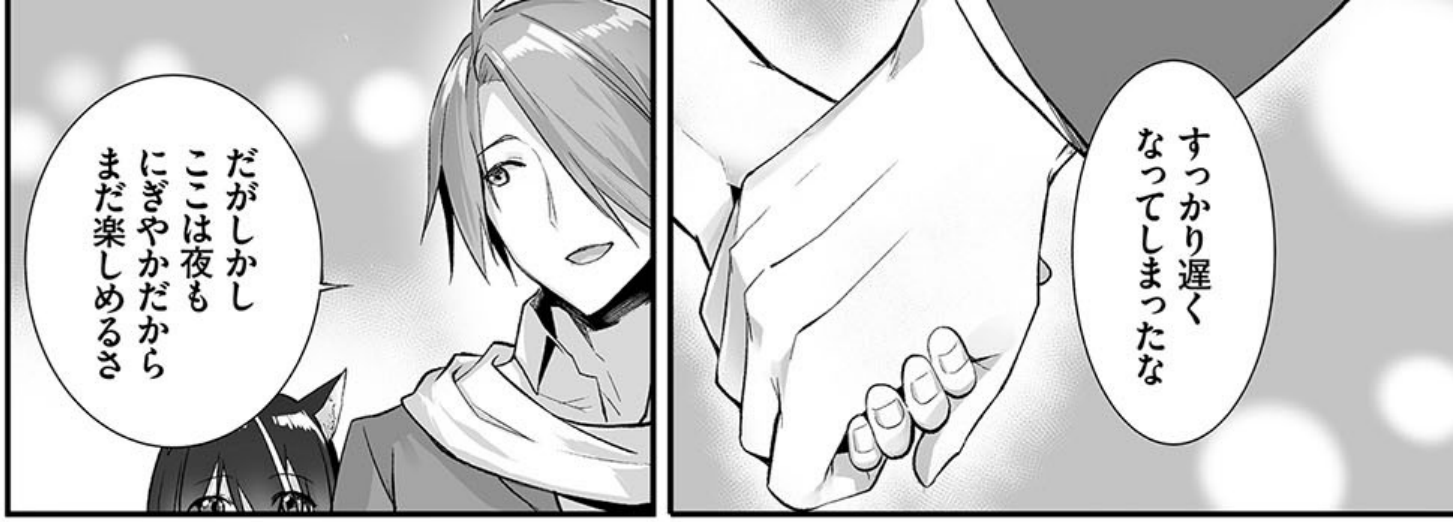

俺は本当に…
どうかしてるっ


分かってるが
止まらない！
自分の
気持ちに…！


スズスッ
ばっ
ガ
気づいてしまえば――っ
ぎゅっ
ぐちゃ
はっ
はっ
はっ
はっ
ズチュ
ズチュ
ズチッ
ズチュ


もっ
てるッ
スッ
ネッ
ビク♥
ビクッ♥
ヒュ
ッ

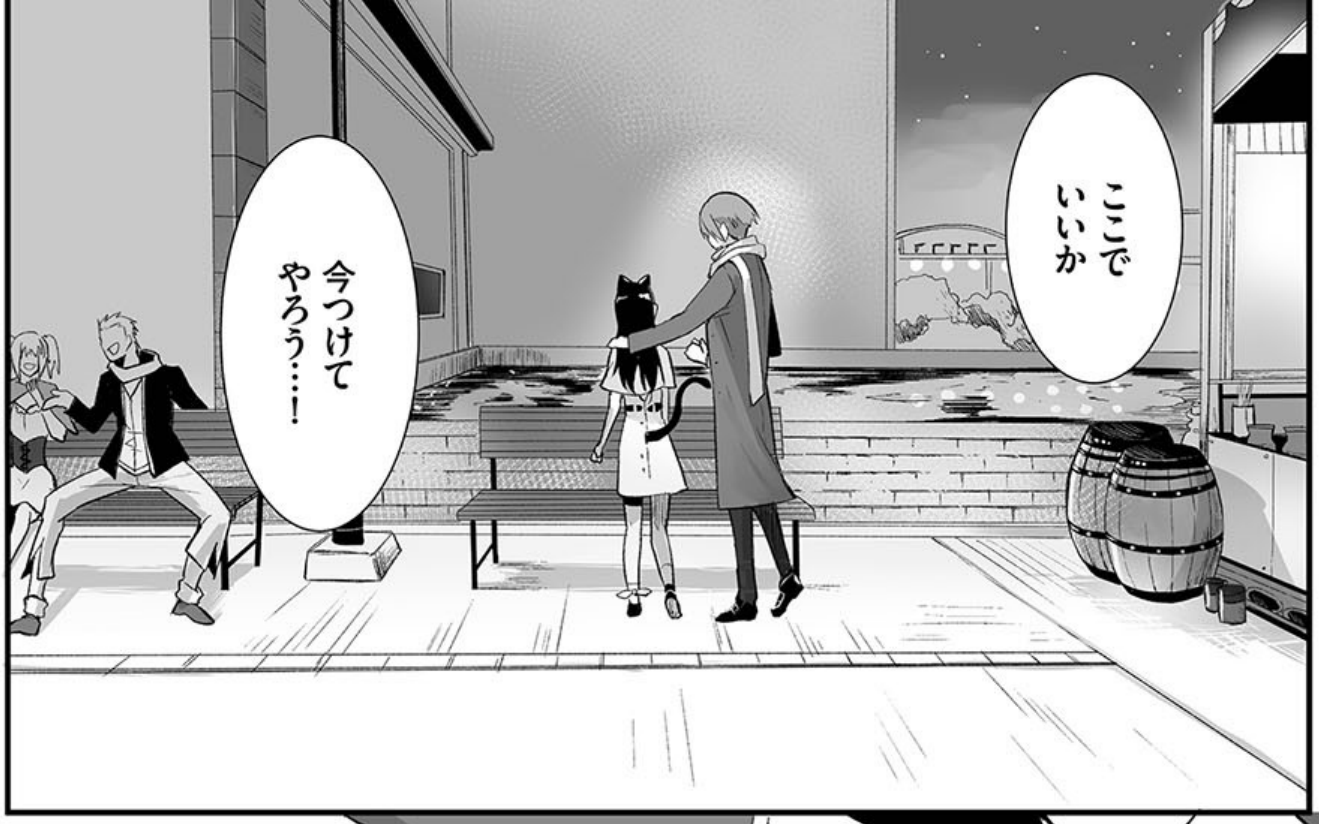

とぷ
とぷ
ドクッ
ドプッ
スズネ…
はぁ
はぁっ
ん
ハッ
ハッ
ハァ
ビッ
ビッ
ズンッ


すっかり遅く
なってしまったな
だがしかし
ここは夜も
にぎやかだから
まだ楽しめるさ


スズネも何か
気になる所が
あれば教えてくれ
いらっしゃい
はーい
見ててー
チリン…
チリン…

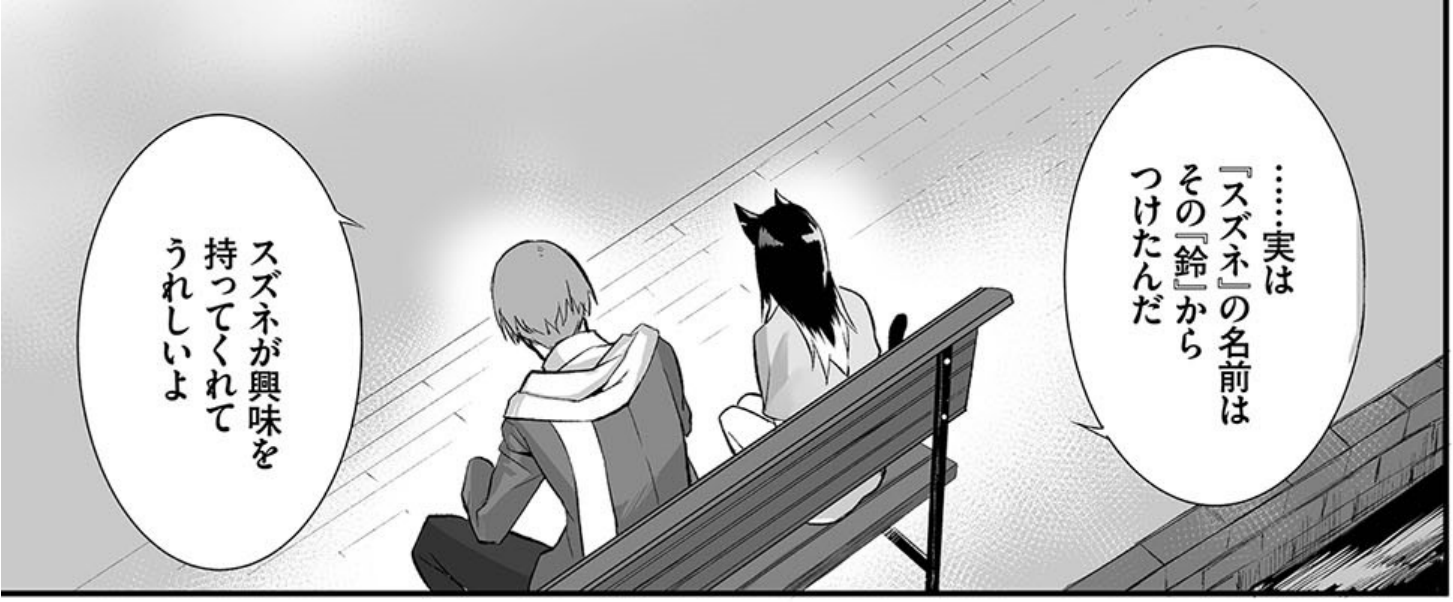

ん？
スズネ？
鈴…か？
それが気に
入ったのか？

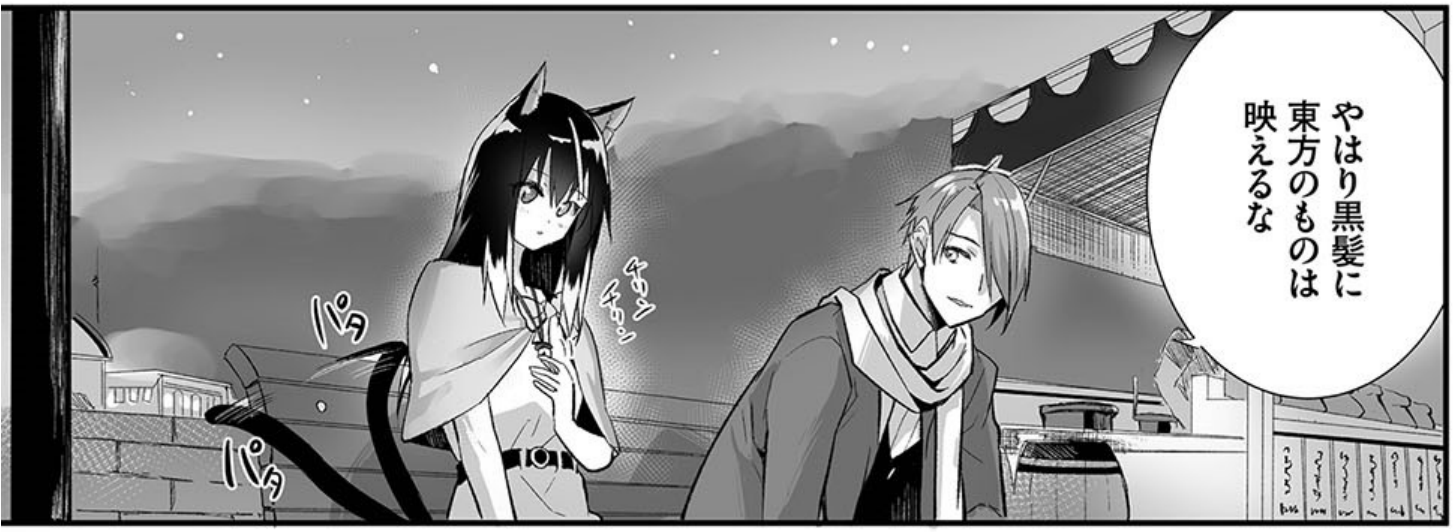

じーっ
…
…
オヤジ
これをもらう
あいよ
お包み
しますかい？
いや
そのままで
チャリン
まいどー
そうそう
『鈴』には魔除けや
運命を導く力が
あると
言われております
大切にして
やってくだされ
分かった
ありがとう


ここでいいか
今つけてやろう…！


ﾌﾟｲ

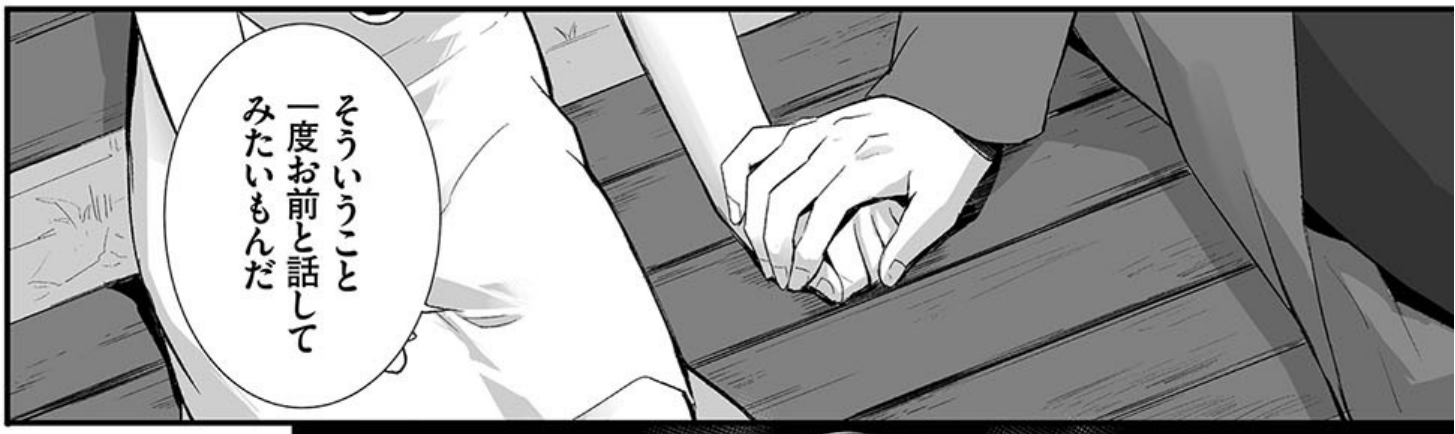

できたぞ
チリン


……実は
『スズネ』の名前は
その『鈴』から
つけたんだ
スズネが興味を
持ってくれて
うれしいよ

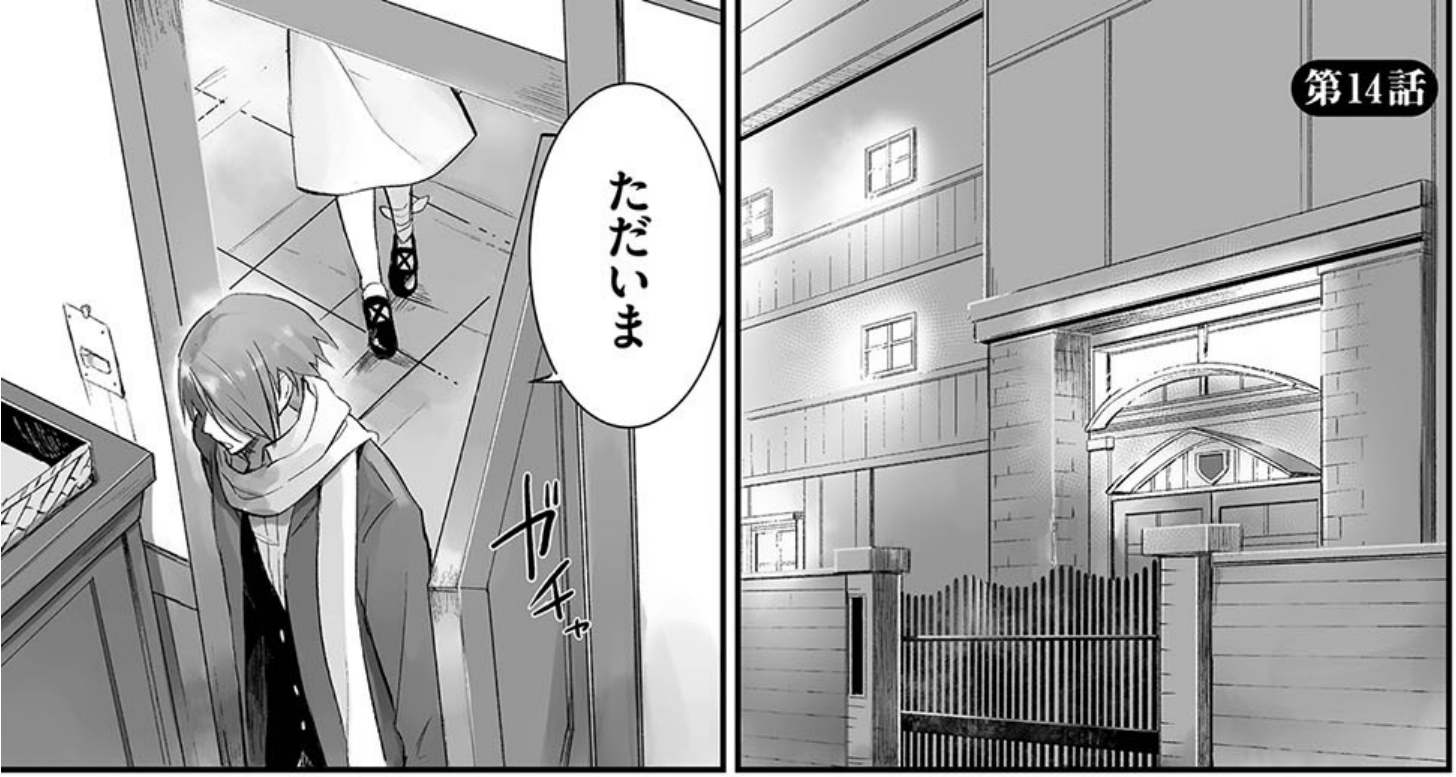

やはり黒髪に
東方のものは
映えるな
チョン
チョン
パタ
パタ


とても
似合っているよ
ピク
チリン


スズネは東方にゆかりがあるんだろう…
黒髪は東方特有と聞く…
おそらく東方の〝ホムンクルス〟とのハーフなのだろうな

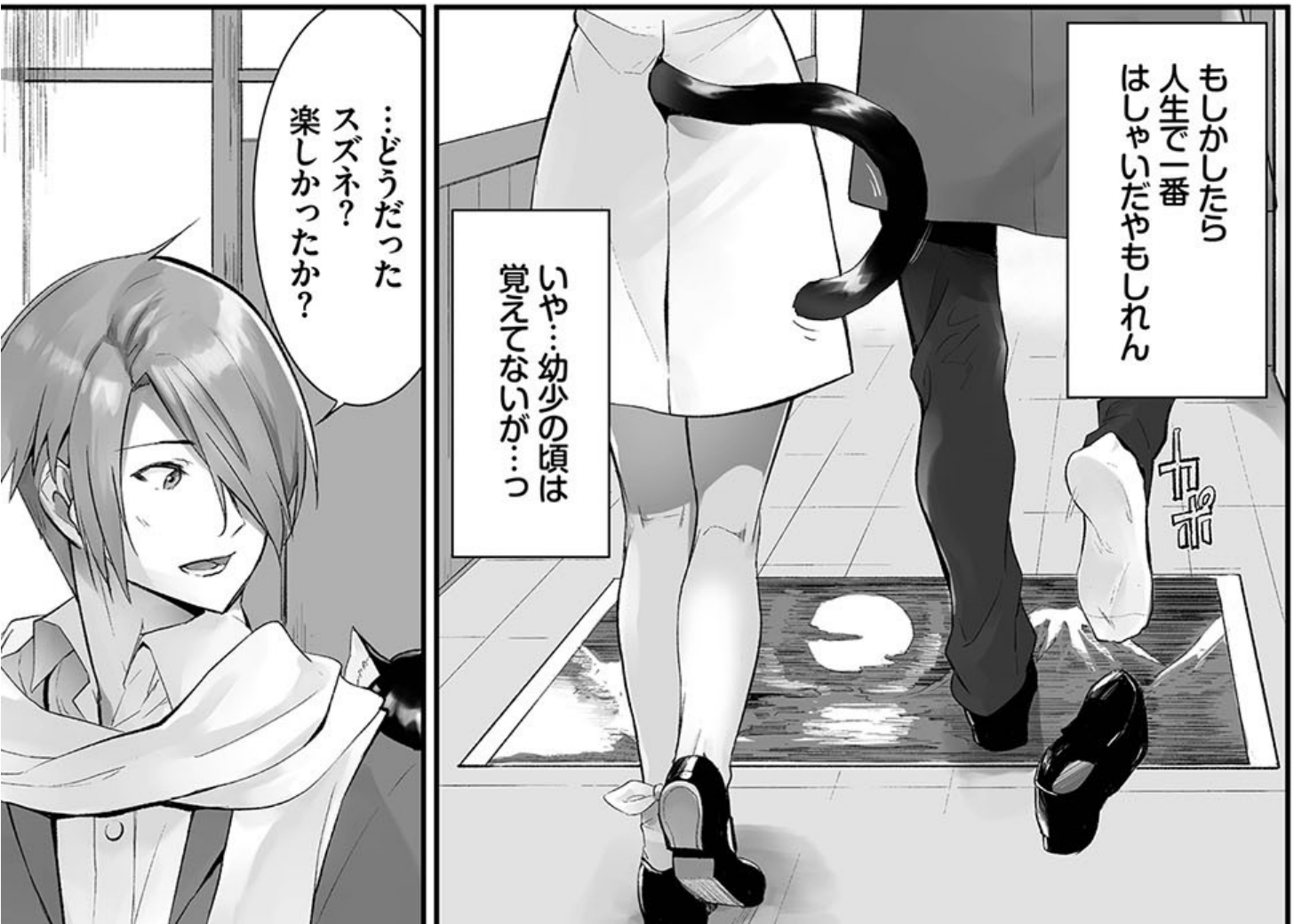

そういうこと一度お前と話してみたいもんだ


◇to be continued...◆


第14話

ただいま
ガチャ


いや！…
フッ
めっちゃ
はしゃいだな～


もしかしたら
人生で一番
はしゃいだやもしれん
いや…幼少の頃は
覚えてないが…っ
…どうだった
スズネ？
楽しかったか？


!?
はっ
はっ
じわぁ


〝淫紋〟が…？
はっ
どっ
どうした？
もじ
もじ
じゅわ
腹減ったのか？
夕食食べ——


しぱぁ
!?
っうおっ！
がばっ
スズネッ？
ちょっと
落ち着けっ
分かったっ
ちょっと待て！
まずはいろいろ
準備してから――


ッ！
カチャ
カチャ
待てっ！
さっきシたまま
だから汚いぞ！
はっ
聞く耳
ナシかっ！
はっ
カチャ
ボロ
しかしどうして
急にこんな…？
最近は〝淫紋〟が
発動することも
なかったのに…


……
なんか――
必死だな――
さっきシたばかりなのに
ぬるっ
すごい音立てて――
根元まで咥えてる――
ジュッ
グボッ
グボッ
ジュッ


つくぁもうっ！
じゅぷ
じゅる
!?
じゅる
レロレロ
ぎゅる
ゴプ
ブポ
はーっ
ポッ
はーっ


はっ
はぁ
ゴン
コッ
コッ
はっ
す…少しは
落ち着いたか？
はぁ
フー♥
フー♥
プロ
――ダメかぁ
まぁ俺もまだ
イケそうでは
あるんだがな！
はっ♥
はっ♥
ビクン
ビクン
のし


まだ
玄関先だっ！
隣人にバレると
まずいんだ！
スズネ――
まっ待ってっ
せめて
もう少し奥に
――っ！
くちゅ
って
力強っ!!
ッ！


はっ♥
ふる
はっ♥
ふる
あぁ――
…くそっ
これが
惚れた弱み
ってやつか…
こうなったら
今日は
とことんやって
やる――っ!!


気持ちいいか？
ならもっとよくしてやる！


ツ♥
ブチュ
ズチュ
ぴぱっ
ズチュ
ちゅっ
もにゅ
はっ♥
ツ♥
ごっ
ごっ
ズチュ
ズチュ
パチュ
パチュ


ビッ
くぅぅ♥♥
もうでる!!
どん
どん
ビュ
ビュ
ビュ
ビュ
はぁ
はぁっ
……
ベッド…行くか？


はっ♥
はっ♥
はっ♥
ギッ
ギ
ぐぷ
ぐちゅ
さっき射精(だ)したのがあふれてきたな
またすぐ注いでやるからな！

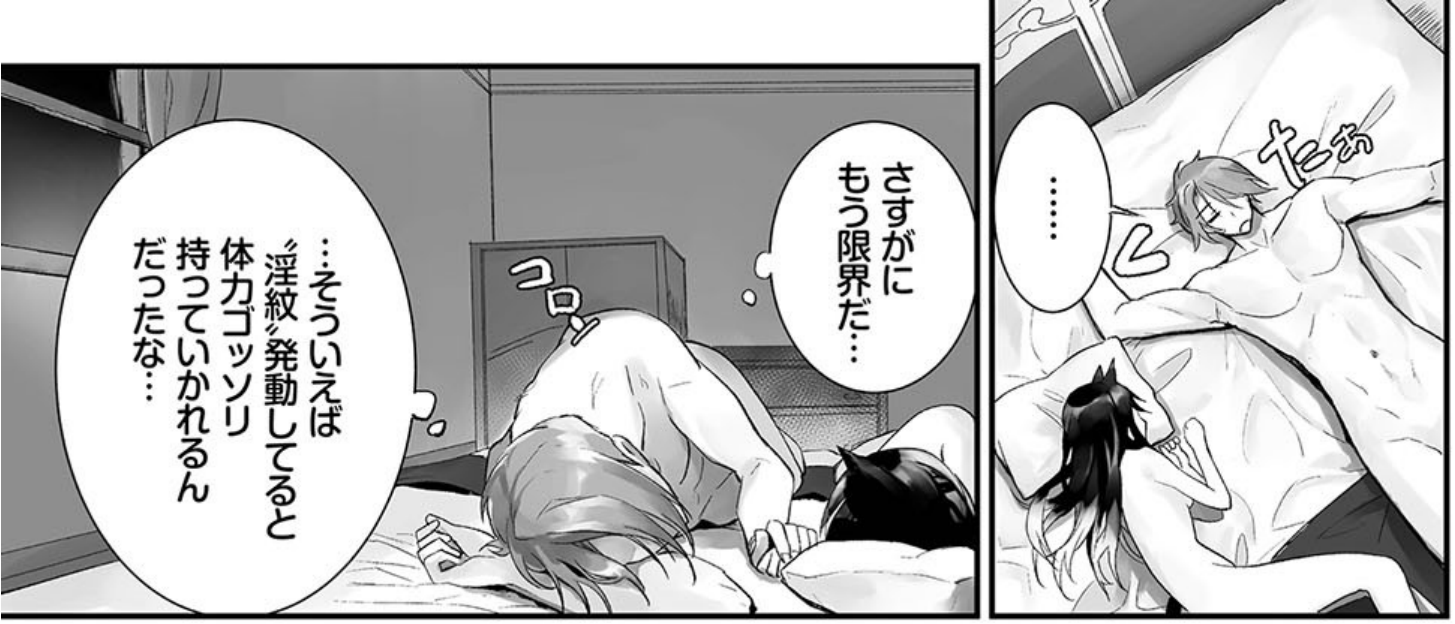

ぺろ
ゼッ
ゼッ
ゼッ
ハッ
パンパンパンパンパンパン
キュッ
!?


ピシャ
あっと
ドクン
きゅん
はっ
必死にせがんで
…まるで
子供だな…っ


パ
ン
ッ
ッ
ッ


くっ…
これじゃまた
すぐに――っ！
ぱんっ
ずっちゅ
ずちゅ
ぱんっ
ぱんっ
はぁっ
はぁっ
はっ
はっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ビュッ
ビュッ
ビュッ
……


……
さすがにもう限界だ…
コロン
…そういえば〝淫紋〟発動してると体力ゴッソリ持っていかれるんだったな…


最初の頃は何も分からず右往左往してたな…
まぁまだまだスズネ(ホムンクルス)について分からないことも多いが…
――だが今はこんなにも〝俺の生活の一部〟になっている


……しかし俺がここまで入れ込むようになるとは…
……さぁ
明日は…
すぅ…
すぅ…
しばし
そう…だな……
えっ…と
……
スゥ



その日の夜
スズネは再び
俺の元から
姿を消した――



◆to be continued...◆

第15話

あれから
1週間が経つ

スズネはまだ
見つかっていない

はっ

二人で行った
場所は
もちろん…

〝奴隷〟が
行ける場所も
探した

はっ

せっかく買った
靴もはかず
出ていくほど…



そんなに
俺のそばは
負担だったのか？

それとも
俺の知らない
事情があったん
だろうか――

はあっ

そんなことばかり
頭を巡る…

はあっ

――スズネ

はあっ

はあっ


どこで何を
しているー


……




…


ズル


ペタ


…


！
パアアア
ぽっ
トロ
ヘ
じゅわ
ガリ


!!
はっ
はっ
はぁっ
フッ
フゥン
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ッ
ッ
くちゅん


「スズネーーー」
ーー…
はぁ
はぁ
ぬいぃ
ーーッ
クリゅ
ビク
ビュッ
ビクッ
ッ！
ビクッ
はっ
ビュー


『スズネー』
はっ
「よく濡れてるな」
フッ
ト。
「指入れるぞ」
フッ
ぷちゃ
ーーッ
はぁ
はぁ
くちゃ
ぢゅ
ぢゅ
くちゃ
ビクッ
ーーッ
くちゃん


ッ
ぐちゅ
ぐちゅっ
はぁ
くちゅっ
ッ
はぁっ
ッ
ギュッ
くちゅ
くちゅ
じゅぷ
ぐちゅ
くちゅ
ぐちゅっ
は
くちゅ
くちゅ


はっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
じゅぽっ
ぽっ
ぽっ
ビク
はっ
はっ
ぐちゅ
ぐちゅ
はーっ
トロー
はーっ
はっ
ぽたっ
ぽたっ
ッ!!
ズッ!
にゅぷっ
ビクッ
パタッ
ッ!
ビクッ
パタッ


はぁ
はぁ
…
れる
はぷ
フーッ
フーッ
じゅる


はっ
ぐちゅ
はっ
ぐちゅ
はっ
ぐちゅ
ぬぷぷ
アッ
アッ
はぁ
ボンッ
ぐぷっ
はぁっ
はっ
はっ
じゅぷっ
じゅぷっ
じゅぷっ


ーッ
ぷは
はっ
ぐちゅ
じゅぼっ
きゅっ
ーッ
ぐちゅ
じゅぼっ
じゅぼ
ーッ
ーッ!!
じゅぽっ
じゅぼっ
ぐちゅっ
ーッ
ーッ!
じゅぼっ
ぐちゅっ
じゅぽっ
じゅぽっ


はっ
はっ
はっ
ぐっ
ぐっ
じゃぐじゃぐ
じゃぐっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぐっ
ぐっ
ぐ


ガク
ガク
は
ピシャ
っは
パシャ
ビクッ
ビクッ
ガク
パシャ
パシャ
ガク
……
はぁ…
はぁ
ふっ…
ウウ

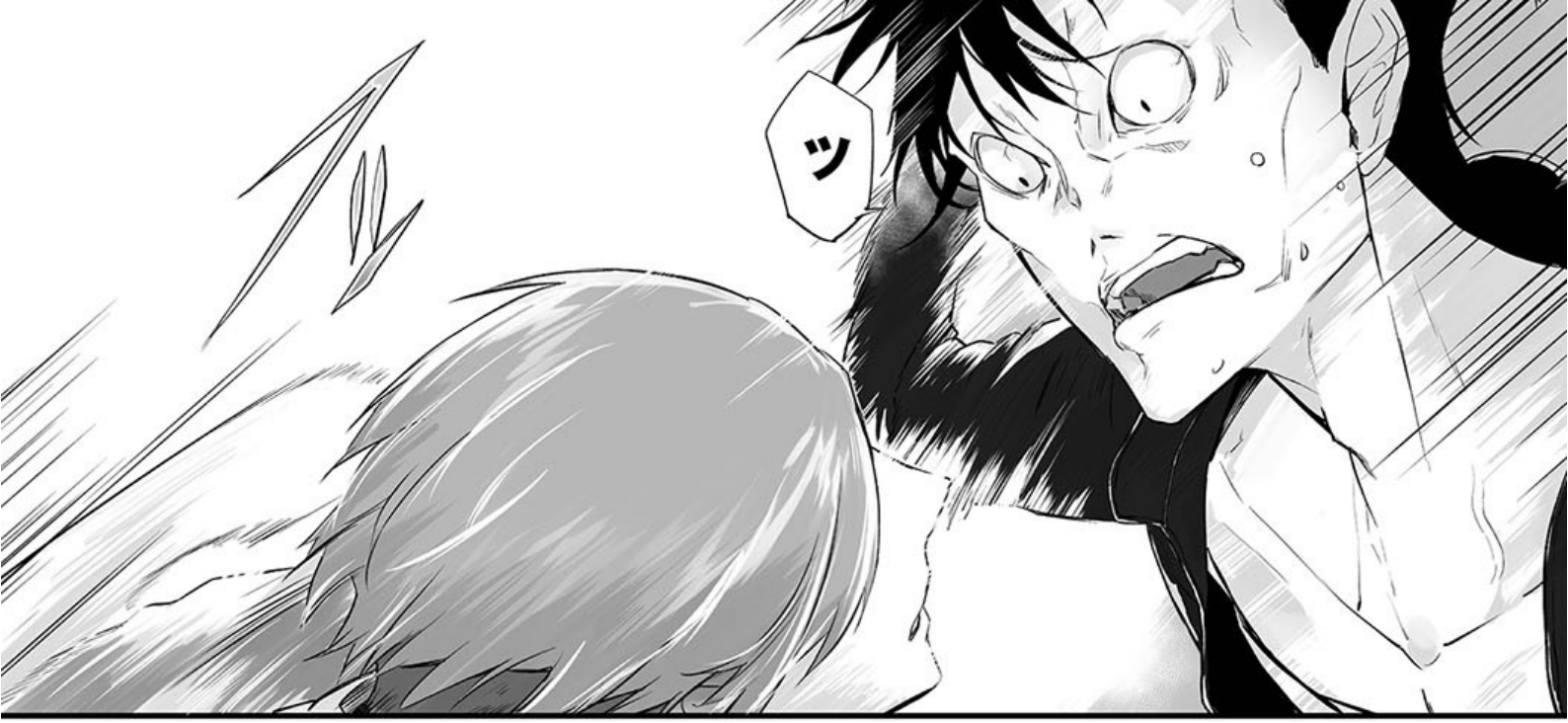

スル…
きゃっ
ぱたー
ぎゅっ
ぐにゅ
…！


ズル…
はぁ
はぁ
ズル
ズル
……
思いつく限りの場所は探した…
思い入れのありそうな場所はもちろん
〝ホムンクルス〟が隠れられそうな場所もくまなく――


そう――
くまなくだ
!?
ンだ
てめぇ!?


黒髪の〝奴隷〟を
見なかったか？
てめぇ！
どうしてここが
分かった！
チャキ
てめぇの
探しモンなんざ
ここにはねぇ！

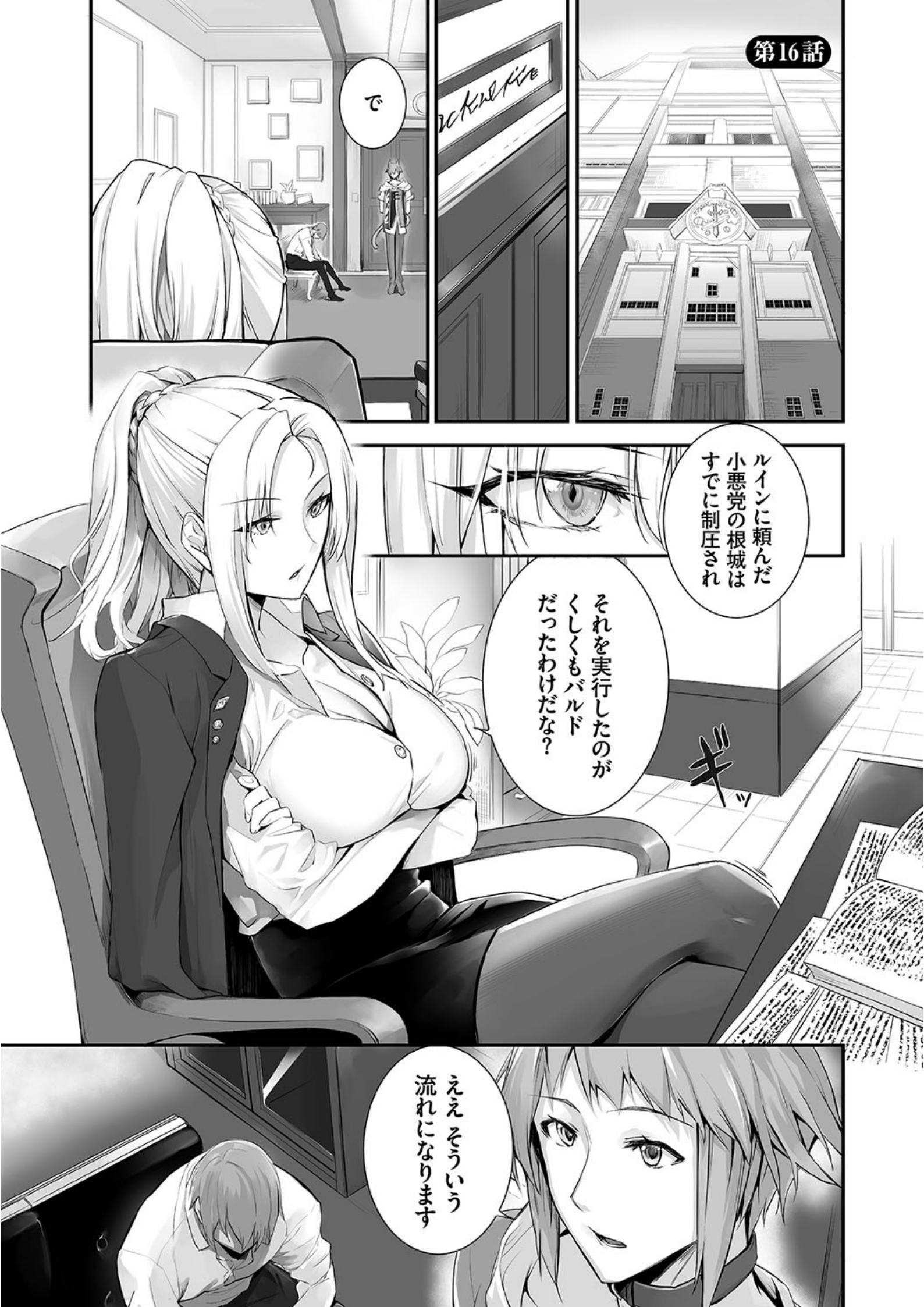

ここを知られたからにゃあただじゃおけねぇ！
!?
ヒュン
ビッ
ズザッ
ニシッ
!?
てめぇ！


ッ

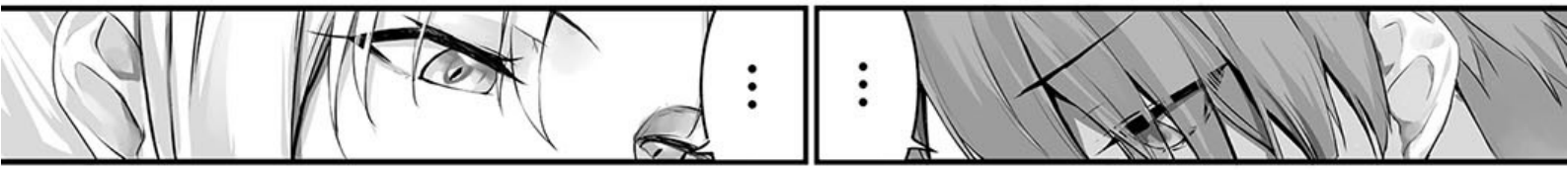

!?


助けて
あっあの…
ここから出していただけませんか…？
ヤシャン
ヤラカラ


助けて…
お願いします…っ
いない…か
クル
待ってっ
ガシャッ
あっ待ってくださいっ
ガシャッ
お願いします！出してくださいっ
助けてあげないのですか？
あなたなら
見過ごすことなどないと思っていたのですが――？
to be continued...


第16話
で
ルインに頼んだ
小悪党の根城は
すでに制圧され
それを実行したのが
くしくもバルド
だったわけだな？
ギッ
ええ そういう
流れになります


まぁ
ともあれだ
おかげで
スムーズに事が
進めたが
…なぜそんな所に
君がいた？
一応事情は
聞かねばならない
話せ
バルド・クライアン


…
…

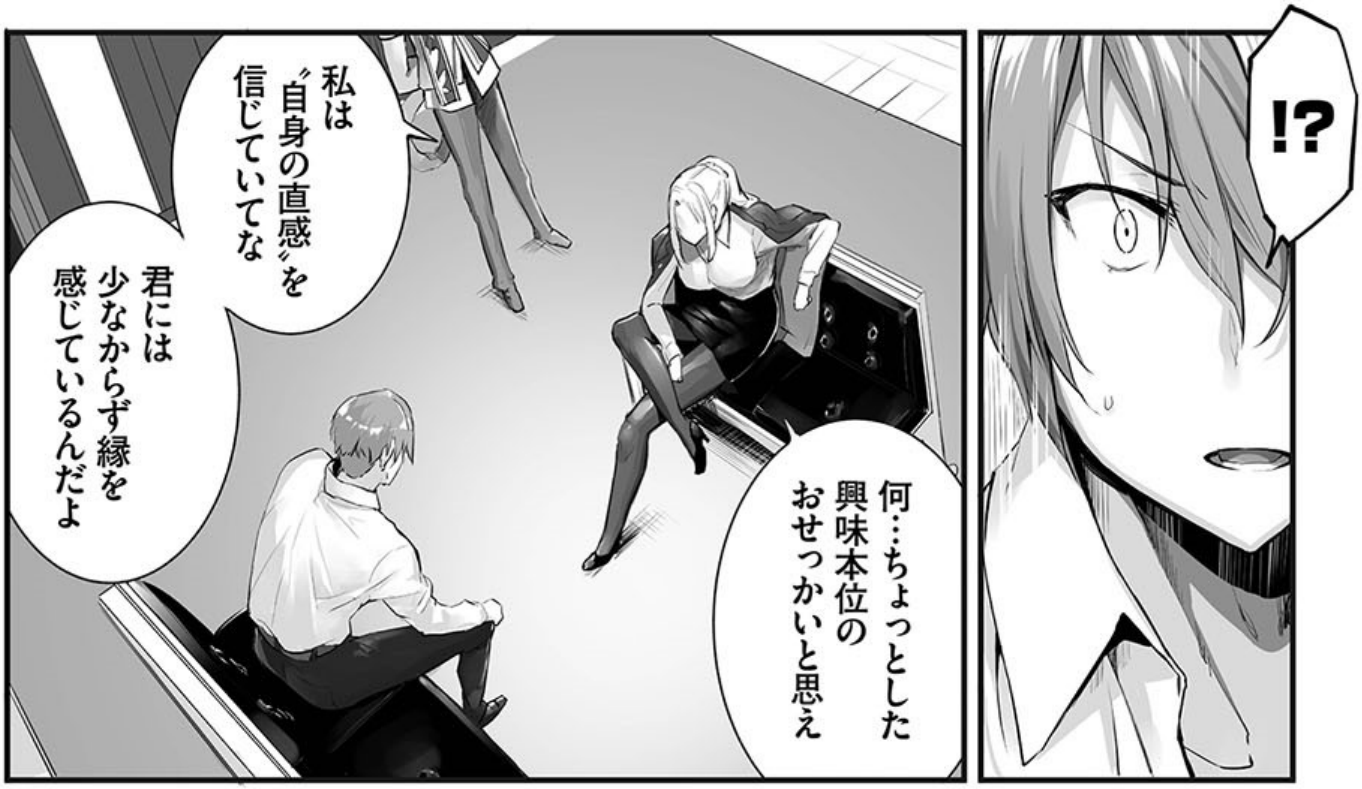

……
スズネが…
いなくなった
…


――なるほど？
自分の〝奴隷〟が
いなくなり
なりふりかまわず
手当たり次第に
捜し回っていたと
いうわけだな…


あぁ…
そのとおりだ
ふっ…
そうかそうか
何をしたんだ？
〝奴隷〟が
逃げるなんて
よっぽどだぞっ

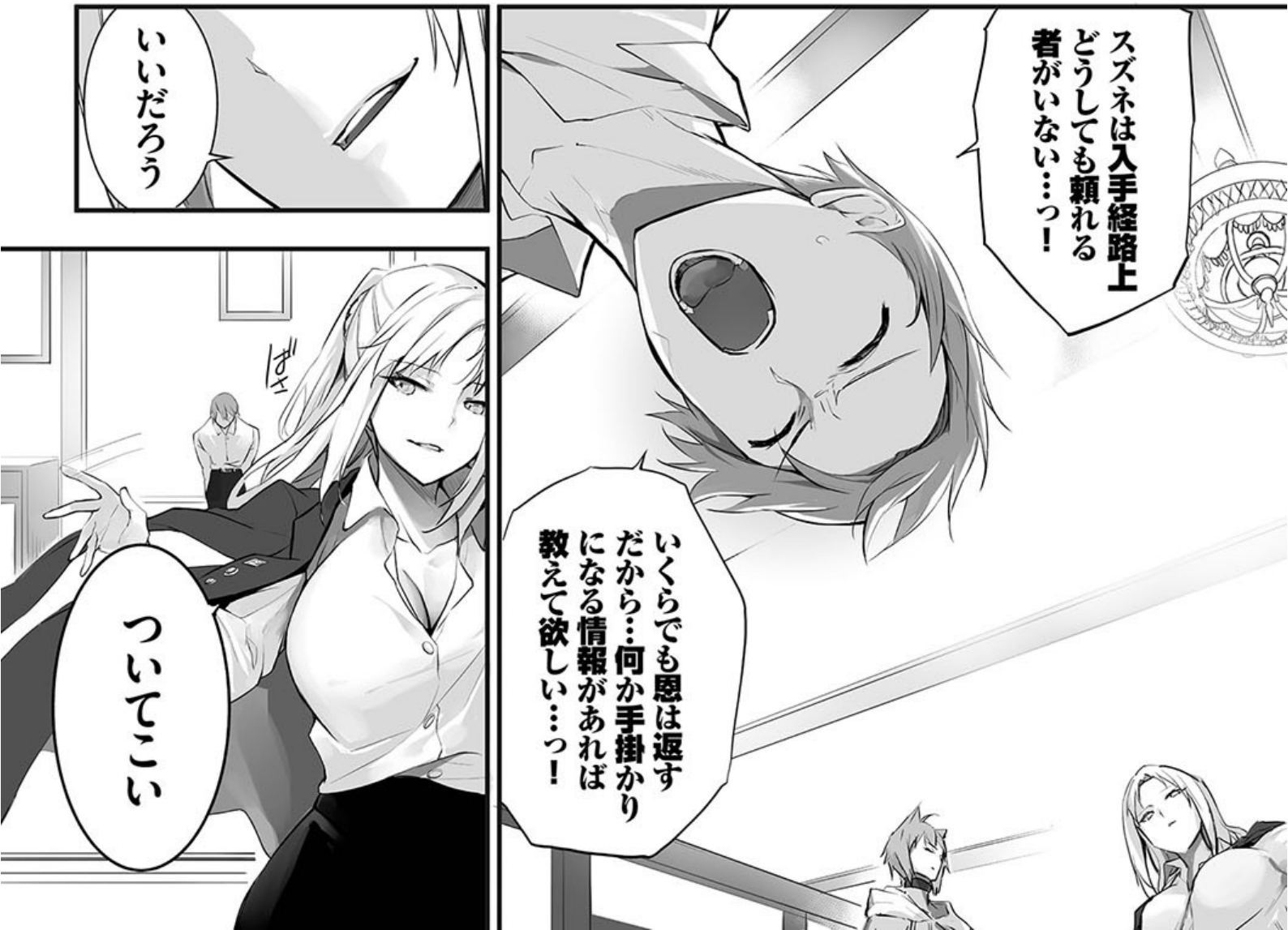

……
それも
分からない
っ――
ははははっ！
こいつは
笑い種だな！
…
何か掴んだような
顔して去ったかと
思えばこの有様とはっ！
…


くくっ
手を貸してやろうか？


!?
何…ちょっとした興味本位のおせっかいと思え
私は〝自身の直感〟を信じていてな
君には少なからず縁を感じているんだよ


もちろん君は私の恩を重ね着することになるが
悪い話じゃないと思うがどうだ？

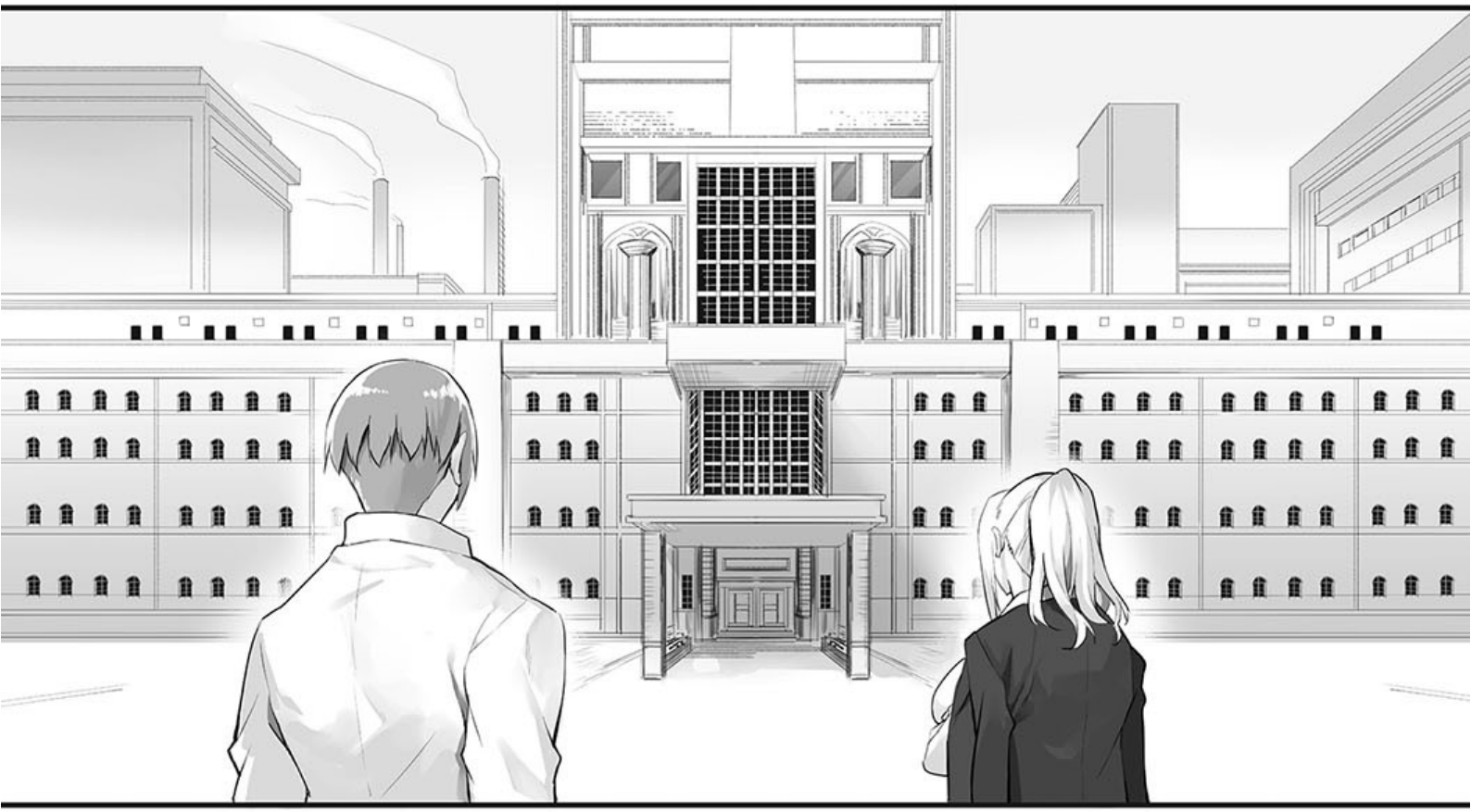

ば
頼むっ!!
手を貸してくれっ!!
?
ガタッ
キッ


スズネは入手経路上どうしても頼れる者がいない…っ!
いくらでも恩は返すだから…何か手掛かりになる情報があれば教えて欲しい…っ!
いいだろう
ぱっ
ついてこい

『ノア製薬』

〝奴隷〟に関係する薬品や日常品を主に取り扱う会社

その市場は80%を占め知らない者はいない程だ…



ノア製薬…こんなところにスズネの手掛かりがあるのか…？

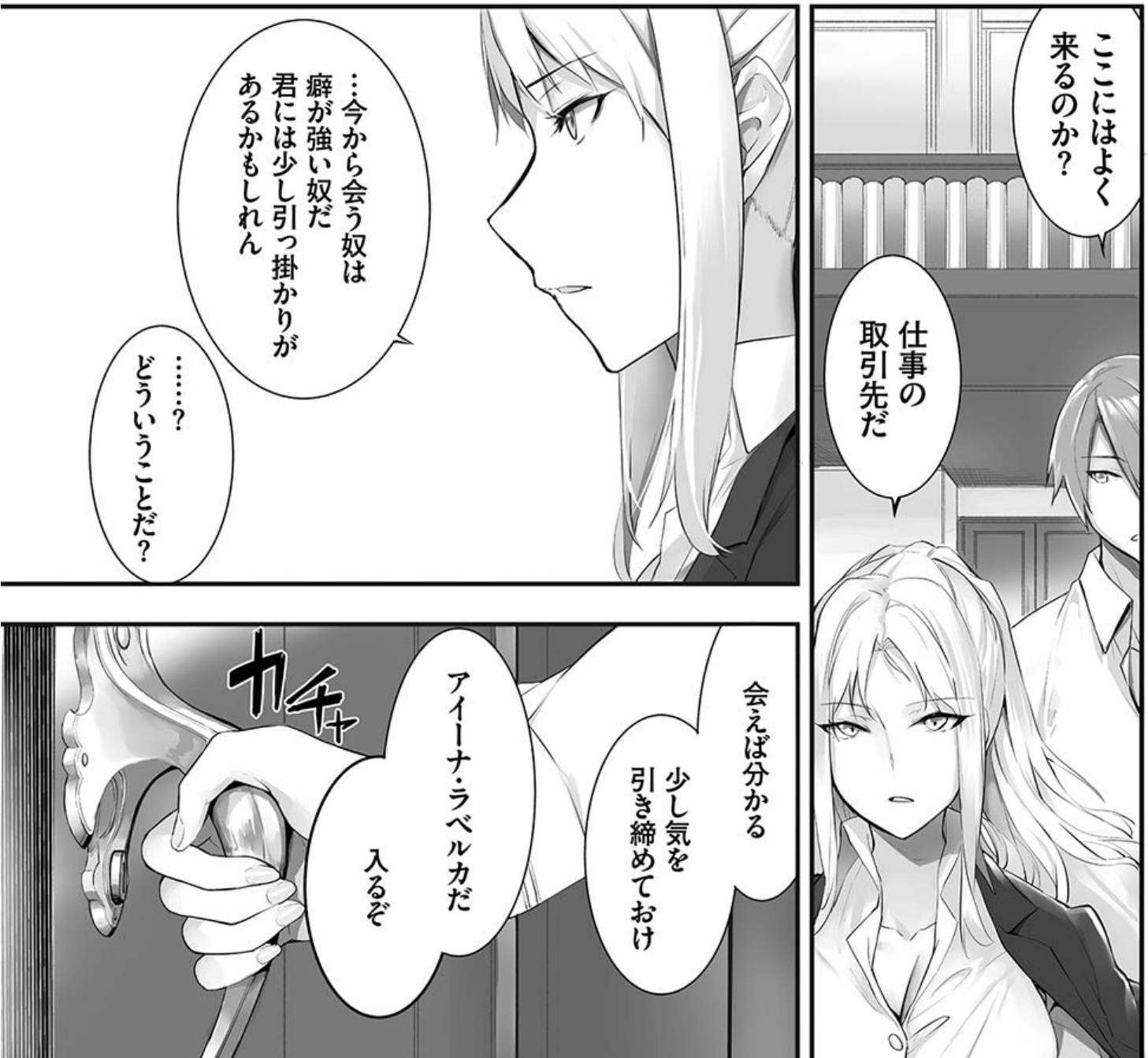
あぁおそらくな

少し気に入らん奴ではあるが

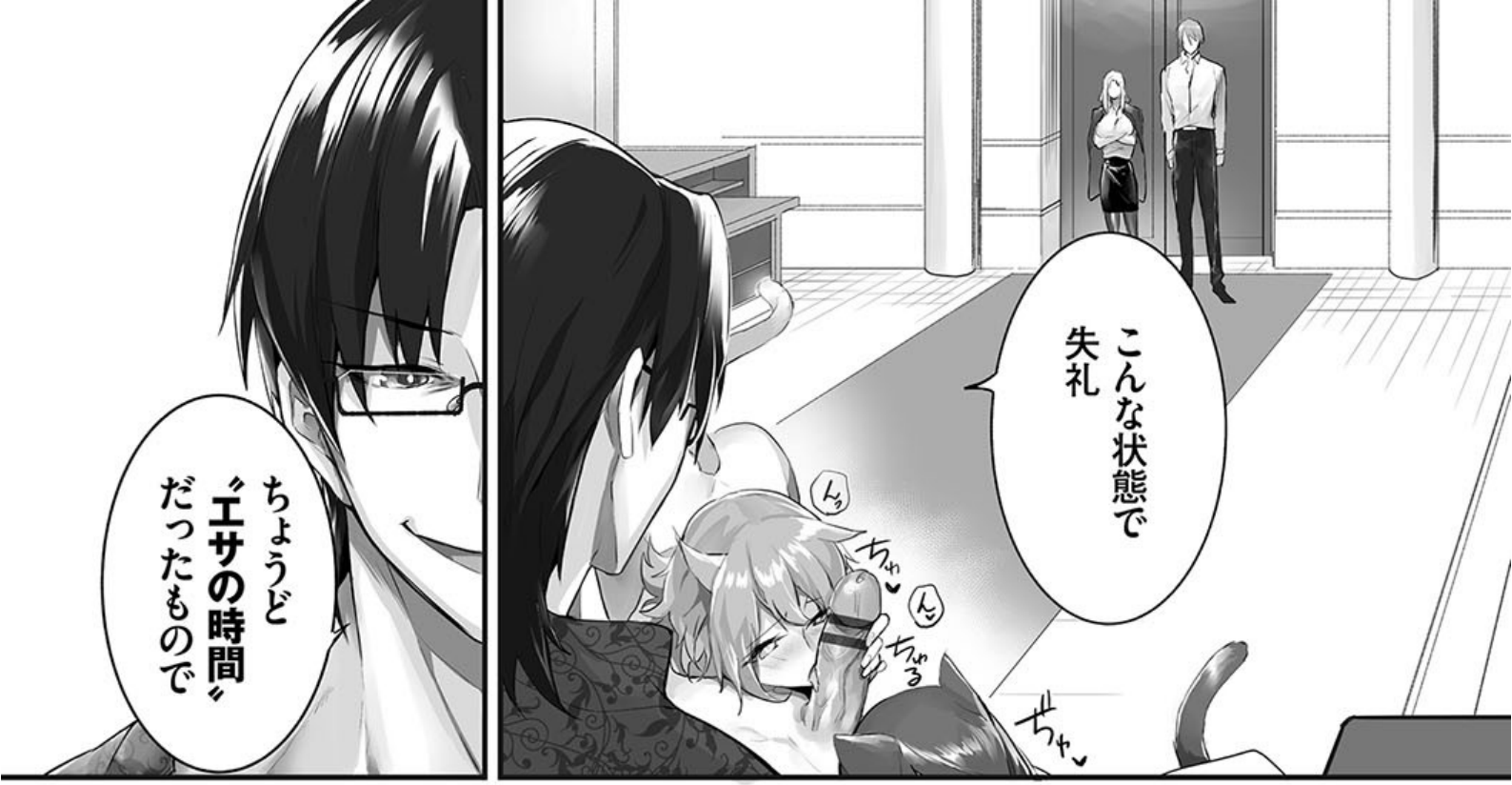
何もないよりはいいだろう

？

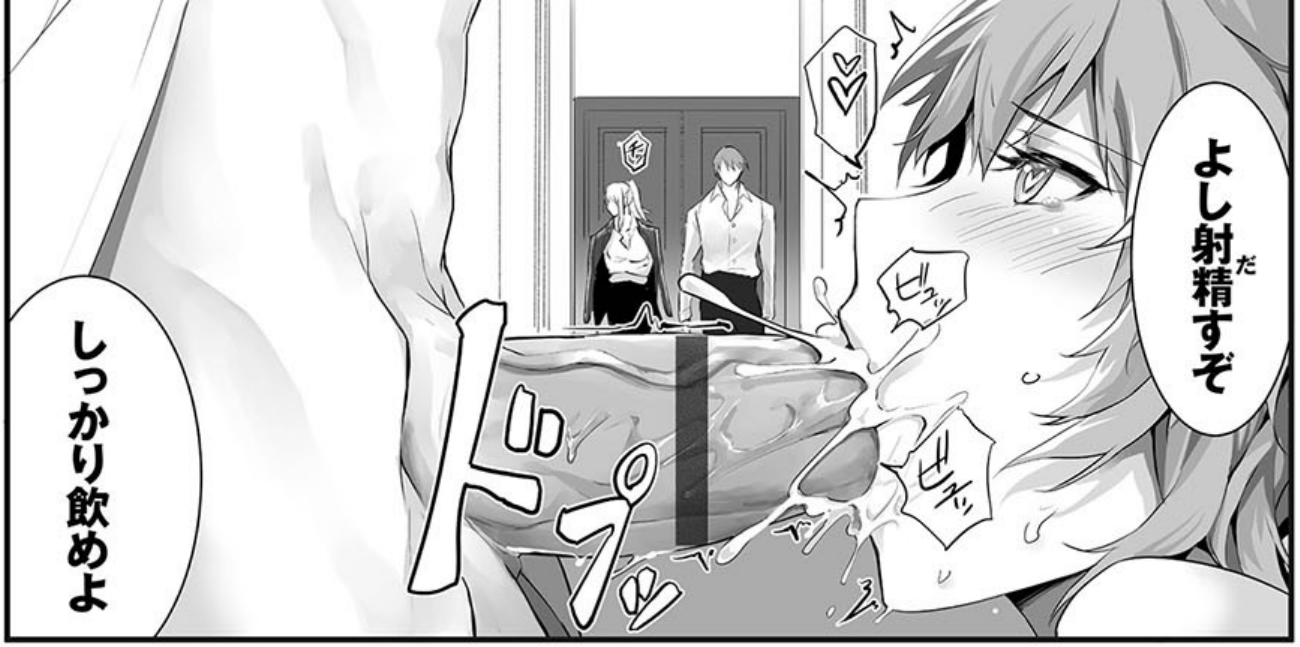

ラベルカ商会のアイーナと付き人だ
社長に用事がある
これはアイーナ様
来訪予定は伺っております
社長は自室におられます
ごゆっくりどうぞ


ここにはよく来るのか？
仕事の取引先だ
…今から会う奴は癖が強い奴だ君には少し引っ掛かりがあるかもしれん
……？どういうことだ？
会えば分かる
少し気を引き締めておけ
アイーナ・ラベルカだ入るぞ
カチャ


おや
あぁこれはアイーナ
もう着いたんですか？


こんな状態で失礼
ちょうど〝エサの時間〟だったもので


少々お時間
頂戴しますね
私が来るのを知っていてヤッてんだろ
外で待っている！
いやいやいや見てってください
コレら皆見られてると興奮するので結果的に早く終わるんですよ


よし射精すぞ
しっかり飲めよ
ドプッ


終わったらどけ
おいっ次さっさとケツ向けろ
客が来てるんだ
あまり待たせるなよ？
ちんたらやって
分かるよな？
僕に迷惑かけると…
あっ～♥


前任の奴らみたいになりたくないだろ？
分かったらほらしっかり腰を振れ
はっはいっ
おおせのっ
ままにっ♡
こいつも…
あっあんっあ
きもちいいですかご主人様
はっ
はっ
はっ
〝奴隷〟をモノ扱いするのか…っ！


一度
分からせて――
優先順位を
間違うなよ
気に食わんのは
分かるが
スズネの居場所の
手掛かりだ
面倒なことだが
今は下手に
出るしかない
それに…
はっ♡
はっ♡
はっ♡
あっ♡
あっ♡
ふる


はっ♥
はっ♥
はっ♥
はっ♥
ぱん
ぱん
ぐちゃ
とろ


君は今
盲目になっているが
あれが奴隷本来の姿だ
はっ♥
はっ♥
――ッ♡


よしっそろそろで射精るぞ！
じゅぽ
じゅぷ
じゅぷ
あっ♡
くださいご主人様♡
ぱん♡
私めにもお慈悲を♡
くぅ～ん♡


残すなよ！
はい♪


さっ餌やりも終わりましたので
話をしましょうか


ふぅ


あ！
〝表〟ですか？
それとも？


……分かりました
アイーナとは良好な関係を築いていたい話を聞こうか
あっ…


…


なるほど？
その男の〝奴隷〟が逃げ出したので手掛かりが欲しいと…
そんなことでアイーナが会いに来てくれるとはね
普段は取引きが終わればさっさと僕の前から消えるというのに
一応名乗っておこう私はノア製薬社長を務めているエリオス・リーオーだ
あぁ別に君の名に興味はない
話を戻そう
〝奴隷〟の特徴は幼い容姿に黒髪リサイクル品ということだな


結論から言えば
心当たりはない
なっ！
だが
ホムンクルスの
行動はある程度
予測できる
おい〝奴隷〟
食った分働け
はい
ご主人様
まずは地図
はい
こちらに
次に魔力
パターンの
解析
はい
直近で
ホムンクルスを
保護した場所を
照合
承知しました


なぜそんな
手段を知っている？
おや？
これはこれは
同業者の人間
でしたか？
いや…違うか
ならば国家に準ずる
何かか？
…そうだな…その体躯
立ち居振る舞い
〝憲兵〟といったところか
!?


ご主人様
解析終わり
ました
どこだ？

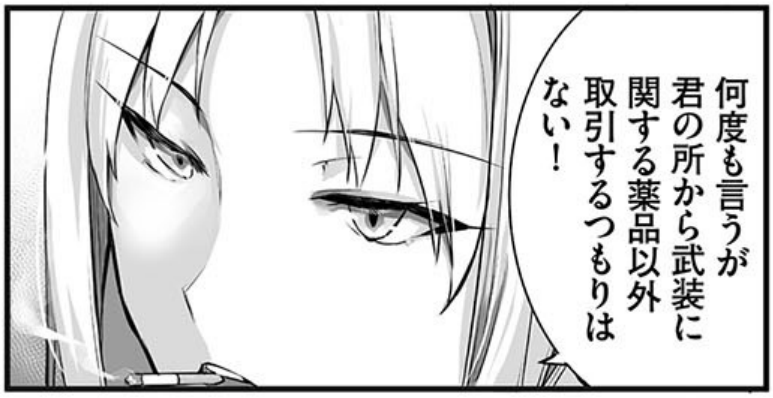

街の北の
郊外にある廃屋に
龍脈が通ってます


今はそこが
魔力のたまり場に
なっているかと
思われます


ホムンクルスは
衰弱すると魔力を求め
こういった場所に
行きつくことが多い
この情報を
信じるかどうかは
君次第だが
フー
胡散臭い奴だが
こういった情報には
信頼できる男だ
手掛かりとして
有力と思って
いいだろう…
…
っ！
助かる…っ!!
…
バンッ
ダッ


……
〝奴隷〟一匹に何を躍起になってるんだかあいつも…君も
〝奴隷〟なんざいくらでも替えがきく

〝商品〟としてラベルカでも扱ってくれればよりよい社会になると思うんだがね

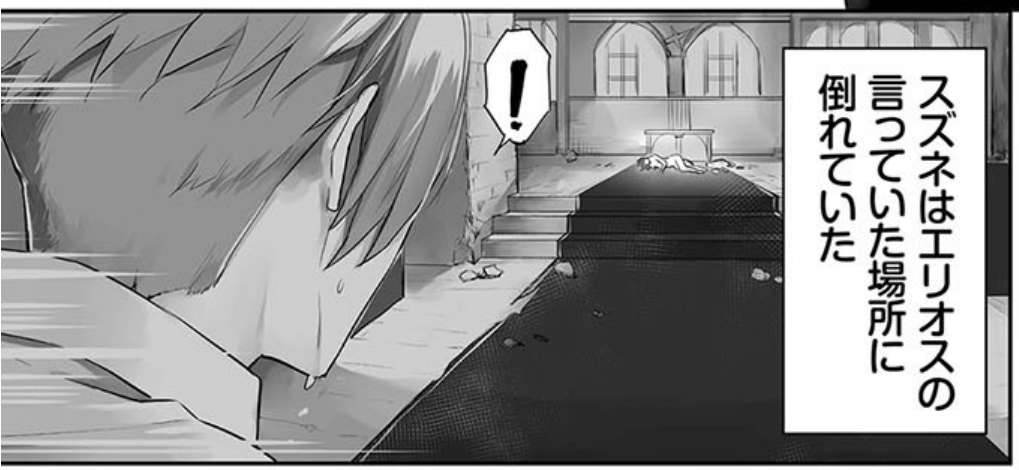

何度も言うが君の所から武装に関する薬品以外取引するつもりはない！


せっかく協力してあげたのにツレないですねぇ…まったくげせない


なんとでも言え
…何百何千ものホムンクルスを葬ってきたお前に分かるまいよ


にしても…憲兵が飼う〝黒髪の奴隷〟ねぇ…
本当ツれないなぁ
少し興味が湧きますね
チャ
◆to be continued...◆





スズネはエリオスの言っていた場所に倒れていた





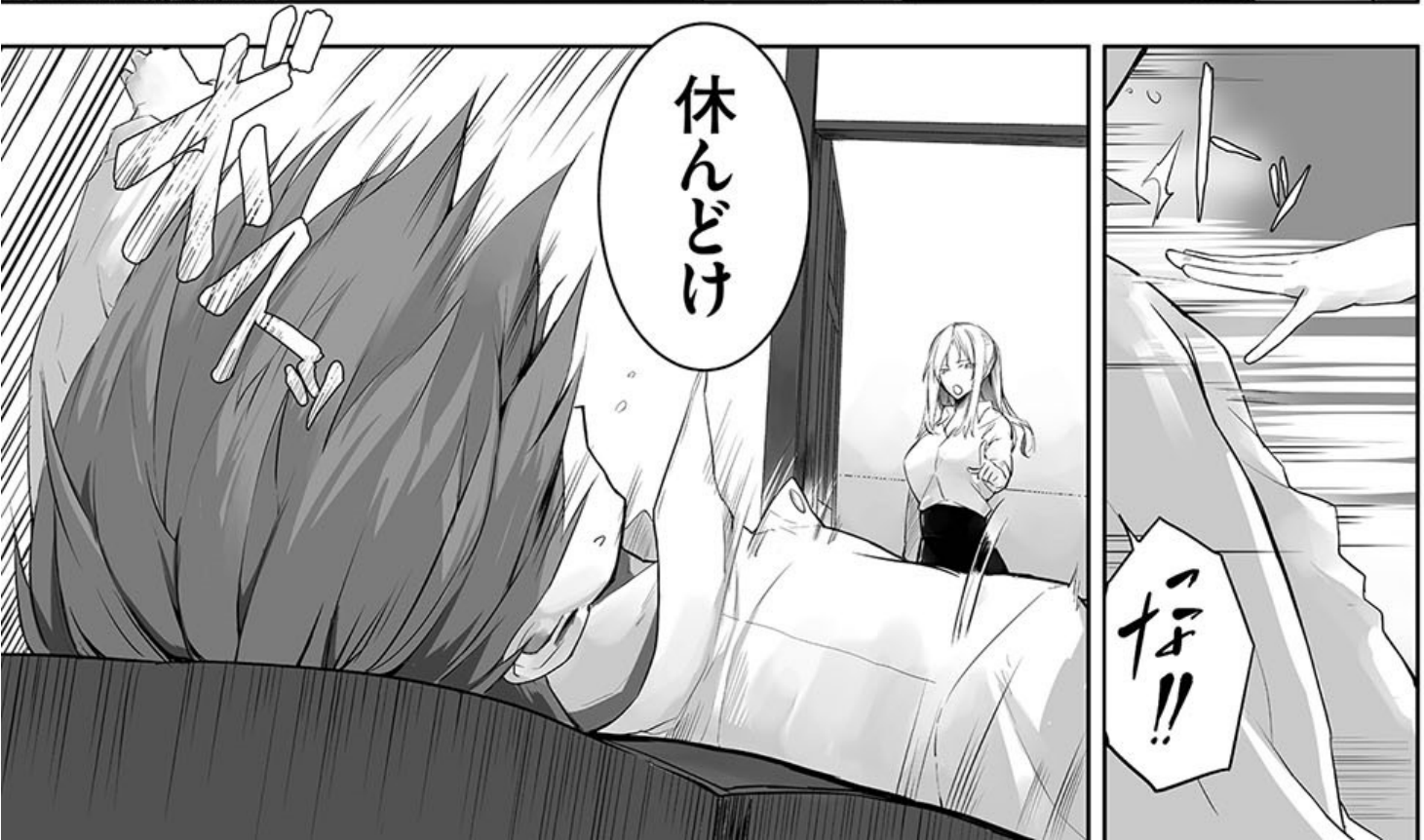
発見した時すでに魔力が枯渇しており…

緊急だと判断したアイーナによって彼女の自宅に運び込むことになった…


はいっ
私のベッドに寝かせろっ！
待て！
っなぜ止め——っ
今からする処置は集中力を必要とする…
キミの気持ちは分かっているつもりだ
だが


そんな状態の
キミにできることは
何もないぞ


悪いことは
言わん
少し


休んどけ
な!!

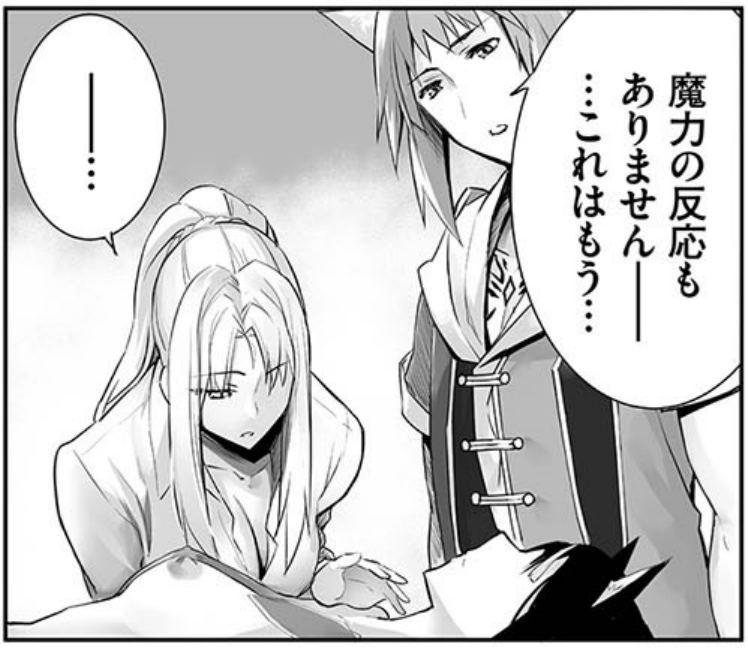

休んでなんかいられるかっ！
スズネは俺が面倒をみるっ！
勘違いするな
必死になるのは今じゃないだけだ


そもそもキミもう足腰に力入ってないだろ？
っく！
しっかり休んでおけ
でないとキミが死ぬことになるぞ？

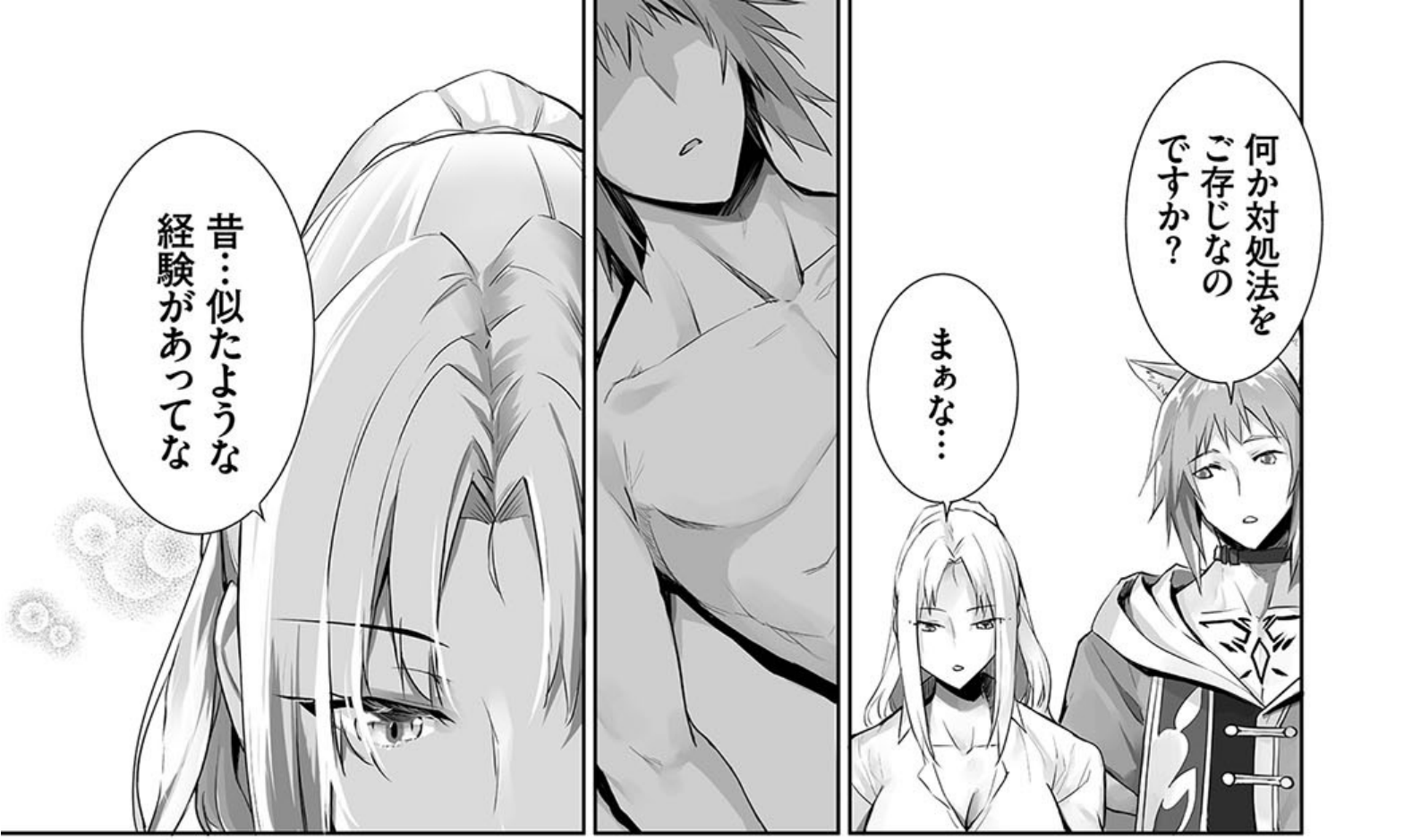

バタン
なっどういう意味――
だ
どら
……
確かにもう限界だな…
体が動かん…
――スズネ見つかってよかった…
ひとまず安心…か…


パタン
様子はどうだ？
アイーナ様っ！


〝淫紋〟が
消滅しかかって
います


魔力の反応も
ありません――
…これはもう…
――…


いや…
まだだ！


何か対処法をご存じなのですか？
まぁな…
昔…似たような経験があってな


ここまで弱った〝ホムンクルス〟に直接魔力を注げば回路が壊れる…
まずは回路を動かすためだけの魔力を注がないと


なぁに…簡単な話でな
魔力を〝直接〟注ぐんじゃなく〝あてればいい〟


といいますと？


ルイン
お前と私が
このコの前で
セックス
するんだよ


そうすることで
間接的に魔力を
浴びせることが
できる


スル
それにな
スト
もうルインと
3日もシて
ないんだぞ？
ちゅっ
私がもう
我慢できない♡
ペロ
アー♥
アー♥


つまり
我々も
満たされて
スズネさんも
バルドさんも
救われるという
ことですね
でしたら僕も
楽しむことに
しますね
そういう
ことだ…♡
ポタ
ポタ
アイーナ様も
もう限界との
ことですし…！

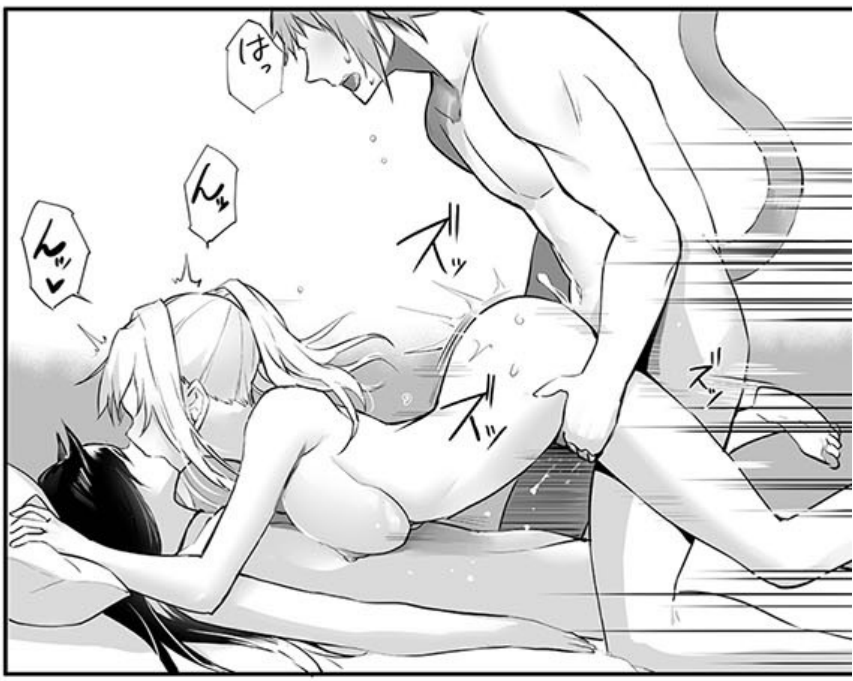

はっ
あぁ♡
だから早くくれ♡
はっ
キッ
くぱ
ポタ
ポタ


これはすごい…
ツー
確かに…これはもう挿入れた方がよさそうですね
では
ぐにゅ
くちゅ
あん


はっ♥
はっ♥
あ、きる♥

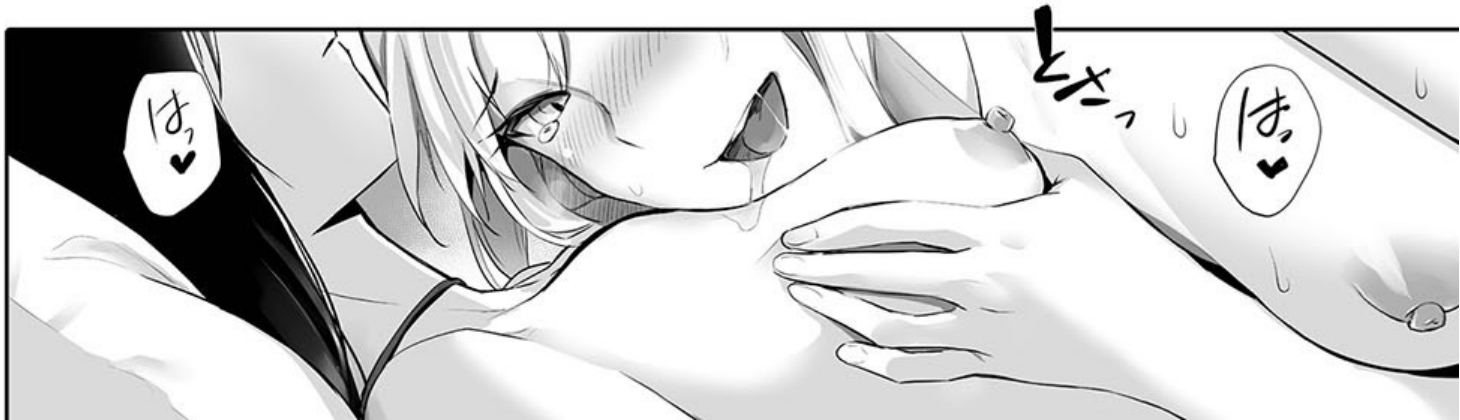
♥♥


ぬちゅ
ぬちゅ
にゅ


はっ
んッ
んッ♥
ズッ
ズッ
ズッ


スズネさんの身体弄ってるんですか？
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
つあ♡
身体には〝門〟があるからなっ刺激を与えないと
だとしても少し拓けちゃいます
なっ何言ってるっ!?
ん♡
これはただの措置だろ私はお前だけ愛してる♡
はっ
はっ
アイーナ様っお慕いしておりますっ！
はっ
はっ
アイーナ様っすごい絞めつけでもうっ！
パン
パン
ん
ん
あぁいいぞ♡射精せっ♡
はっ
はっ


あ〜♥
ビク
ビク
ビク
ドク
ドクッ


はっ♥
とさっ
はっ♥


はっ♡
ちゅっ
はっ♡
……
ふぅ
うまくやれたようだ
もう大丈夫だろう
峠は超えたと思う
むぐっ!?
…それは
よかった——
じゃあ
今度は
二人…でな♥


ゆらり

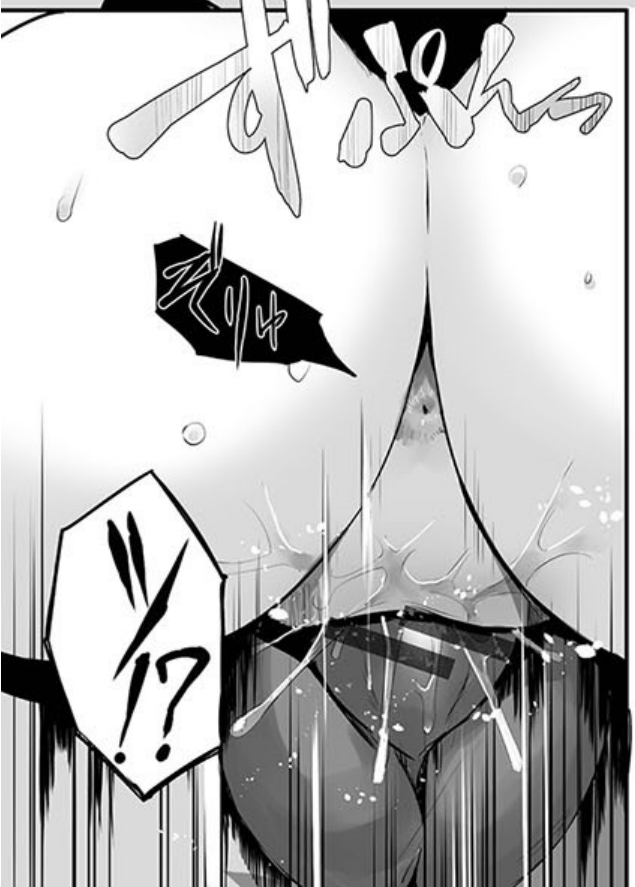

——誰だ!?
!?


っ!
はぁっ
はぁっ


スズネッ!?
目が覚めたのかよかっ
いつっ!
っ――!
なんて力だっ
これは…
暴走してるのか!?


ボロッ
パキ


スズネッ
落ち着いてくれ！
レっ
ぐっ
ピクン
ピク


ぬぷぷ
ぐりゅ
ッ!?


っつ！いつもより熱いっ！
ハッ
ハッ
ゾクゾク


待てっ！
!?
ちゅぷ


あっ
ドクッ
ドクッ
ビュッ
ビュッ
ビュ


ダァン
オチッ
オチッ
はーッ
はーッ
はーッ
ぺろぺろ
ガリ
くちゅっ
ぬりゅ
何かされたのか!?
っスズネッ！どうしたっ!?
っ!? 待て！少し休ませてくれ！




ズチュ
ズチュ
パン
パン
はっ
はっ
はっ
ズルン
コポ
――っ！
だから待ってくれ！

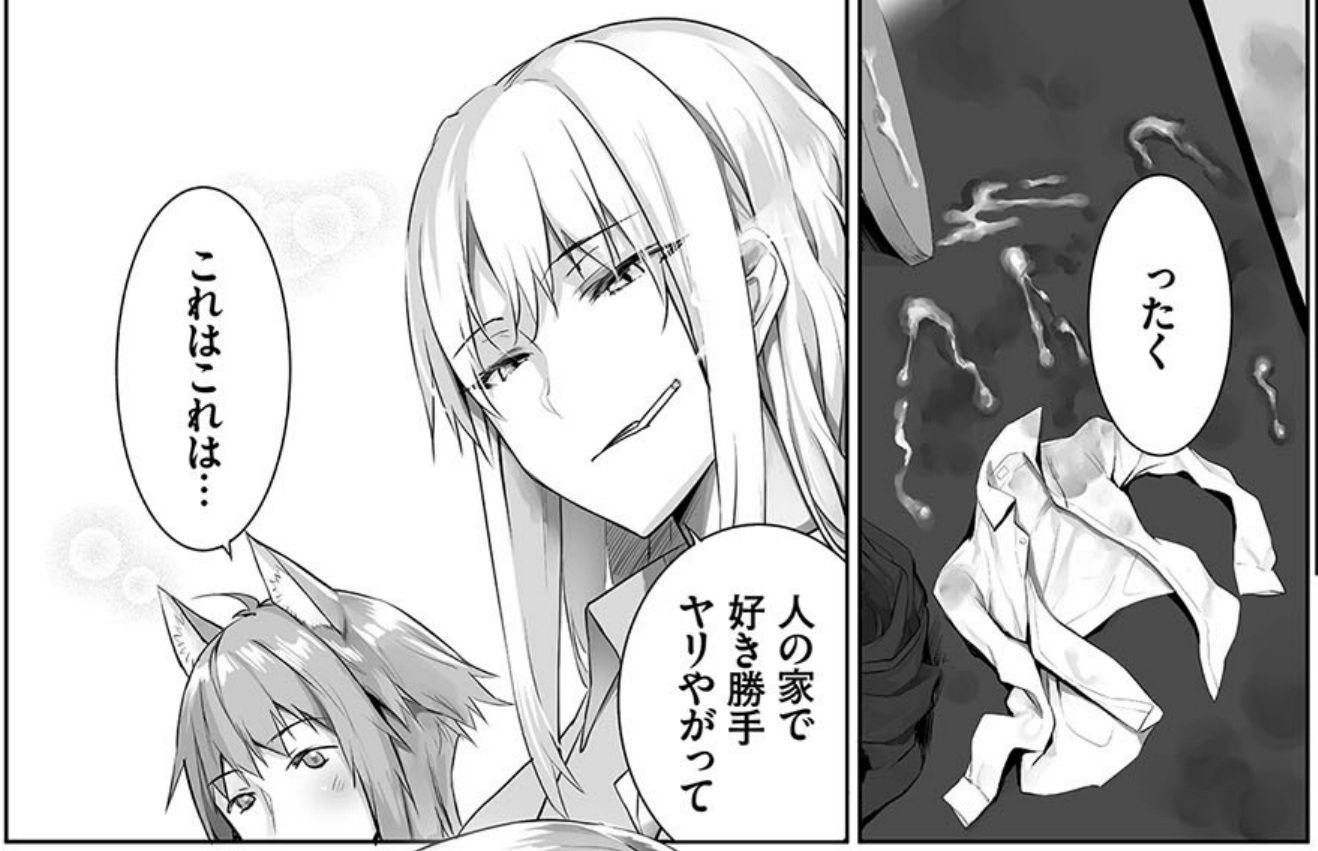

もう痛いぐらいなのにすぐ復活するっ！
！
〝淫紋〟のせいか…？
ぐぐぐ
ビク
ビクッ
ぱん
ぱん
ぱん


はっ
はっ
――けど…


1週間以上何も食べてなかったんだ
ギッ
ほろ
ほろ
ギッ


そりゃ…腹も減ってるか…
ック！
カプッ
ガッ


尻尾までっ！
これはまたすぐ
――っ！
キュっ
しゅる
ビクッ
ドクッ


ったく
人の家で
好き勝手
ヤリやがって
これはこれは…

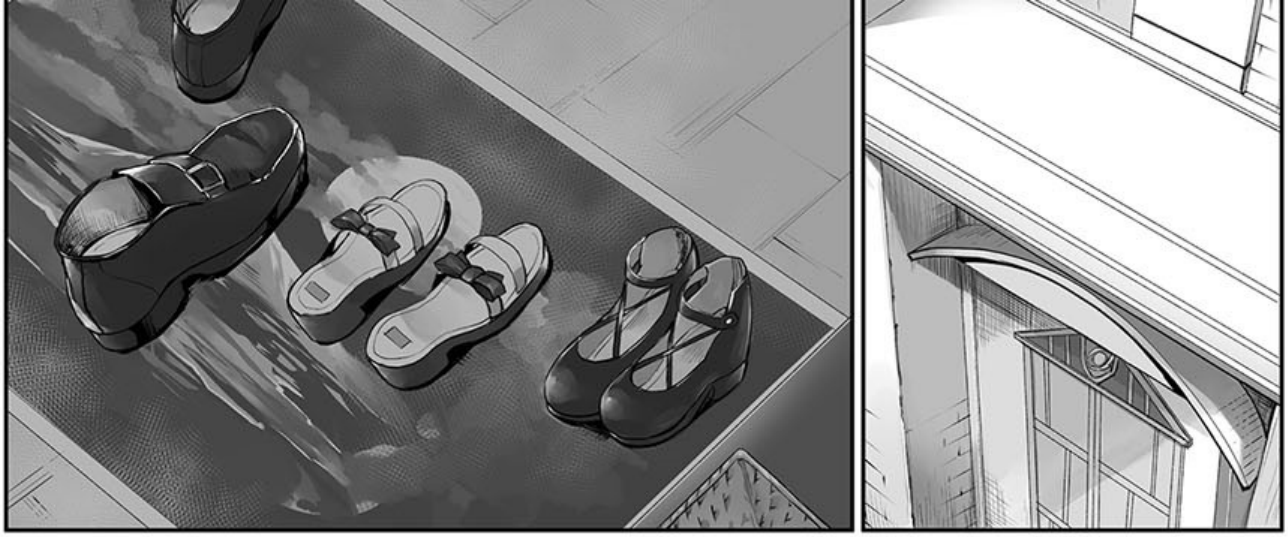



〝ホムンクルス〟の
ことになると
やりすぎだな
コイツは
ふふふ
何を笑ってる
ルイン？
いえいえ
『類は友を呼ぶ』
という言葉を
思い出しまして
…どういう意味だ
◆to be continued...◆


今回は本っっ当に助かった！
ありがとう
第18話
もういいからさっさと帰れ
言葉だけの礼など聞き飽きたわ
あとでちゃんと謝礼はもらってやるから安心しろ
アイーナ様は二人が無事で安心したと仰っております
黙れ！
まぁ
その手はもう離すなよ


しかし
アイーナには
世話になりっぱ
なしだな…
近いうちに
ちゃんとした礼を
しなくてはな…
――…
あぁ
スズネだ…
手のひら温かい
きれいな瞳
俺をみ――


ドキ
ニコッ
スッ
もう二度と
離さん――っ!!
グイッ
トクン
トクン
ポタッ




ただいまっ
パッ
パチ
あ
そういえば
「ただいま」の意味
知ってるか？


ただいまっていうのは
〝東方〟の習慣の
言葉でな
自分の家に帰って
来た時に言うんだ
家にいる人に
「無事に戻れた」
って知らせる
言葉なんだ
その言葉に対しては
「おかえり」と返す
この言葉を使うと
なんか不思議と
安心できる気が
するんだ
スズネももし
話せるように
なったら是非
使ってみてくれ
はは
とまぁ
気も抜けた
とこで…
ともあれ……
まずは風呂…
入りたいな
ポリポリ
ボロ…
体かゆい


ちゃぽ
フィ――


ちゃぷ
別に俺に
つきあわなくて
よかったんだぞ？
もし調子悪く
なったら
すぐ教えてくれ


……


——あぁ傷のこと気にしてるのか？
スッ
パシャ
ん？
このくらいどうってことないさ！
パシャ
ありがとー
ペロッ
！
パシャ
スッスズネッ!?
ぺろ


くっ
ぷっ
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ
はっ
くっ
スズネッ
ちょっと――っ
！
ぁ――っ
節操なさすぎな
自分が嫌になる…


スズネ…
いいか…？
はっ
はっ
ゴク
ゼク
ザバ
コクコク
ぱちゃ


いくぞー
ちゃぷー
パンッ
トロッ
くっ！
膣内（なか）——
ヌルヌルッ
——♡


これじゃすぐ――っ
スズネッ！
もう――射精るっ！


ボタ
ポチャ
ビュッ
ビュッ
はぁっ
はぁっ
パン
はっ♥
はっ♥
コポ


はっ
はっ
はぁ
はぁ
はっ
はっ
ビキッ
ビキッ
ドッ
ドッ
ド


はっ
ちゅ
ちゅ
はっ
はっ
ん
はっ
はっ
パ
挿入れるぞ
はっ
はっ
くちゅ


さっき
射精(だ)したのが
あふれて…
ポ
コ
ぬる
ぬぷぷ
ツ
ハッ
ギュー


必死にしがみついてっ
なのに――なんでっ
ポタッ
スズネ
ゴッ
ゴッ


フーッ
ーッ
スズズッ
心配――っ
したんだぞっ
お前がいなくなって！
不安で！
最悪――
もう処分されたんじゃないかとか考えてっ！
俺はっ！
もう――あんな思いをするのは――嫌なんだっ！


なぜ
なぜ
ポン
！
スズネ？
ポス
―
お前を…
失いたくないんだ
――っ
……


ズズッ
スズネッ
スズネッ
キュッ
スズネッ
スズネッ
ズッ
ズッ
スズネッ
ズッ
スズネッ
もっ
キュ――ッ
ッ！
は
ズッ
ズッ
ズッ

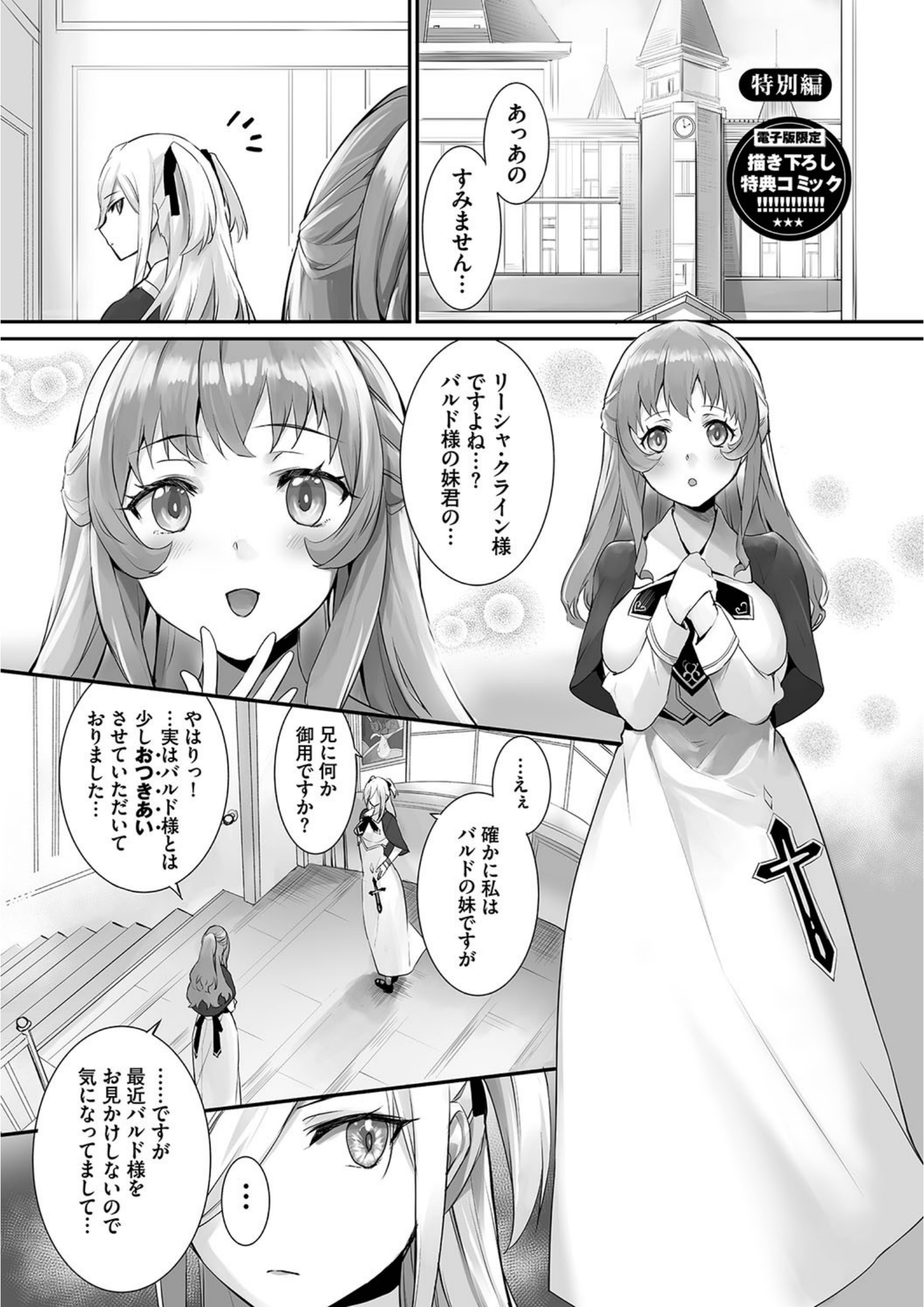

ドサッ
はぁっ
はっ
はっ
は
ドクッ
ドクッ


スズネ…
はっ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
もう…
どこにも行かないで
くれよ…
ポタ
はい
スッ


もう
どこにも
行かない…です


へ？


ぽしゃ
ぽしゃ
ぽしゃん
◆to be continued...◆


特別編
電子版限定
描き下ろし
特典コミック
!!!!!!!!!!
★★★
あっあの
すみません…
リーシャ・クライン様
ですよね…？
バルド様の妹君の…
…えぇ
確かに私は
バルドの妹ですが
兄に何か
御用ですか？
やはりっ！
…実はバルド様とは
少しおつきあい
させていただいて
おりました…
…
……ですが
最近バルド様を
お見かけしないので
気になってまして…


で
なんで!?
わたくしは
部屋に連れ込まれて
脱がされてるん
ですかっ!?
ドサッ
ぱさ
それはもちろん
私があなたに
興味が出たから
ですわ!
やっ!?
それに――
パクッ


お前のような〝売女(ばいた)〟は…っ
ヴヴヴ…
それに…？
お兄様にまったくふさわしくありませんわっっ!!
お兄様とは清いおつきあいをされていたようですね…っ
!?
男を食い散らかした濁った色！
なんでそれをっ！
私の責めぐらい耐えられないとお兄様の相手は務まりませんよ？
〝性技〟を磨いているうちにうっかり本命を取り逃がした…といったところでしょうか…
そういうことならば…受けてたちます！
ふふっそうこなくては♪
耳たぶ
乳首
へそ
クリトリス
開発し尽くしている身体…余裕ですわね
っ
っへ？♥
？
えっ？
はれっ？
なんで？弱点…全部バレ…ッ♥


ぐりゅっ！
もっもうっ!?♥あーっ♥
はい
どうぞっ！
ぐーっ♥
きゃんっ♥
ぎゅっ♥
…
もっもっとぉ♥
もっと♥
こんなの♥はじめてっ♥
あっ♥
ビッ
はぁ…こんな女じゃダメですわ…お兄様にふさわしいのは…
あーっ♥
あっ♥
リーシャさまぁ♥
…やはりそろそろ本格的に動きましょう…！
イグゥ♥
ちゃんあ
◆END◆



あとがき

皆さんっ!!
2巻出ましたっ!!
1巻、単話、ダスコミ
で応援していただき
おかげです!!
面倒みていただいてる
担当さんにも感謝です
いや、関わって下さってる
方々に最大の感謝を
ですよっ!!

結構「???」となる
ようなところで終わって
ますが、今後の展開
しっかりお届けできる
ようがんばって
まいりますっ!!
無事3巻出せるよう
ご応援
よろしく
お願い致します。

ここまで
読んでいただき
ありがとうございましたっ!!
またお会いできることを
祈って

恋月

この作品を読まれた御意見・御感想がありましたら
下記の住所までお送りください。

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-25-4 SH神田南神保町ビル3階
(株)文苑堂「京極燈弥」係

●皆様からのお便り、心よりお待ちしております。

獣耳のリコリス②

発行日
2022年11月7日　初版発行

著者
京極燈弥
©KYOUGOKU TOUYA 2022

編集・発行人
石川義人

発行所
株式会社 文苑堂
東京都千代田区神田神保町1-35
電話　03(3291)2143　営業部

装丁
sagaris studio

印刷所
図書印刷株式会社

※無断転写・複製・転載を禁じます。
※落丁・乱丁本は小社でお取り替えいたします。
※本書掲載作品は全てフィクションです。
実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。

ISBN978-4-86117-407-0



